

平成 21 年度
青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア
現職教員特別研修
報告書

平成 21 年度 4 月 6 日（月） JICA 東京
平成 21 年度 4 月 7 日（火） 筑波大学東京キャンパス大塚地区



筑波大学教育開発国際協力研究センター (CRICED)
文部科学省国際協カイニシティブ教育協力拠点形成事業
青年海外協力隊派遣現職教員の支援

はじめに

筑波大学教育開発国際協力研究センター（CRICED）は平成 15 年度から文部科学省拠点システム構築事業として派遣現職教員の海外・国内での活動サポートを行なってきました。派遣現職教員とは、現職教員特別参加制度を利用して青年海外協力隊や日系社会青年ボランティアに参加する公立学校の現職教員のことです。この派遣現職教員のサポートは、国際協力イニシアティブ教育協力拠点形成事業各課題が協力して実施する体制に平成 18 年度から移行し、筑波大学教育開発国際協力研究センターは課題間の調整機能も果たすことになりました。青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア現職教員特別研修（派遣前研修）はこうしたセンター業務の一環として行われています。

平成 21 年度青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア現職教員特別研修は、文部科学省・筑波大学教育開発国際協力研究センター主催、国際協力機構青年海外協力隊事務局共催により、平成 21 年 4 月 6 日、4 月 7 日に実施されました。本研修では、海外及び帰国後の活動に役に立つ国際教育協力に関する講義、国際理解教育・開発教育に関する講義、すでに帰国している派遣現職教員による報告、国際協力イニシアティブ教育協力拠点形成事業各課題代表者による講義、海外で実際に役に立つ ICT 活用実習が行われました。本報告書には、これらの講義や実習の資料が収められています。

以上の実務的な技能習得や情報伝達の他に、本研修は今後 2 年間を途上国で過ごす派遣現職教員同士のネットワーク形成の契機となることが期待されています。この 2 日間の研修は、私ども関係者にとりましても派遣現職教員の先生方と親交を深め、今後のサポート活動の足場を築く貴重な機会となりました。

本年度の研修実現には、文部科学省・国際協力機構・教育委員会をはじめとして多くの方々のご協力、ご配慮をいただきました。本研修の実施にあたりご尽力いただきました関係の皆様にあらためてお礼を申し上げますとともに、今後のご支援とご協力をお願い申し上げます。

平成 21 年 5 月

筑波大学教育開発国際協力研究センター（CRICED）

センター長 中田 英雄
教授 佐藤 真理子
准教授 磯田 正美

目 次

| | |
|---------------------------------|----|
| プログラム | 1 |
| 文部科学省の教育協力について | 3 |
| 芝田 政之（文部科学省大臣官房国際課長） | |
| JICA ボランティア事業について | 7 |
| 伊藤 隆文（JICA 青年海外協力隊事務局長） | |
| JICA の教育協力について | 11 |
| 神谷 克彦（JICA 人間開発部次長） | |
| 国際教育概論 | 27 |
| 手嶋 將博（文教大学教育学部准教授） | |
| 国際理解教育の事例紹介 | 33 |
| 手嶋 將博（文教大学教育学部准教授） | |
| 派遣現職教員のサポートについて | 43 |
| 磯田 正美（筑波大学教育開発国際協力研究センター准教授） | |
| 帰国後の社会還元について | 53 |
| 樋口 創（JICA 地球ひろば市民参加協力促進課） | |
| 帰国隊員による報告 1 | 59 |
| 高野 剛彦（兵庫県神戸市立須磨翔風高校教諭） | |
| （平成 18 年度 1 次隊 青少年活動 ケニヤ） | |
| 帰国隊員による報告 2 | 75 |
| 猿渡 和則（福岡県飯塚市立庄内中学校教諭） | |
| （平成 17 年度 1 次隊 体育 セントビンセント） | |
| 「国際協力イニシアティブ」ライブラリ紹介、コンテンツの登録方法 | 99 |
| 磯田 正美（筑波大学教育開発国際協力研究センター准教授） | |

| | |
|---------------------------------------|-----|
| JICA ネットの説明 | 111 |
| 高木 美緒（国際協力機構経済基盤開発部） | |
| 環境教育に関するワークショップ | 117 |
| 村松 隆（宮城教育大学環境教育実践研究センター長） | |
| 佐藤 真久（東京都市大学環境情報学部講師） | |
| 斎藤 千映美（宮城教育大学環境教育実践研究センター准教授） | |
| ハンズオン教材に関するワークショップ | 131 |
| 服部 勝憲（鳴門教育大学教員教育国際協力センター長） | |
| 松寄 昭雄（鳴門教育大学教員教育国際協力センター） | |
| 派遣中・帰国後の活動を充実させるための ICT 研修－経験を共有する方法－ | 137 |
| 矢原 弘樹（筑波大学教育開発国際協力研究センター研究員） | |
| 讚岐 勝（筑波大学教育開発国際協力研究センター研究員） | |
| 閉会挨拶 | 187 |
| 瀬戸口 暢浩（文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室開発協力推進専門官） | |
| 新聞掲載記事および会場の様子 | 191 |

平成21年度青年海外協力隊現職教員特別研修 プログラム(第1日目)

主催：文部科学省・筑波大学教育開発国際協力研究センター

共催：独立行政法人国際協力機構(JICA)

期日：平成21年4月6日(月)

場所：JICA東京

司会：矢原弘樹（筑波大学教育開発国際協力研究センター）

| | |
|-------------|---|
| 12:00～ | 受付 |
| 13:00～13:05 | 開会挨拶 磯田 正美（筑波大学教育開発国際協力研究センター准教授） |
| 13:05～13:15 | 文部科学省大臣官房国際課長挨拶 芝田 政之（文部科学省大臣官房国際課長） |
| 13:15～13:25 | JICAボランティア事業について 伊藤 隆文（JICA青年海外協力隊事務局長） |
| 13:25～13:55 | JICAの教育協力について 神谷 克彦（JICA人間開発部次長） |
| 14:00～14:30 | 国際教育概論 手嶋 將博（文教大学教育学部准教授） |
| 14:35～15:05 | 国際理解教育の事例紹介 手嶋 將博（文教大学教育学部准教授） |
| 15:10～15:40 | 派遣現職教員のサポートについて 磯田 正美（筑波大学教育開発国際協力研究センター准教授） |
| 15:45～16:15 | 帰国後の社会還元について 樋口 創（JICA地球ひろば市民参加協力促進課） |
| 16:20～17:05 | 帰国隊員による報告1 高野 剛彦（須磨翔風高校 18-1 青少年活動 ケニヤ） |
| 17:05～17:50 | 帰国隊員による報告2 猿渡 和則（飯塚市立庄内中学校 17-1 体育 セントビンセント） |
| 17:50～17:55 | 閉会挨拶 中田 英雄（筑波大学教育開発国際協力研究センター長） |
| 17:55～18:10 | 記念撮影 |
| 18:30～19:30 | 懇親会 |

平成21年度青年海外協力隊現職教員特別研修
プログラム(第2日目)

第2日 4月7日（火）会場：筑波大学東京キャンパス大塚地区

| A班（進行 磯田 正美） | | B班 | | 受付 | 8:30～ |
|--------------|---|---------------------|---|----|-------------|
| 講義及び実習（210分） | | ICT研修（210分） | | | |
| | (G501教室) | (B1班 矢原: E157室) | (B2班 講岐: E158室) | | |
| 9:00～9:30 | 「国際協力イニシアティブ」ライブラリ紹介 磯田 正美（30分） | ・PCのネットワーク接続確認（30分） | ・PCのネットワーク接続確認（30分） | | 9:00～9:30 |
| 9:35～10:05 | コンテンツの登録 磯田 正美（30分） | ・ブログ作成（50分） | ・ブログ作成（50分） | | 9:30～10:20 |
| 10:10～10:40 | JICAネットの説明 国際協力機構公共政策部JICA-net課 高木美緒（30分） | ・Skype（50分） | ・Skype（50分） | | 10:20～11:10 |
| 10:50～11:35 | 環境教育に関するワークショップ 村松 隆（45分） | ・ネットミーティング（30分） | ・ネットミーティング（30分） | | 11:10～11:40 |
| 11:40～12:25 | ハンズオン教材に関するワークショップ 服部勝憲・松崎昭雄（45分） | ・DV編集（50分） | ・DV編集（50分） | | 11:40～12:30 |
| 12:25～13:30 | 昼 食 | | 昼 食 | | 12:30～13:30 |
| | A班 | | B班（進行 磯田 正美） | | |
| | ICT研修（210分） | | 講義及び実習（210分） | | |
| | (A1班 矢原: E157室) | (A2班 講岐: E158室) | (G501教室) | | |
| 13:30～14:00 | ・PCのネットワーク接続確認（30分） | ・PCのネットワーク接続確認（30分） | 「国際協力イニシアティブ」ライブラリ紹介 磯田 正美（30分） | | 13:30～14:15 |
| 14:00～14:50 | ・ブログ作成（50分） | ・ブログ作成（50分） | コンテンツの登録 磯田 正美（30分） | | 14:20～15:05 |
| 14:50～15:40 | ・Skype（50分） | ・Skype（50分） | JICAネットの説明 国際協力機構公共政策部JICA-net課 高木美緒（30分） | | 15:15～15:45 |
| 15:40～16:10 | ・ネットミーティング（30分） | ・ネットミーティング（30分） | 環境教育に関するワークショップ 村松 隆（45分） | | 15:50～16:20 |
| 16:10～17:00 | ・DV編集（50分） | ・DV編集（50分） | ハンズオン教材に関するワークショップ 服部勝憲・松崎昭雄（45分） | | 16:25～16:55 |
| | 移 動（→ G501へ） | | | | |
| 17:05～17:15 | 登録情報・アンケート記入 閉会挨拶 濱戸口 幡浩 (文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室開発協力推進専門官) | | | | 17:05～17:15 |

文部科学省大臣官房国際課長挨拶

芝田 政之
(文部科学省大臣官房国際課長)



皆さん、こんにちは。私からはごく簡単に御挨拶を申し上げまして、具体的なことはこのあとのプログラムに委ねたいと思います。

文部科学省では、JICA、外務省、教育委員会などと協力しまして、教員の皆様が国際協力活動に参加しやすいように平成13年度にこの青年海外協力隊現職教員特別参加制度を設立いたしました。以来7年間で516名の現職職員の方が世界各地に派遣され、活躍されています。今年度は日系社会青年ボランティアの派遣が開始されて、青年海外協力隊として72名、日系社会青年ボランティアとして11名の合計83名の方々が派遣されることになっています。先生方には本研修を通じまして、現地での活動のアイデアなどを収集すると共に他の先生方との交流を深めていただきまして、末永く将来も情報交換ができるような仲間の輪を作っていただきたいと思います。

人間は異文化との接触を通じて飛躍的に成長するといわれております。先生方が開発途上国において、様々な障壁を克服しまして国際協力に携わることにより、貴重な体験をまた教育現場に持ち帰っていただきたいと期待しております。また同時に、皆様若い方々ばかりでありますけども、こうして新しいチャレンジに取り組んでそこを伝えていくという姿勢に、深い敬意を表したいと思います。若い時の特権であろうかと思いますので是非素晴らしい経験を蓄えて帰ってきていただきたいと思います。

文部科学省では開発途上国における教育協力を一層効果的なものにするために、大学が有する「知」を活用していただく国際協力イニシアティブという事業を実施しております。この枠組みの中で青年海外協力隊、あるいは日系社会青年ボランティアとして派遣される現職教員の皆様の派遣前から帰国後までの活動の支援を行っております。具体的な支援内容は明日の研修で、事業に協力をいただいている大学の先生方による実習がございますので、そちらにお任せしたいと思いますが、協力大学はこれまでの研究活動の中で培った発見をいかして、青年海外協力隊員として派遣される先生方が現地で活用できる教材を開発したり、あるいは活動中の隊員向けに現地でワークショップを開催したり、相談を受け付けるといった事業を実施しております。協力大学の関係者の方々が皆さんの派遣先を訪問された時には、ぜひ時間の許す限りワークショップをのぞいていただくとか、あるいは教育協力活動実施にあたって困っていることを相談していただくといったことで、お互いに連携していただければと思っております。最後になりましたけれども本研修の実施にあたり、多大な御支援をしていただいております、JICA海外青年協力隊事務局および筑波大学教育開発国際協力研究センターの関係者の皆様方に深く感謝を申し上げるとともに、どうぞ皆様方にとって、この研修が有意義なものになります、そして二年間貴重な経験を積まれるよう、また一回りも二回りも成長されてお帰りになりますようにお祈りいたしまして、御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

「国際協力イニシアティブ」教育協力拠点形成事業

開発途上国における開発協力のため、大学・NGO等、我が国の教育関係者等が有する教育研究上の知識や経験を整理・蓄積とともに、我が国の知見を踏まえた開発協力モデルの構築などを行うことにより、国内外の援助関係者が開発協力の現場で容易に活用可能かつ活用効果の早期発現が期待できる成果群を形成することを目的とする。

教育研究に関する 我が国の経験の活用

基礎教育および高等教育を対象とする。

- ・教育研究に係る我が国の知識や経験の整理・蓄積、理論化やモデル化、実証を通じた開発協力モデルの構築
- ・援助リソース(高度人材育成機能や研究成果等)の把握とNGO等を含む援助機関との連携体制の構築

【活動例：基礎教育や高等教育の対象分野】

- ◆教育行政財政
- ◆教員研修
- ◆学校保健教育
- ◆食農環境教育
- ◆女子教育
- ◆ライフスキル教育
- ◆教育改善 等

青年海外協力隊 派遣現職教員の支援

小学校教諭、理数科教師、養護、体育の4職種で派遣される教師の活動支援を主な対象とする。

- ・派遣現職教員の派遣前や派遣中の活動を対象にした教育的観点からの支援
- ・帰国現職教員が実施する総合的な学習(国際理解教育や環境教育等)ほか教育関連の活動を対象にした支援

【活動例：派遣現職教員が現地で担当する主な活動分野】

- ◆理科実験
- ◆図工
- ◆保健衛生
- ◆音楽
- ◆体育
- ◆学校行事・特別活動 等

成果品関連アーカイブスの管理

事業全体に係る成果品の収集と管理、関連資料の収集と管理、広報等の実施を担当する。

JICA ボランティア事業について

伊藤 隆文

(JICA 青年海外協力隊事務局長)



皆さんこんにちは。

今日ここにお集まりの 83 名の方、青年海外協力隊員の方が 72 名、日系社会青年ボランティアの方が 11 名ですけれども、皆さんは 4 月 8 日から駒ヶ根、二本松の訓練所、それから日系青年の方は横浜の国際センターにおいて派遣前の訓練研修を受けるのに先立ちまして、この現職職員の方々のための特別研修を設定させていただいたということです。今回の研修について大変お世話になります文部科学省の方々、それから筑波大学教育開発国際協力研究センターの方々に高いとこからでございますが厚く御礼を申し上げたいと思います。

若干 JICA のボランティア事業についてご紹介したいと思います。青年海外協力隊は 1965 年、昭和 40 年に始まった事業でございます。これまで 45 年間に 32000 人を超える隊員を派遣しております。今日時点で世界各国にて 2600 名を超える隊員が 75 カ国で活躍しております。それから日系社会青年ボランティアは、南米の日本人移住地を支援する海外開発青年という制度として 1985 年、昭和 60 年に発足したものです。1996 年、平成 8 年度に、名前を今の日系社会青年ボランティアに変更いたしまして、ボランティア事業として再出発しております。これまでに約 1000 名のボランティアを派遣しております、今日時点で 5 つの国で 60 名が活躍しております。JICA のボランティア事業にはこれ以外にも、シニア海外ボランティア、それから日系社会シニアボランティアの二つがあります、4 つ合わせますと現時点で 3500 人を超えるボランティアが世界で活動中ということになります。現職教員の特別参加制度は、先ほど芝田課長のほうからもご紹介がありましたけれども、平成 13 年度に始まりました。実際の先生方が派遣されたのは平成 14 年からですが、この制度が始まる前にも、650 名を超える現職の先生方が青年海外協力隊に参加していただいております。ただ、協力隊員の場合、訓練を含めて 2 年 3 か月の期間になっておりまして、学校の先生の場合は、学年の変わり目に日本にいる必要性が高いものですから、なかなか 2 年 3 か月という期間は先生方の現職での参加が難しいこともありますと現時点では 3500 人を超えるボランティアが世界で活動中ということになります。現職教員の特別参加制度は、先ほど芝田課長のほうからもご紹介がありましたけれども、平成 13 年度に始まりました。実際の先生方が派遣されたのは平成 14 年からですが、この制度が始まる前にも、650 名を超える現職の先生方が青年海外協力隊に参加していただいております。ただ、協力隊員の場合、訓練を含めて 2 年 3 か月の期間になっておりまして、学校の先生の場合は、学年の変わり目に日本にいる必要性が高いものですから、なかなか 2 年 3 か月という期間は先生方の現職での参加が難しいこともありますと現時点では 3500 人を超えるボランティアが世界で活動中ということになります。現職教員の特別参加制度は、先ほど芝田課長のほうからもご紹介がありましたけれども、平成 13 年度に始まりました。実際の先生方が派遣されたのは平成 14 年からですが、この制度が始まる前にも、650 名を超える現職の先生方が青年海外協力隊に参加していただいております。ただ、協力隊員の場合、訓練を含めて 2 年 3 か月の期間になっておりまして、学校の先生の場合は、学年の変わり目に日本にいる必要性が高いものですから、なかなか 2 年 3 か月という期間は先生方の現職での参加が難しいこともありますと現時点では 3500 人を超えるボランティアが世界で活動中ということになります。現職教員の特別参加制度は、先ほど芝田課長のほうからもご紹

JICA のボランティア事業には 3 つの目的があります。一つ目は、開発途上国の経済・社会の発展に貢献するという技術協力です。それから二つ目が、途上国と日本の友好親善と相互理解を促進するということです。それから、ボランティアの経験を日本の社会に還元する、これが 3 つ目の大きな目的になっております。この 3 つ目の日本社会への還元ということが非常に重要な部分になっておりまして、国の事業として、また国民の税金でこの事業が成り立っている理由がそこにあるといつても過言ではありません。教員の皆さんには、この社会還元という面でとても有利な立場にあると思います。つまり、帰国後再び教壇に立って、子供たちに経験を語る。そのことによって、日々の仕事の中

で社会還元をすることになるということで、これは他の職業にはないメリットだと思います。したがって我々としてはもっとたくさんの教員の方に JICA ボランティアとして海外に出ていただきたいと思っております。また、近年では日本の社会も大きく変化しまして、多くの外国人労働者が日本の経済を支える構造になってきました。その数は 200 万人といわれています。そして、その子供たちである外国籍の児童が 7 万人も日本の公立の学校に就学していると聞いております。おそらくここにおられる先生方が、3 月まで教えておられた学校でも外国籍の子供たちが多かれ少なかれいたのではないかと思います。まさに異文化と共生する時代、社会になってきたということがいえると思います。こういう状況の中で、豊富な海外経験と異文化に対する深い理解を持って、さらに、言葉を含めたコミュニケーション能力に長けた人材というのが、教育現場で非常に必要になってくるのではないかと思います。皆さんのがこれから訓練を含めて 2 年間協力隊員、日系社会青年ボランティアとしてチャレンジされると、必ずこうした期待される人材になられると確信しております。どうか頑張ってください。

また、今回の特別研修の目的の一つは、みなさんに対する支援のプログラムを紹介することです。筑波大学を始めとする多くの大学による充実した支援体制が組まれています。協力隊の他の職種の場合には、これほど充実した支援体制はありません。どうか今回の研修で十分理解していただいて、活用していただきたいと思います。

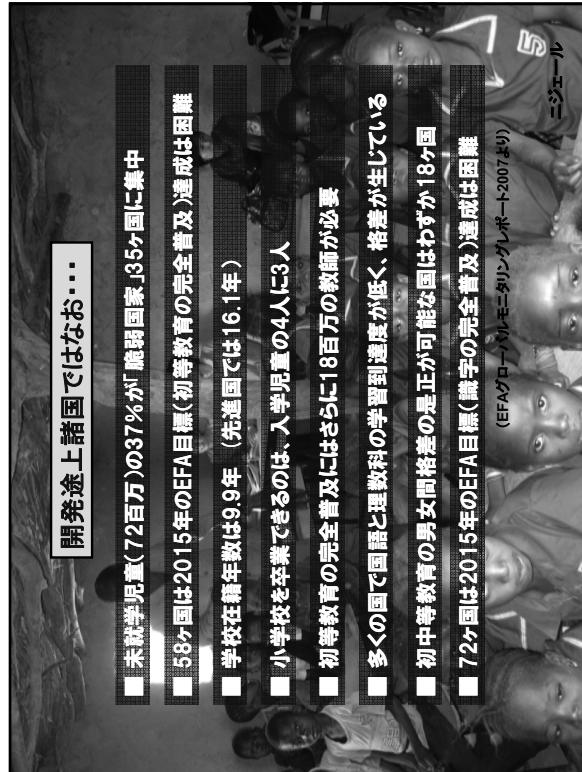
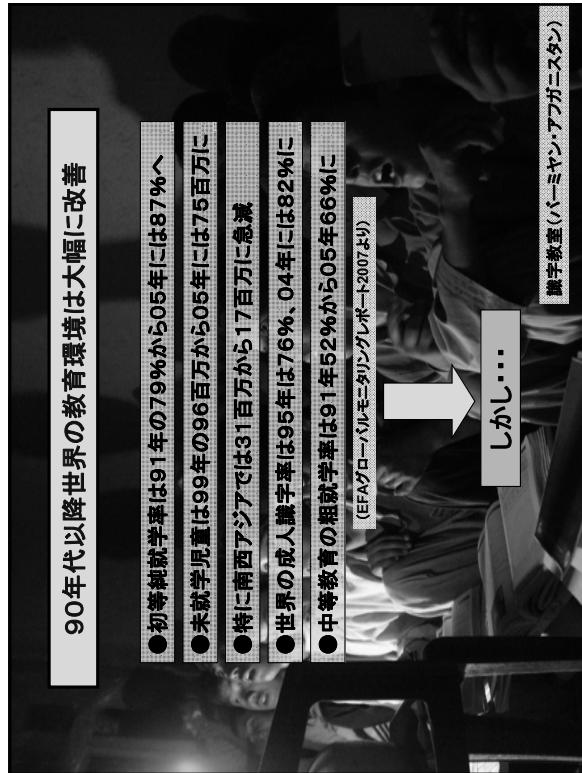
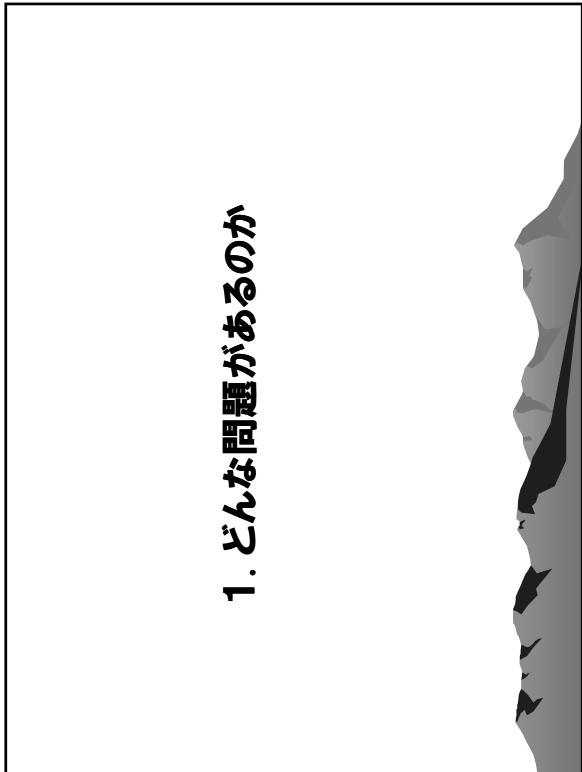
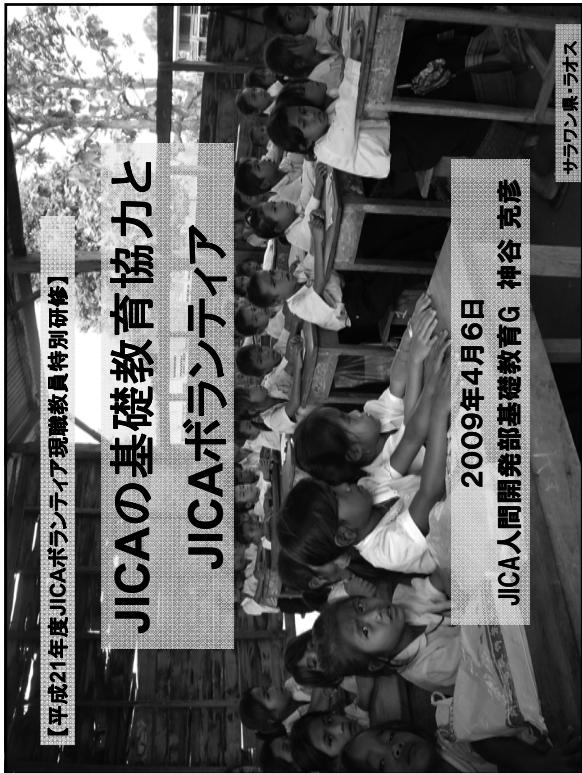
JICA のボランティア事業は、ボランティア本人が主役です。我々 JICA はこれをサポートさせていただくものです。現地での活動の場面では、日本では想像できない困難、あるいは苦労がたくさんあると思います。しかし迷ったら、ハードルが高い方を選ぶという、チャレンジ精神でこれを乗り越えていただきたいと思います。今日明日のこの研修が、皆さんにとって有意義なものになることを期待いたしまして私のお話とさせていただきます。どうもありがとうございました。

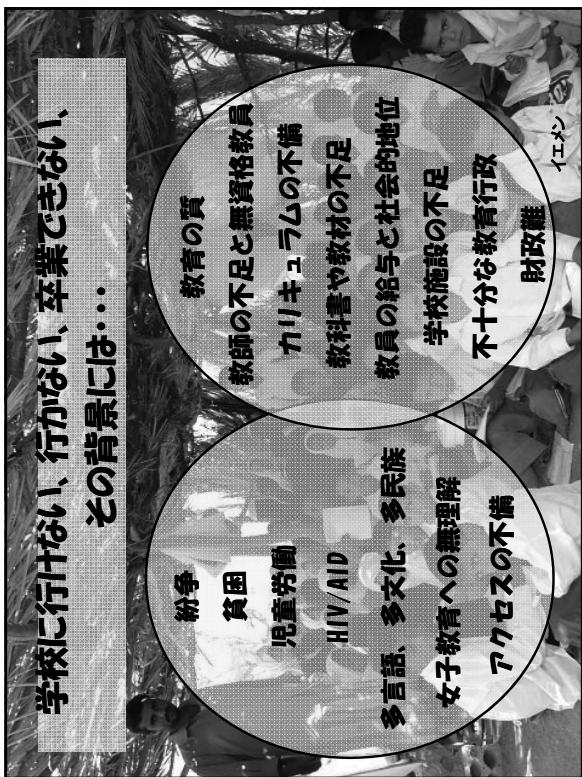
JICA の教育協力について

神谷 克彦

(JICA 人間開発部次長)







2. 基础教育协力の潮流

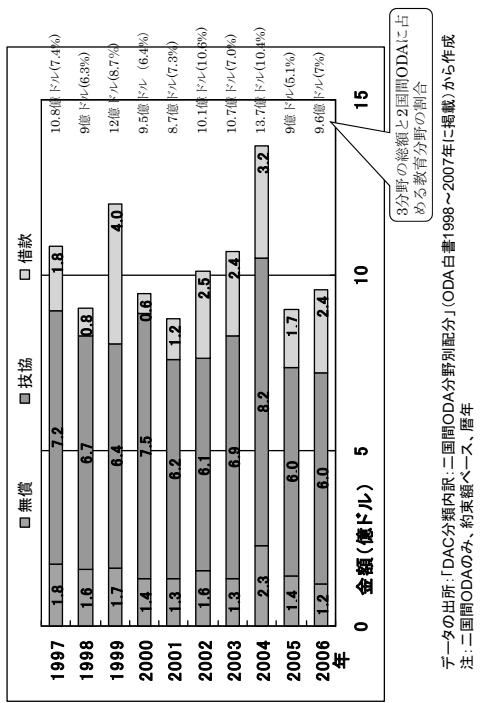
2-1. 基础教育协力の国际的な潮流

- 「万人のための教育世界会議」(1990 タイ)
 - *Education for All (EFA)* の提唱
- 「世界教育フォーラム」(2000 ダカール)
 - 以後「EFAハイレベル会合」として継続的にフォロー
- 「ミレニアム開発目標 (MDGs)」(2000 UN)
 - 2015年までのEFA目標の達成
- 「ファストラック イニシアティブ (FTI)」(2002)
 - EFA目標達成を促進するための資金的枠組みの創設

2-2. わが国の基础教育协力政策

- 成長のための基础教育イニシアティブ BEGIN (2002)
 - (Basic Education for Growth Initiative/BEGIN)
 - G8ナナックスミット(6月)で小泉首相が発表、ヨハネスブルグサミット(WSSD)の「小泉構想」にも盛り込まれる
 - ▶ 重点分野：基础教育の機会の確保、質の向上、マネジメントの改善
 - ▶ BEGINと同時に、佐所総理に対し5年間で2500億円以上の教育支援を表明
- 新ODA大綱 (2003)、新ODA中期政策 (2005)
 - ▶ 重点課題：貧困削減(教育、保健、水、農業等)、持続的成長、地球的規模問題、平和構築
- アフリカ開發会議(TICAD IV)行動計画(2008)
 - ▶ 初中等学校1,000校/5,000教室の建設
 - ▶ 10万人の初中等教員養成
 - ▶ 1万校の学校運営改善

2-3. わが国の教育協力の推移(実績) 図1



2-3. わが国の教育協力の推移(機関別) 図2

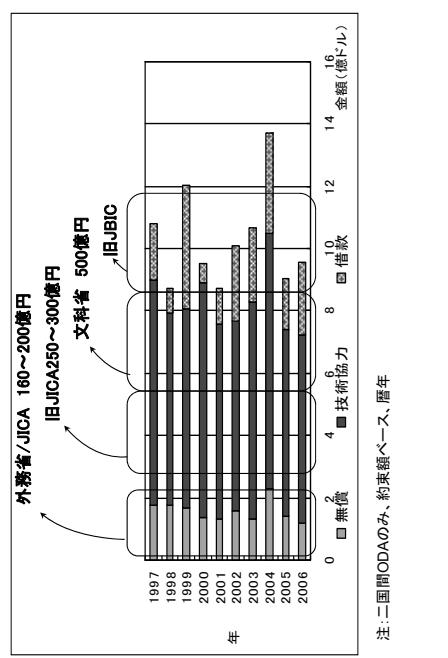
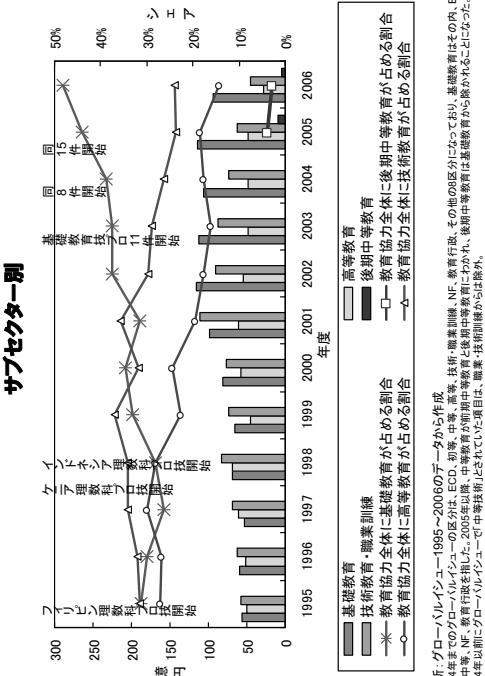
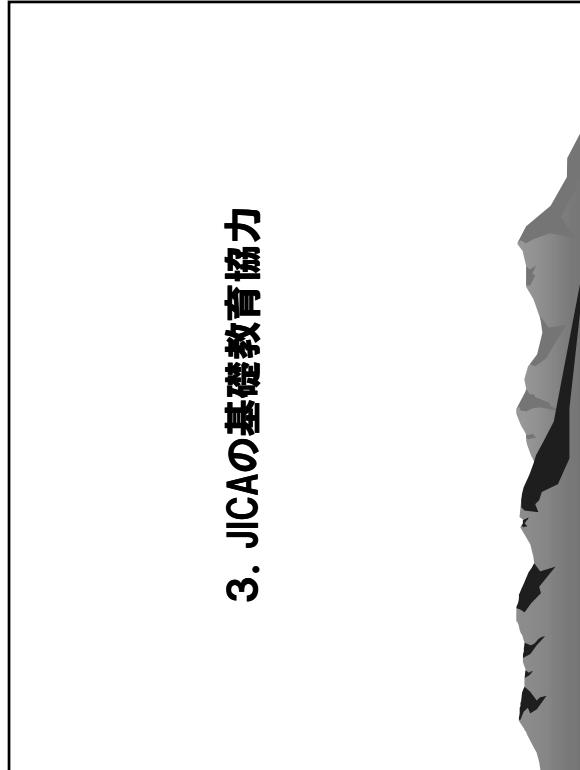


図3 教育協力実績の推移 サブセクター別



3. JICAの基礎教育協力



3-1. 基礎教育協力の定義

「人々が社会の中で生きていくのに必要な知識・技術を獲得するための教育活動」

—「万人のための教育に関する世界宣言」第1条第1項

- △開発のための教育
○人権としての教育
→ MDGs, EFA, 人間の安全保障

3-2. どんな方針に基づいているか

- 初中等教育の就学率の向上
- 初中等教育の質の向上
- 教育におけるマネジメントの改善
- 優先的に取組み
- ジエンダー格差の是正
- ノンフォーマル教育(NFE)の拡充
- 就学前教育(ECD)の拡充

—JICA「基礎教育 課題別指針」2005年

■初中等教育の就学率向上

- <アプローチ>
- 無償資金協力による小中学校の建設
 - スクールマッチング
 - 教員の養成・確保、教材の整備・配布
 - 学校運営の改善
 - コミュニケーションや家庭の理解促進
 - ノンフォーマル教育



■初中等教育の質の向上

- <アプローチ>
- 現職教員研修(INSET; in-service training)
 - 教員養成(PRESET; pre-service training)
 - 理数科教育を中心とした教授法の改善
 - 教材や教師用指導書、カリキュラムの開発
 - 授業研究、授業観察等、授業改善への取組み



■ 教育におけるマネジメントの改善

<アプローチ>

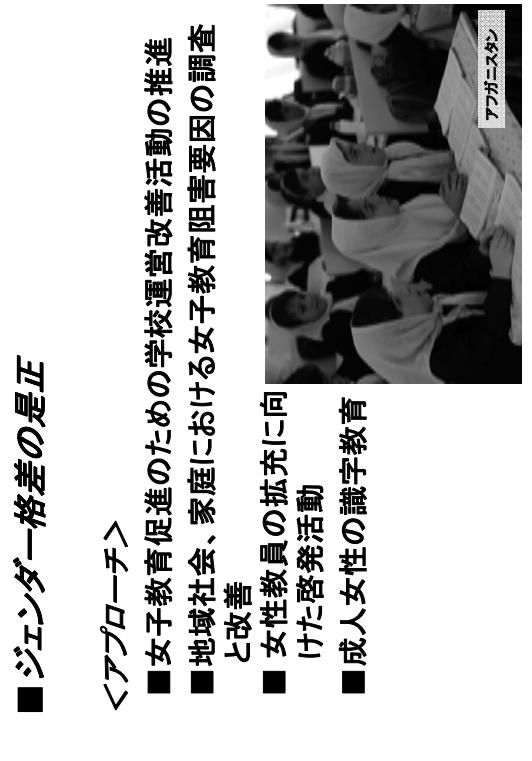
- 学校運営委員会の強化
- 住民参加の学校運営改善の促進
- 地方教育行政の改備
- 教育統計の整備
- 世銀等、教育財政支援との「調和化」の促進



■ ジェンダー格差の是正

<アプローチ>

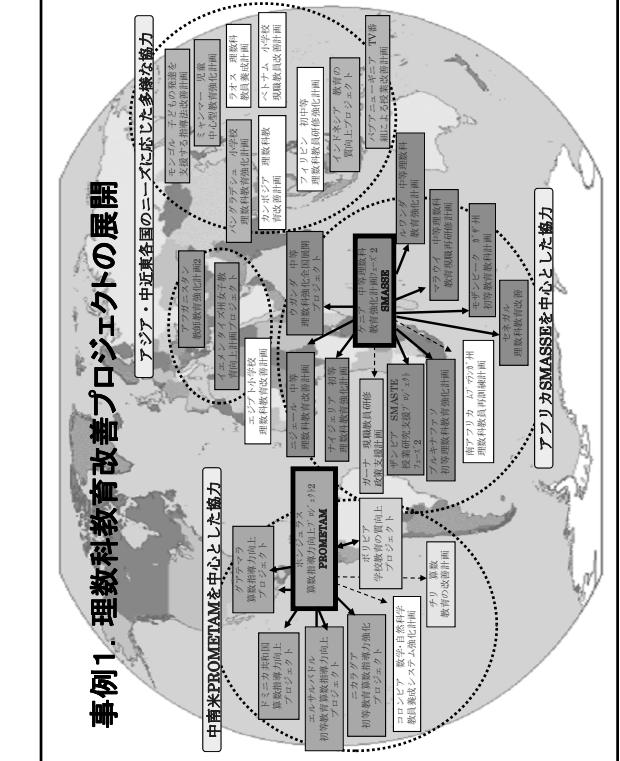
- 女子教育促進のための学校運営改善活動の推進
- 地域社会、家庭における女子教育阻害要因の調査と改善
- 女性教員の拡充に向けた啓発活動
- 成人女性の識字教育



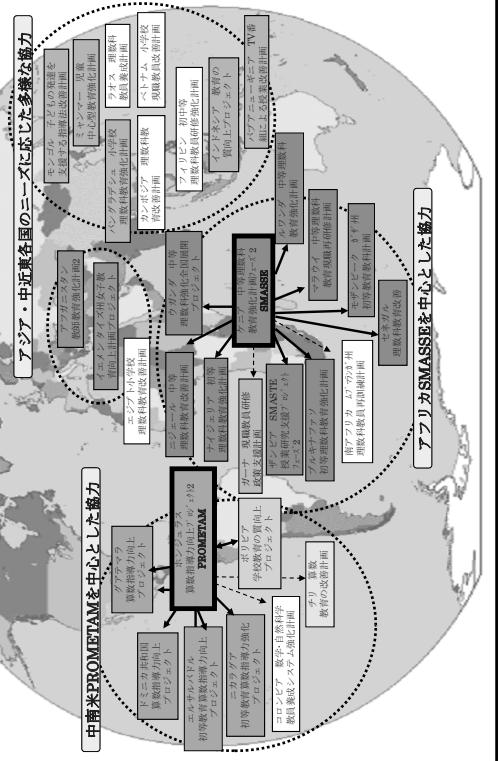
■ ノンフォーマル教育の拡充・その他

<アプローチ>

- 認字教育
- 特別支援教育
- 識字教育統計、マッピング
- 地域主体の生活技術教育、生涯教育
- 学校保健
- ECD
- 僕地の教育アクセス改善のための遠隔教育

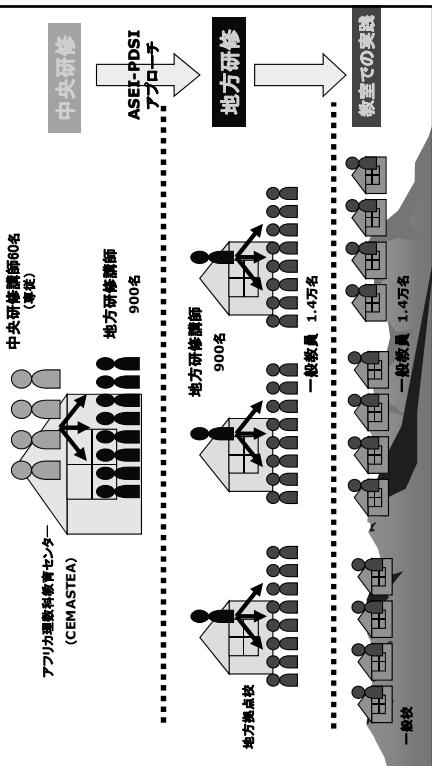


■ 事例1. 理数科教育改善プロジェクトの展開





事例1-1. 現職教員研修(INSET)制度の構築 <ケニアSMASSEの例>



事例1-2. ASEI-PDSIアプローチによる授業改善(SMASSE)

- 教員が変わり、授業が変わり、生徒が変わる！>
EI-PDSIアプローチ
Activity 活動に基づいて知識を得る授業
Student 教師中心の授業から生徒中心の授業
Experiment 講義中心から実験や教育方法を工夫した授業
Improvisation 最近な教材を使つた小さな実験のある授業

• Plan-Do-See- Improvement

例) 授業計画作成から評価、フィードバック・改善を行うサイクル

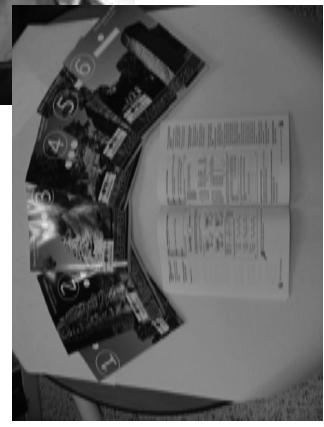
事例1-3. 授業研究を探り入れているプロジェクト例

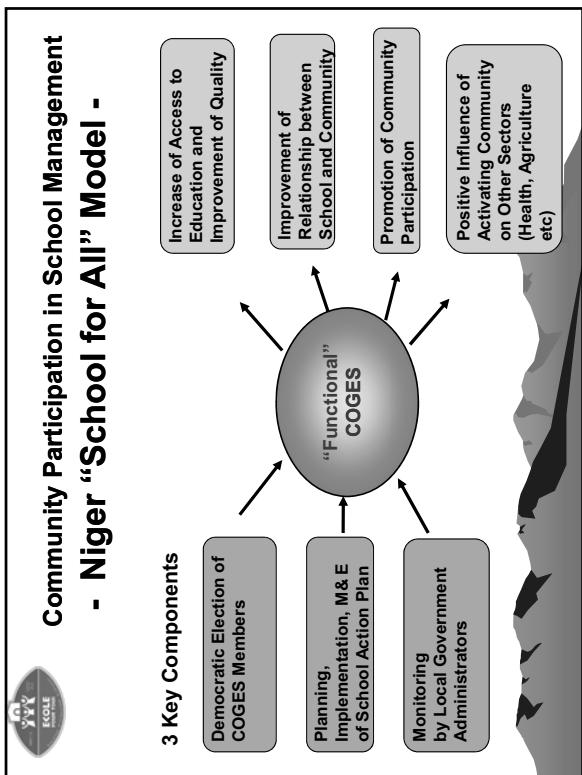
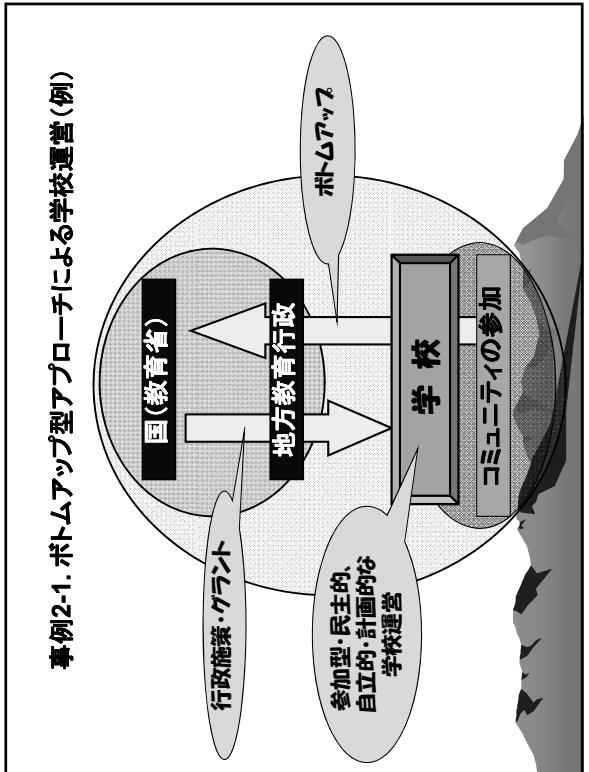
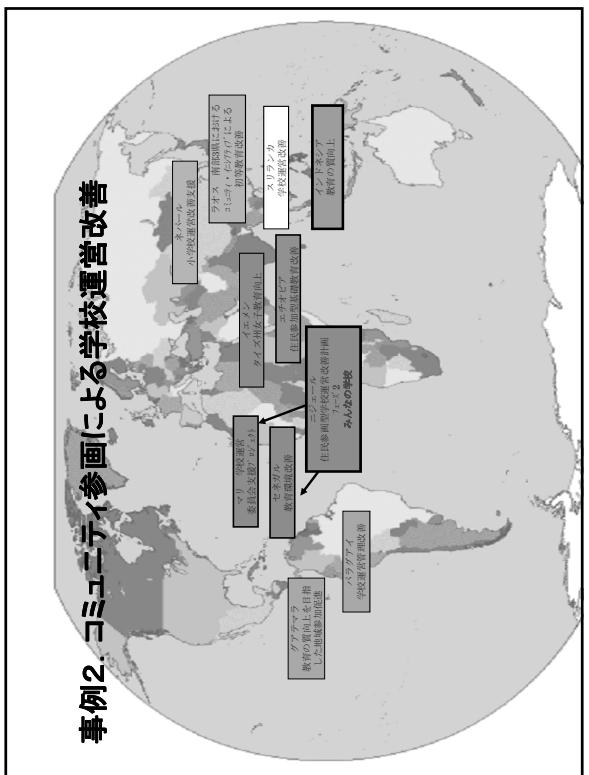
- ザンビア SMASITE授業研究支援プロジェクト
- モザンビーク ガザ州初等教育強化計画
- ポリビア 学校教育の質向上プロジェクト
- チリ 算数教育の改善
- モンゴル 子どもの発達を支援する指導法改善計画
- バングラデシュ 小学校理科教育強化
- インドネシア 教育の質向上プロジェクト



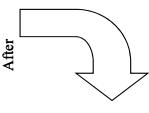
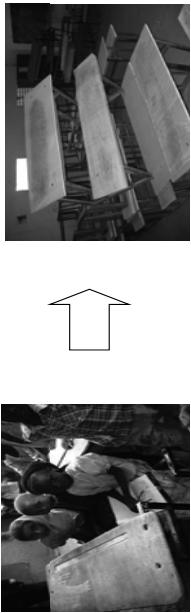
事例1-4. 教師用指導書や学習教材の作成支援

- 中米カリブ圏算数教育協力（ホンジュラス、エルサルバドル、ニカラグア、グアテマラ、ドミニカ共和国）「算数大好き！プロジェクト」
- アフガニスタン教師教育強化
- ミャンマー児童中心型教育強化
- バングラデシュ小学校理科教育強化計画
- モンゴル 子どもの発達を支援する指導法改善
- パプアニューギニア TV番組による授業改善計画





Infrastracutures (repairs of desks and chairs)



After

Before

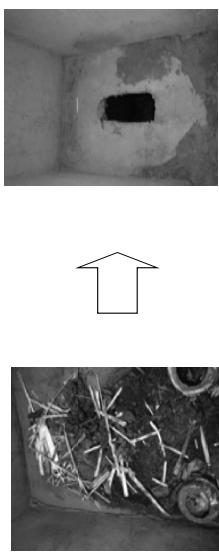
Improvement of Quality of Education



Purchase of lamp for
night class

Literacy class for
women

Health & Sanitation (cleanup)



After

Before

事例3. 日本の教育経験を伝える
<本邦への研修員受入れ～課題別研修コースの例へ>

| 研修コース名 | 協力機関 | サーカスター |
|-----------------------|--------------------------------------|---------|
| 仏語圏アフリカ教育行政」 | 広島大学高等教育研究開発センター 名古屋大学大学院教育系総合研究科 | 教育マジンパト |
| 中等教育開発会 II | 広島大学教育学部 | 教育マジンパト |
| 中等科学教育実技 II | | 教育研修 |
| 学校保健 | あいち小児保健医療センター | 教育研修 |
| 女性の教育推進セミナー II | 国立女子教育会館 | 女子教育 |
| 障害児教育（中南米） | 筑波大学教育開発国際協力研究センター | 特需教育 |
| 初等中等算数・板書教育向上（南北太平洋） | 福岡教育大学 | 教育研修 |
| 小学校における理科実験教育（南アジア） | 帯広市教育委員会 | 教育研修 |
| 幼児教育（中西部アフリカ） | お茶の水女子大学 | ECO |
| 日本の教育問題（中米） | 筑波大学教育開発国際協力研究センター | 教育マジンパト |
| サブサハラアフリカ地域における学校運営改善 | 金沢大学教育学部 | 教育マジンパト |
| アフリカ給食支援問題における教育開発 | 大阪大学大学院人間科学研究科 | 教育マジンパト |
| 基礎教育における教員資格基準正 | 沖縄県教育委員会、琉球大学 | 教育マジンパト |
| 初等理数料教教材法 | 北海道教育大学 | 教育研修 |
| 地方教育強化（SMASS-WECSS） | 札幌市教育センター | 教育マジンパト |
| 中南米地図学教育改善改善 | 筑波大学 | 教育マジンパト |
| 小学校理数料教教材改善改善（中東諸国） | 福岡教育大学 | 教育研修 |
| ノンフォーマル教育研究会 | 広島大学 | NFE |

事例4. 草の根レベルで教育を支える
＜基礎教育分野の青年海外協力隊＞

| 種別 | 職種 | 理数科教師 | 小学校教師 |
|--------|----|--------|-------|
| 派遣中の隊員 | | 204 | 183 |
| うち現職教員 | | 22 | 82 |
| 累計 | | 1, 840 | 709 |

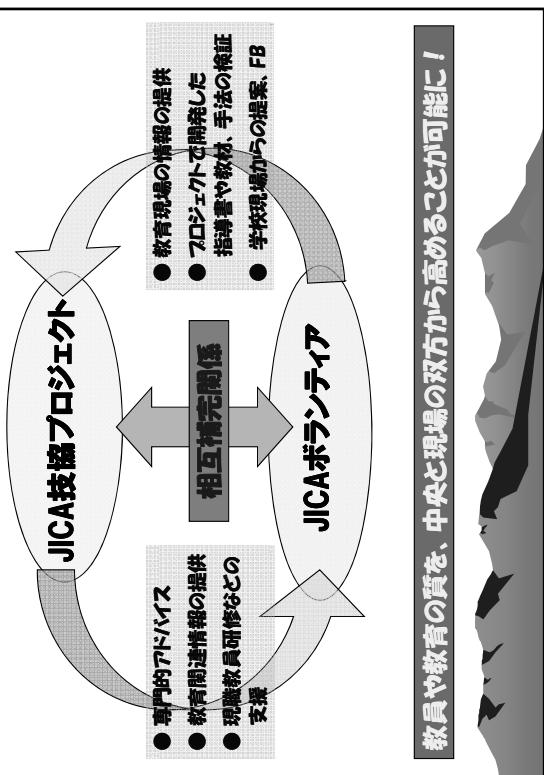
(2007年)

4. JICAボランティア活動との連携



4-1. 技術協力とJICAボランティア

- JICA技術協力はー
 - ・相手国の政策や方針に基づき
 - ・様々な関係者と共に明確な目標や期待される成果を想定し
 - ・達成のための方法論やフレームを定めた上で
 - ・計画的に活動を行う
- JICAボランティアはー
 - ・ボランティア自身の意志に基づき
 - ・これまでに培った知識・技術・経験を活かしつつ
 - ・現場の仲間、同僚と共に出来る限りの範囲で
 - ・現場のニーズや課題に創意工夫をもつて取り組む



4-2. 連携事例: ニジエール中等理科教育強化計画



4-2. 連携事例: バシグラデシュ小学校理数科教育計画



4-2. 連携事例：

- 他にも多くの事例が！
- エジプト住民参加型学校運営改善計画（「みんなの学校」）
- ケニア中等理科教育強化計画他（SMASSE）
- 中米カリブ広域算数教育協力（「算数大好き！」）
- ボリビア学校教育の質向上プロジェクト(PROMECA)
- パプアニューギニアTV番組による授業改善(EQUITV)
- …などなど。

4-3. 基础教育協力の担い手は…

- 教育コンサルタント
- 大学等の研究者や附属校教員
- フリーランスの教育協力専門家
- 教育NGO
- JICA国際協力専門員
- JICAジュニア専門員
- …などなど

その多くが、実はJICAボランティア出身という事実!!

<基礎教育協力についてさらに詳しく知りたい方は>

- 教育協力について；
JICA HP > 事業案内 > 課題別取組み > 教育
<http://www.jica.go.jp/activities/issues/education/index.html>
- 技術協力プロジェクトについて；
JICA技術協力プロジェクトHP > 課題別インデックス > 教育
http://www.jica.go.jp/project/subject/education/01_1.htm

- 基礎教育協力に関するお問い合わせは：
→ JICA人間開発部基礎教育支援ユニット
- 地域教育／国際理解教育に関するお問い合わせは：
→ JICA地球ひろば（広報センター）
- 教育協力のプロを目指したい方は：
→ JICAボランティア道路相談カウンセラー「PARTNER」HP
JICA国際協力人材センター「PARTNER」HP



国際教育概論

手嶋 將博

(文教大学教育学部准教授)



平成21年度 青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア
現職教員特別研修

国際理解教育概論

～「理解」から「共生」へ～

手嶋 将博
(文教大学教育学部)

1

I. 共に生きる教育

2

I. 「共に生きる教育」とは？

1. 「共に生きること」の意味

「共生」とは？…人間同士のかかわり、人間の生き方、あるいは人間と環境のあるべき姿を示す言葉。

例：「障害者と健常者」「民族共生」「男女」「若年者と高齢者」など。

現実の力関係をそのままにして、「ただ仲良くする」ことだけを強調すると、結果的に差別を助長したり、人権侵害を隠蔽したりするといった問題を孕んでいる。

⇒対等な立場の「共生」ではなく、単なる「受容」(強者が弱者に「手を差し伸べている」状態)に陥りやすい。

3

1. 「共に生きること」の意味

「共生」の基本…「自己を知ることから始まり、自己と他者の関係を築くという対話的課程」
(ユネスコ21世紀教育国際委員会『学習：秘められた宝』より)

共生を実現するための二つの提案

- ①「他者を発見すること」(自己を知り、他者を知る
⇒他者との共感性の発達)
 - ②「共通目標のための共同作業」(スポーツ、文化活動、地域活動、奉仕活動など)
- 日常的な教育活動において、共同で課題を解決していくことで実現化。

4

2. 「共生」を柱にした教育とは？

(1) 「共生」の3つの柱

- ①「自分との共生」…個性を含めた、あるがままの自分を受け入れること(自己肯定感)。
- ②「他者との共生」…自分と他者のつながりを作ること(身近なレベルで異なる背景を持つ人々との交流によって可能)。
- ③「環境との共生」…さまざまな「違い」を超えた相互理解によって、新しい価値を基盤にした生活環境を作り上げていくこと(自然との「共生」も含む)。

5

2. 「共生」を柱にした教育とは？

*「共生を柱にした教育」=自己との共生を基盤にして、他者と関わりつつ、自分の生活を認め、より良い環境を共につくり上げていくこと。



その具体的な手法として

1. 自分と向き合う
 2. 他者への共感的理解
 3. 生活を振り返る
- といった学習が求められる。

6

3. 「共生する力」をどう育てるか？

* 単なる「スキル(技能)の習得」では育たない。

①批判的思考力

②知を構成する力

③人とかかわる力

④違いを認め、受容する力

⑤他者への想いと想像力

7

4. 「共生」ための実践の視点

* 教師の実践への振り返り…既成の枠組みの中で子どもたちをとらえてしまうことへの疑問。

↓

①「人とのかかわり」…地域の人々、身近な友達、障害者などの関係を中心にする。

②「違い」をきちんと説明できるように新たな単元や教材を開発。

③外国籍の子ども一人ひとりの背景を生かす。

☆教師同士の協働…個々の力ではなく、地域の教員同士、ボランティアなどの協力体制での実践。

8

II. 国際理解教育 の概要

9

国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)

(United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization)

- 教育や文化の振興を通じて、戦争の悲劇を繰り返さないとの理念から、設立を定めた
ユネスコ憲章の前文には、
「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、
人の心の中に平和のとりでを築かなければなら
ない」
との文言があり、ユネスコ設立の目的とその精
神を顕著に表している。

10

ユネスコ・1974年第18回総会

「国際理解、国際協力及び国際平和
のための教育、並びに人権及び基本
的自由についての教育に関する勧
告」

の採択。7項目の指導原則を提示。

11

指導原則・7項目の内容

1. 國際的側面と世界的視点に立つ教育。
2. 全ての民族、文化、文明、価値及び生活様式(多文化教育)に対する理解と尊重。
3. 諸民族及び諸国民の間に世界的な相互依存関係が増大していることの理解。
4. 他の人々と交信する能力(特に情報発信能力)。
5. 権利と相互に負うべき義務が、個人、社会集団、國家それぞれにあることの認識。
6. 國際的な連帯と協力についての理解。
7. 一人ひとりが自分の属する社会、国家および世界全体の諸問題の解決に参加する用意を持つこと。

12

国際理解教育の主な内容

(The main contents of international understanding education)

1. 異文化理解(Inter-cultural understanding)
2. 自文化理解(Self-culture understanding)
3. コミュニケーション能力(Communication ability)
4. 国際交流・協調(International exchange and cooperation)
5. グローバル教育(Global education)
6. 人権教育(Human-rights education)

13

1. 異文化理解

(Inter-cultural understanding)

■国際理解教育の代表的な「3F」(文化的特徴が表れやすいため、現場での実践が多い学習)。

◎Fashion(衣)・Food(食)・Festival(祭り)

■「自分たちと異なるもの(文化／宗教／習慣など)」に対する正しい理解と寛容(tolerance)の態度／実践を身に付ける。

■日本のように「食文化」に関わらせる異文化理解学習ができることは、非常に貴重な体験学習である。

■ステレオタイプな知識の詰め込みになり易いので、気をつける必要がある。

14

2. 自文化理解

(Self-culture understanding)

- 自分たちの国や郷土／地域の文化的特徴について正しく理解する。
- 体験的学習などを通して、その知識／情報を、正しく伝えられるようになる。
- 広くとらえれば、現代社会の中で起きる様々な出来事全てを題材にできる。→広く社会を見る視点や思考力を養うことができる。
- エスノセントリズム(ethnocentrism:自民族中心主義)に陥らないよう注意する必要がある。

15

3. コミュニケーション能力

(Communication ability)

- 自分の考えをまとめ、的確に相手に伝えることができる能力。
- 言語活動が含まれるため、国際理解＝英語教育や外国語教育そのものと混同されやすい(目的と方法の混同)。
- 読解力、論述力、表現力などに関する能力が大きな位置を占める(その育成には、国語、算数、実技教科などが全て関係)。

16

4. 国際交流・協調

(International exchange and cooperation)

- 短期／長期の留学や国際的な学校間の交流、あるいは同じ地域に住む外国人との交流などを通して異文化を体験、交流をして行く実践(前記1～3の能力が全て含まれる総合的実践ともいえる)。
- ネット社会の進歩で海外など遠い国や地域との交流も容易になって来ている。
- 世界で起きている様々なことを学び、「共生」の思想、相互依存、国際協力、国際援助などについて正しく知り、考え、行動できる力を身につける(環境教育、情報教育、健康・福祉教育、平和教育、人権教育等とも関連付けられる)。

17

5. グローバル教育

(Global education)

- いわゆる「地球市民(global citizen)」としての素養／意識を高めるための学習。
- 異文化を理解・尊重し、共生できるための知識、技能・能力、価値観、態度を持ち、現代社会の諸問題(環境・人権・平和・開発など)を平和的・民主的に解決できる人間の育成(平田(大分大学):2004年「21世紀を生き抜く市民性教育」の定義より)。
- 地域(local)、国家(national)、地球(global)などといった各レベルで意思決定し行動できる人間の育成。
- 前出1～4. をさらに知識／実践レベルで深め、推し進めて行くことで学習を進められる。

18

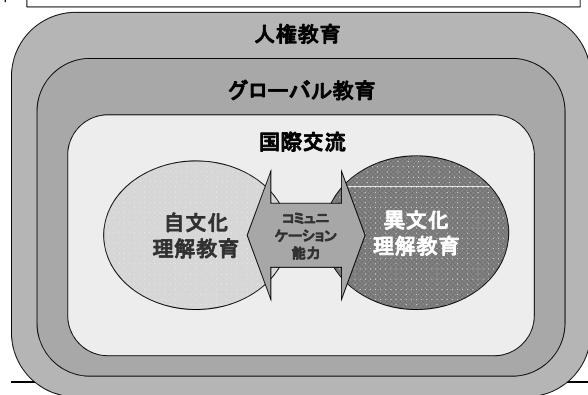
6. 人権教育

(Human-rights education)

- 「人権」に関わる正しい理解と実践の学習。
- 国際レベルでの学習はもちろん、国内、あるいは日常的なレベルでも関わりが深い。
- 扱いに十分な配慮が必要な場合も多く、学校現場で学習するには難しいケースもあるため、これまで国際理解教育の中で扱われることが少なかった分野のひとつ。
- いじめ問題や差別、青少年犯罪などとの関わりもある分野なので、まず身近なレベルから始め、国際／国内等各レベルとのバランスを保ちながら進めることが期待される。

19

国際理解教育の構造



20

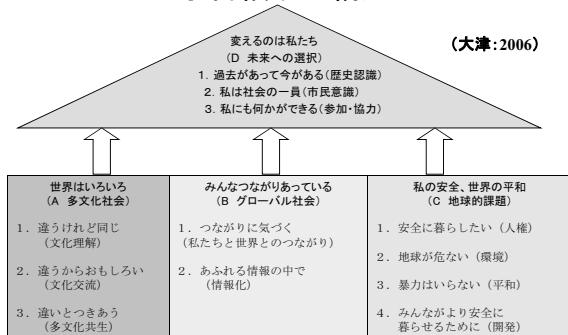
まとめ：国際理解教育の課題

- ①異文化に対するステレオタイプではない認識をどのように持たせるのか。
- ②自文化への興味／関心と正しい知識の育成。
- ③英語教育≠国際理解教育という観点に立った方法論としての英語(言語)教育の見直し。
- ④市民レベルでの国際交流／協調の推進。
- ⑤「地球市民」を目指したグローバル教育の推進。
- ⑥広い意味での人権教育のさらなる推進。

21

III. 国際理解教育のカリキュラム開発

3-1. 国際理解教育のカリキュラム開発 —学習領域の構造—



23

3-2. 国際理解教育のカリキュラム開発 —実践的枠組—

| キーワード 学習領域 | 1 | 2 | 3 | 4 |
|---------------|------|------|-------|----|
| A 多文化社会 | 文化理解 | 文化交流 | 多文化共生 | — |
| B グローバル社会 | 相互依存 | 情報化 | — | — |
| C 地球的課題 | 人権 | 環境 | 平和 | 開発 |
| D 未来への選択 | 歴史認識 | 市民意識 | 社会参加 | — |

24

国際理解教育の事例紹介

手嶋 將博

(文教大学教育学部准教授)

平成21年度 青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア
現職教員特別研修

国際理解教育事例

～ヒト・モノ・コトを通した国際理解～

手嶋 将博
(文教大学教育学部)

国際理解の3つのパターン

- ヒト(人)を通した国際理解…留学生や地域の外国人等との交流などを通して
- モノ(物)を通した国際理解…日用品や道具などの「五感」を通して触れるモノを通して
- コト(事柄)を通した国際理解…祭祀や習慣、行事、行動に伴う考え方等の「文化的な異同」を通して

国際理解教育実践における課題

- ヒト(人)を通した国際理解…一緒に何をしたらしいのか、あるいは何を質問していいのかわからない(表面的・形式的になりがち)。
- モノ(物)／コト(事柄)を通した国際理解…文化や習慣の「違い」の強調のみになりがち。「つながり」の実感が乏しいまま、そのとき限りのイベントで終了しやすい。
- いずれにしても、継続性や学びの深まりに欠け、手間の割に成果が見えない場合が多い。

国際理解教育の実践における留意点

- *「国際理解」の究極の目的=「共生」
- *基本は「人間理解」→学校で普段から行われていること(自分を大切にする、お互いを尊重し、認め合う)の延長線上にある
- *新しい価値を基盤にした生活環境(=「公平」な生活環境)の意識の涵養
といったことをねらいにした「継続的」で「学びあい」に繋がる実践。

実践事例：

博物館アウトリーチ教材の開発

～マレーシアでの実践を通して～

| | |
|-----------|-----------|
| 木村 慶太 | 立命館守山中学校 |
| 山田 幸生 | 鎌田小学校 |
| 中島 大輔 | 鎌田小学校 |
| 手嶋 将博 | 文教大学 |
| クマラグル ラマヤ | マレーシア工科大学 |
| 今田 晃一 | 文教大学 |

これまでの実践の流れ

2003年 博学連携について学習指導要領に明記

国立民族学博物館と連携した国際理解教育

| 年度 | 香芝西中学校 | 鎌田小学校 |
|------|---------------------------|--------------|
| 2005 | ミニ博物館づくり | ミニ博物館づくり |
| 2006 | ミニ博物館づくり 日本版みんぱくの製作 | ミニ博物館づくり |
| 2007 | マレーシアへの送付と実践 マルチメディア解説 | 日本版みんぱくの製作 |
| 2008 | | マレーシアへの送付と実践 |

レインツリー 雨の木



レインツリーは、文字通り雨の音がする楽器です。枯れたサボテンの幹とトケと砂漠の小石を使い作られます。小石がゆっくり落ち、トケにあたる音が、雨の音に聞こえるのです。カトカマ砂漠では現在も雨乞いの儀式の道具として使われています。

<感想>
初めてレインツリーを見たとき、ただの木の棒だと思ったけど、音を聞いてすごい綺麗だと思った。調べてみて、サボテンから出来ている、という事にまた驚きました。
これだけ、雨の音に似ているのだから、雨乞いにも効果がありそうだと思いました。
皆さんも是非レインツリーを傾けてみて下さい。綺麗な音に、感動すること間違い無しです！！！

<引用・参考アドレス>
<http://benipinu.blog72.fc2.com/blog-entry-434.html>
<http://www.african.jp/tingatinga/shop/ethnic.html>
<http://www.tikine.jp/~milky/gakki/rainstick.html>

本実践研究の目的

- 「日本文化」の再発見
- 異なる文化を持つ他者への日本文化の発信
- マレーシアへの送付及び現地での評価を通して両国の「日本文化」に対する認識の違いを比較検証する
- 本実践を通した中での両国の児童・生徒の意識変容に関して考察を行う

本実践研究のプロセス

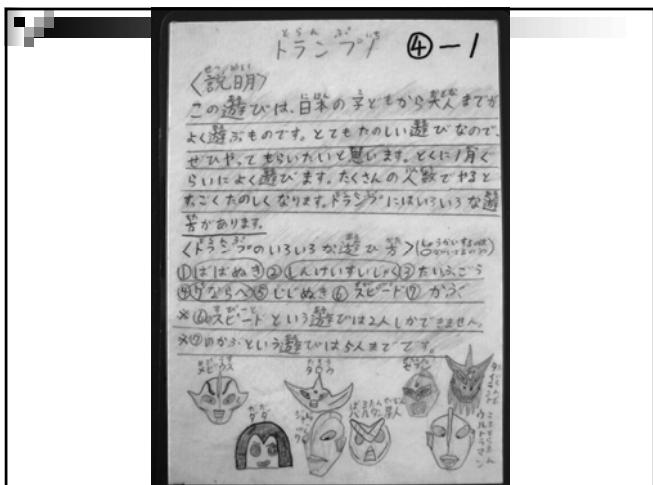
- 民博を訪問後、民族学的資料及び解説ラベルを調査
- 「みんぱっく」を活用した授業の展開
- 「日本文化」を紹介するアウトリーチ教材の生徒自身による選定
- 日本の中学生による「日本版みんぱっく」の作成
- マレーシアへ送付。現地の中学生に「日本版みんぱっく」の評価をしてもらう。
(タマン・デサ・スクダイ国民中学校)





＜児童が選んだ資料＞

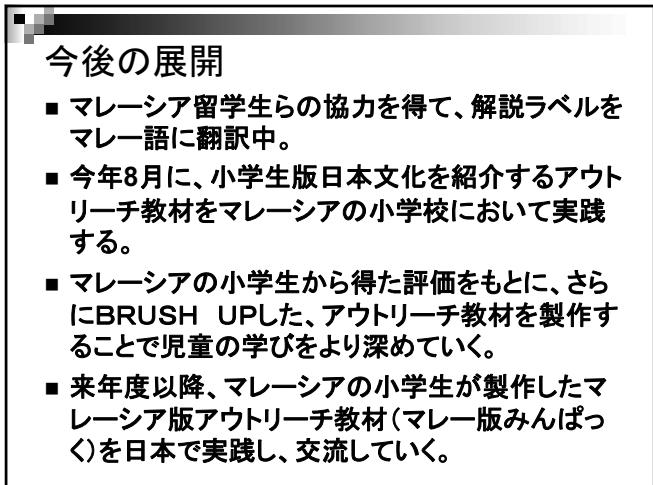
| | |
|-----------|--|
| 学校で使用するモノ | ランドセル、文房具類、絵の具 習字道具 |
| 生活に使用するモノ | 扇子、うちわ、はし、花の便箋、風鈴 |
| 遊びに使用するモノ | こま、べったん、めんこ、万華鏡、折り紙、 千代紙、なわとび、連だこ、だるま落とし、 けん玉、ゲイラカイト、とび出す絵本、トランプ、 ペーゴマ、野球道具、福笑い、かるた |
| その他のモノ | 千羽鶴 |





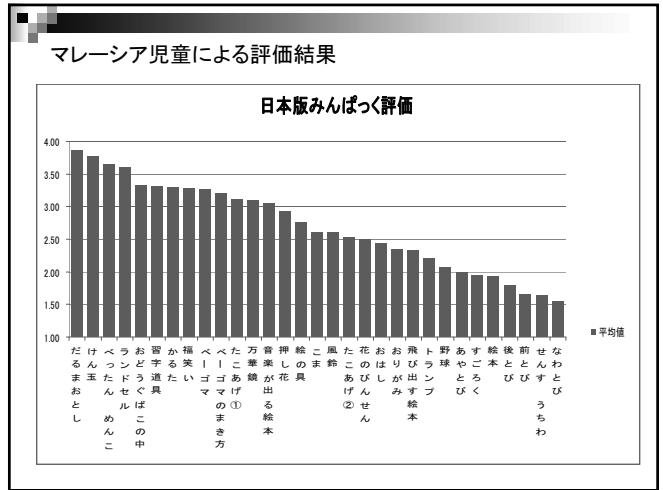
実践の結果

- 「マレーシアで、自分たちが作った教材が実際に使用される」という学習状況の設定が児童の主体的な学びを導く。
- 身近な中学生が作成した「みんぱっく」がより良い見本となり、小学生の学びに刺激を与えた。
- 小学生の資料選定の基準は「生活や遊びに根ざしたもの」が中心であった。
- 中学生版を使ったときのマレーシアの子どもたちの反応では、「日本文化を感じさせるモノ」は、「季節」に関するモノや、日本のマンガ、アニメから得た情報に関するモノであった。



今後の展開

- マレーシア留学生らの協力を得て、解説ラベルをマレー語に翻訳中。
- 今年8月に、小学生版日本文化を紹介するアウトリーチ教材をマレーシアの小学校において実践する。
- マレーシアの小学生から得た評価をもとに、さらにBRUSH UPした、アウトリーチ教材を製作することで児童の学びをより深めていく。
- 来年度以降、マレーシアの小学生が製作したマレーシア版アウトリーチ教材(マレー版みんぱっく)を日本で実践し、交流していく。



実践のまとめ(1)

- 野球道具等(マレーシアでは行われないスポーツ用具)…非常に関心が強いが、「日本文化」であるという意識は低い。
- ランドセルや剣玉、だるま落とし、道具箱等(初めて見る道具・遊び)…いずれも関心が相対的に強い。より長時間触れ、遊ぼうとしていた。
- 独楽、凧、箸、扇子、風鈴等(日本にもマレーシアにも存在するもの)…形状や使い方(遊び方)の「違い」が分かると関心が高くなる(異文化の認知・理解による関心度の上昇)。

実践のまとめ(2)

- 押し花や花の便箋等(小物・ステーショナリー)…女子児童が高評価。見た目や触感の「繊細さ」に日本文化を強く感じる傾向がある。
- 児童が日本に紹介したいマレーシアの遊び…“チョンカ”(伝統的ボードゲーム)や、“マレー凧(ワウ)”，セパタクローなど多数が挙がった。
- 一方、サッカー、TV・パソコンでのゲームなどもあり、日本の児童との共通項も多く見られた(グローバリゼーションの影響?)。

実践による日本の児童・生徒の変化

- 「自作アウトリーチ教材を外国で使ってもらう」という学習目標により、児童・生徒に「自分たちが日本の代表として自国の文化を紹介するのだ」という自覚と意欲を喚起させた。
- 双方の児童・生徒にとって、異文化についての学びを通して自分自身の意識を知り、自文化に“見つめ直し(再考察)”や、なぜそのような意識が形成されたのか、という考察を深めた。
- 自作アウトリーチ教材が実際にマレーシアで活用される映像・写真を見ることで、児童・生徒は達成感と、一層の興味・関心を得た。→学習の継続／発展

実践によるマレーシア側の評価

マレーシアにおいてもこの実践によって、日本の同世代の子どもたちの日常を知るだけでなく、自国の子どもたちの「日本文化」に対して抱いている意識を知ることが可能となる取り組みである、と(現地の教員にも)大変好評であった。→「マレーシア版みんぱく」を作りたい、というマレーシアの小学生の意欲を喚起した。

実践後の児童の学習の発展

- マレーシアから得た小学生版「日本版みんぱく」に対する評価をもとに、鎌田小学校の児童たち(5年生に進級)は、現担任の中島大輔教諭のもとで、ブラッシュアップしたアウトリーチ教材を製作するために、以下の3つの視点—①木材で出来たもの、②日本の技術を感じられるもの、③冬を感じさせるもの—を自ら考え出した。
- さらにその過程で、今まで自分たちが使っていた、「木のおもちゃ」の原材料の木材が、実はマレーシアなどの海外から大量に輸入されていたことに気づき、地球環境に関する関心も深まるなど、児童の「学び」をより深める結果となった。



今後の展開

- 本研究の結果、マレーシアの子どもたちは「遊び」を通して日本の文化を知り、日本の子どもたちはアウトリーチ教材の製作を通して、異文化である「世界」を意識する一方、自文化としての「日本」への見つけなおしが行われた。
- 今回の成果を生かして、来年度以降、マレーシアの小学生が製作したマレーシア版アウトリーチ教材「マレー版みんぱく」を用いた実践研究を日本で実践して、教材の内容や、児童による評価結果を比較していく予定である。

「日本とマレーシアにおけるアウトリーチ教材を活用した 国際理解教育の実践に関する研究」

文教大学大学院 教育学研究科 准教授 手嶋 將博*

マレーシア工科大学人材開発学部 講師 クマラグル・ラマヤ**

文教大学大学院 教育学研究科 院生 石田 亘***

概要:現在、アウトリーチ教材を活用した国際理解教育の授業研究の開発が進められている。本研究は、日本の小・中学生が開発した自作アウトリーチ教材を用いてマレーシアの小・中学校と交流することにより、自文化を見つめなおす学習機会を与えるとともに、異なる文化を持つ他者に向けて“発信”できるようにすることを目指すものである。

キーワード:博学連携、国際理解教育、アウトリーチ教材、マレーシア

1. はじめに

平成15年12月に学習指導要領の一部改訂がなされ、「博物館の活用」が明記されたことを受けて以来、博学連携の一環として、「アウトリーチ教材」を活用した国際理解教育の授業研究の開発が進められている。「アウトリーチ教材」とは、博物館から遠く離れたところに展示物を送り届けて、博物館と同じように実物を観察したり、実際に手で触れる(=「ハンズ・オン教材」)などして活用することが可能な教材である。

本研究は、国立民族学博物館によるアウトリーチ教材の「みんぱっく」を、小学校現場における国際理解教育の自文化の理解と発信用の教材「日本版みんぱっく」として製作し、それを用いて、自文化を見つめなおす学習機会を与えるとともに、異なる文化を持つ他者に向けて“発信”できるようにすることを目指すものである。

具体的には、日本的小学生による自作アウトリーチ教材を、同年代のマレーシアの小学生に評価させる実践授業を行い、両国の小学生の「日本文化」に対する認識の違いを国際比較・検証して、日本側の資料選定基準とマレーシア側の評価基準の考察、および、自作教材の開発・使用の過程で起こりうる意識の変化等に関する分析を行った。本稿は、その実践研究のこれまでの経緯と発展状況について報告するものである。

2. 研究の経緯

本研究に先立ち、奈良県香芝市立香芝西中学校で、平成16年度以降、技術科担任である木村慶太教諭(当時、現、立命館守山中学・高等学校教諭)を中心とした、国際理解教育の実践が行われてきた。すなわち、国立民族学博物館(以下「民博」と略す)と連携した、ハンズ・オン教材を用いた「ミニ博物館」の製作・展示や、マルチメディア解説の充実、小学校との連携、アウトリーチ教材の開発などを年度毎の重点課題として、ミニ博物館づくりを発展させていった

のである。

そうした中、平成17年度からは、同じ香芝市の市立鎌田小学校との連携によってアウトリーチ教材の開発が引き継がれていき、一連の研究の統括者である、文教大学准教授・今田晃一氏を媒介として、筆者の比較教育学研究におけるフィールド・ワーク対象国であるマレーシアの小・中学校において、小・中学生が作成した「日本版みんぱっく」を用いた授業実践を行うことになった。

そして、まず平成20年2月に香芝西中学校の生徒たちが平成18年度に作成したアウトリーチ教材「日本版みんぱっく」を、マレーシアのジョホール・バルにあるタマン・デサ・スクダイ国民中学校(SMK Taman Desa Skudai)に持参し、本研究の共同研究者であるマレーシア工科大学(UTM)講師のクマラグル・ラマヤ氏と筆者が、日本のさまざまな日用品40種類を教室で展示・説明し、1年生40名に各道具の「日本らしさ」や「どれが好きか」などを5段階尺度で評価してもらった。この中学生版「みんぱっく」を使ったときのマレーシアの子どもたちの反応では、特に「日本文化を感じさせるモノ」は、「季節」に関するモノや、日本のマンガ、アニメから得た情報に関するモノであった。

この先行調査の結果、身近な中学生が作成した「みんぱっく」が良い見本となり、小学生の学びに刺激を与えた。香芝西中学校と連携を行っている鎌田小学校でも「マレーシアで、自分たちが作った教材が実際に使用される」という学習状況の設定が児童の主体的な学びを導き、小学生版の「日本版みんぱっく」の製作が進められた。

このときの小学生(当時4年生)による資料選定の基準は、中学生が竹細工や桐箱、着物、紙人形など「日本文化を感じさせるようなもの」を選んだのに対して、ランドセル・絵の具箱などの学用品や、だるま落とし・剣玉などの遊び道具、扇子・箸などの生活用品といった「自分たちの生活や遊びに根ざしたもの」が中心であった。

2009年3月5日 受付

*Teshima Masahiro **Kumaraguru Ramayah ***Ishida Wataru

その後の展開として、平成20年度に文教大学のマレーシア留学生らの協力を得て、児童が日本語とイラストを用いて作成した各教材の「解説ラベル」をマレー語に翻訳してもらい、同年8月に、鎌田小学校の児童が製作した小学生版「日本版みんぱっく」を、実際の製作の指導にあたった同小の山田幸生教諭が、前出のクマラグル氏、文教大学大学院教育学研究科院生の石田亘氏、および筆者とともにマレーシア・ジョホール州の小学校2校、テメンゴン・アブドゥル・ラーマン国民小学校（男子校）（S.K.L. Temengong Abdul Rahman）の5年生75名とスルタン・イブラヒム国民小学校（女子校）（S.K.P. Sulutan Ibrahim）の5年生75名の、計150名を対象に実施した。これら2校の児童に実際に手にして遊んでもらい、ハンズ・オン教材に対する反応を観察した。また、使用方法についても、クマラグル氏の通訳のもと、山田教諭、石田氏、筆者らが実演した。（写真1）



写真1：スルタン・イブラヒム小学校における実演

また、日本にもマレーシアにも存在するもの（例：独楽、凧、箸、扇子、風鈴等）に対しては、その形状や使い方（遊び方）の「違い」が分かると関心が高くなる様子も見られた。女子児童は、押し花や花の便箋などの「織細さ」や絵の具箱のような便利な道具に日本文化を強く感じている傾向が見られる。

さらに、日本に紹介したいマレーシアの遊びの中には、伝統的ボードゲームの「チョンカ」や、「マレー凧（ワウ）」など、多数が挙げられる一方、TVやパソコンのゲームなどもあり、日本の児童との共通項も多々見られた。

この実験研究における効果は以下の3点が挙げられる。

①「アウトリーチ教材を自作し外国で活用してもらう」という学習目標の設定により、児童・生徒に「自分たちが日本の代表として自国の文化を紹介するのだ」という自覚と意欲を喚起させ、学習効果を高めることができる。

②児童・生徒自らが自分たちの力でアウトリーチ教材を開発し、外国の異文化を有する他者の評価を受ける実践は、双方の児童・生徒にとって、単なる文化の“発信”と“受信”という枠を超えて、異文化についての学びを通して自分自身の意識を知り、自文化に対する積極的な見つけ直し（再考察）や、なぜそのような意識が形成されたのか、という考察を深めるような学習方法となり得る。

③日本の小学生が、自分たちの作成したアウトリーチ教材が実際にマレーシアで活用されている映像や写真を見ることでさらなる達成感と学習意欲を得ることができる。

さらに、マレーシアにおいても、この実践によって日本の同世代の子どもたちの日常を知るだけでなく、自国の子どもたちの「日本文化」に対して抱いている意識を知ることが可能となる取り組みである、と非常に好評であった。

3. 総括と今後の展開

以上の経緯を経て、マレーシアから得た小学生版「日本版

文教大学教育学研究科 JES Vol.1 No.1 (2008)
みんぱっく」に対する評価をもとに、鎌田小学校の児童たち（5年生に満足）は、現担任の中島大輔教諭のもとで、プラッシュアップしたアウトリーチ教材を製作するために、以下の3つの視点 - ①木材で出来たもの、②日本の技術を感じられるもの、③冬を感じさせるもの - を自ら考え出した。

さらにその過程で、今まで自分たちが使っていた「木のおもちゃ」の原材料の木材が、実はマレーシアなどの海外から大量に輸入されていたことに気づき、地球環境に関する関心も深まるなど、児童の「学び」をより深める結果となった。こうして、2009年2月20日、本実験研究に全面的な協力をいただいたクマラグル氏が来日して鎌田小学校を訪問、マレーシアでの実践のその後の報告や、日本とマレーシアに関する授業を実施するとともに、さらに児童たちによって改良が加えられた「日本版みんぱっく」がクマラグル氏に手渡された（写真2）。日本語教員であり、マレー語、英語、タミル語、日本語を自在に駆使するクマラグル氏から、マレーシアにおいても小学生たちが「日本版みんぱっく」に触発されて、マレーシアの文化を紹介する「マレーシア版みんぱっく」を開発したがっているという報告



写真2：鎌田小学校における授業

を聞き、鎌田小学校の児童も非常に喜び、さらなる学習への意欲と、マレーシアとの国際交流に期待を膨らませていた。なお、本実験研究は、翌21日の日本国際理解教育学会主催・香芝市教育委員会後援「日本国際理解教育学会第15回実践研修会in香芝」において、実践事例報告「国立民族博物館との博学連携実践」として、「文化祭でミニ博物館をつくろう～感じて、つくって、考えよう～」（前出：木村慶太）、「博物館アウトリーチ教材の開発とマレーシアでの実践」（前出：山田幸生・中島大輔）として発表された。また、クマラグル氏は同研修会において、「多民族国家マレーシアにおける国際理解教育の現状と課題」と題した講演を行った。本研究の結果、マレーシアの子どもたちは「遊び」を通して日本の文化を知り、日本の子どもたちはアウトリーチ教材の製作を通して、異文化である「世界」を意識する一方、自文化としての「日本」への見つめなおしが行われた。今回の成果を生かして、来年度以降、マレーシアの小学生が製作したマレーシア版アウトリーチ教材「マレーシア版みんぱっく」を用いた実験研究を日本で実践して、教材の内容や、児童による評価結果を比較していく予定である。

マレー系・華人系・インド系をはじめとする多民族・多文化社会であるマレーシアの小学生が選ぶ「マレーシア的なアウトリーチ教材」は、各民族がそれぞれ独自に有するエスニックな文化的特徴と同時に、民族を超えたマレーシア「国民」共通の文化が現れた、非常に特徴的なものになる可能性があり、それらに触れることで、日本の子どもたちがマレーシアという国の民族的・文化的な多様性に気づき、意識を向ける嚆矢となることが期待される。

今後も、国際理解教育におけるアウトリーチ教材の共同開発やそれらの有用性、開発・改良の視点と留意点などについてさらに考察を深めるとともに、子どもたちの「学び」を一層広げ、深めていく授業のあり方や具体的方法を求めて、さらに研究・実践を進めていきたい。

派遣現職教員のサポートについて

磯田 正美

(筑波大学教育開発国際協力研究センター准教授)



文部科学省 拠点システム構築事業「国際教育協力ニシアタイプ」
<http://www.criced.tsukuba.ac.jp/jocw/>

ならでは
皆さんのがため お願い！ 他の人のため

青年海外協力隊派遣現職教員 のサポート



磯田正美
筑波大学教育開発国際協力
研究センター(CRICED)

話題にしたいこと

- CRICEDの役割
- 心の準備
- 楽しみなこと
- 内容の改善の重要性



国際教育協力ニシアタイプ
我が国の国際教育協力の質の向上を目的とした活動
青年海外協力隊派遣現職教員のサポート

本活動内容：
 JICA青年海外協力隊の「現職教員特別参加制度」により途上国に派遣される教員に対し、教育上の観点からのサポートをする。
 現職教員の派遣実績が多い職種を対象に、教育制度面や現地での指導法に関する情報提供等のサポートする。

隊員派遣前：隊員の活動に役立つ教材、指導書等の教育モデル、その他資料等の作成・上記教材等の紹介・隊員の活動準備に対する教育上の助言等・隊員との連絡体制の構築する。

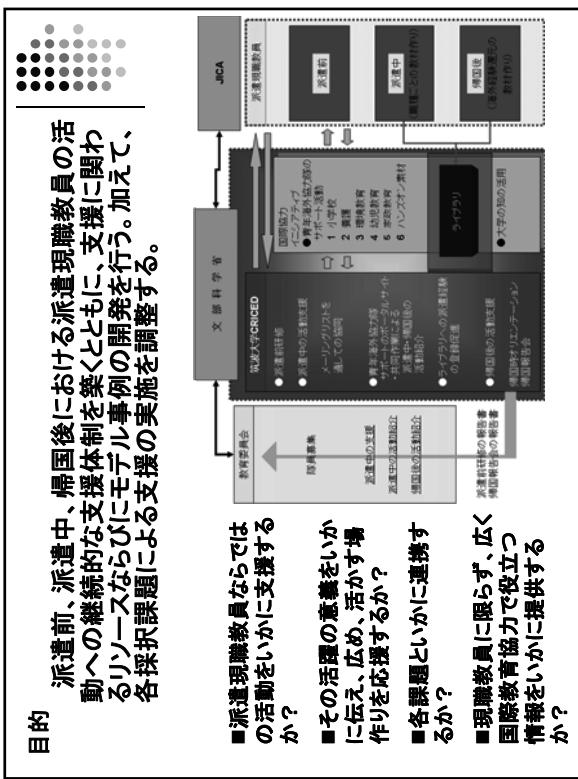
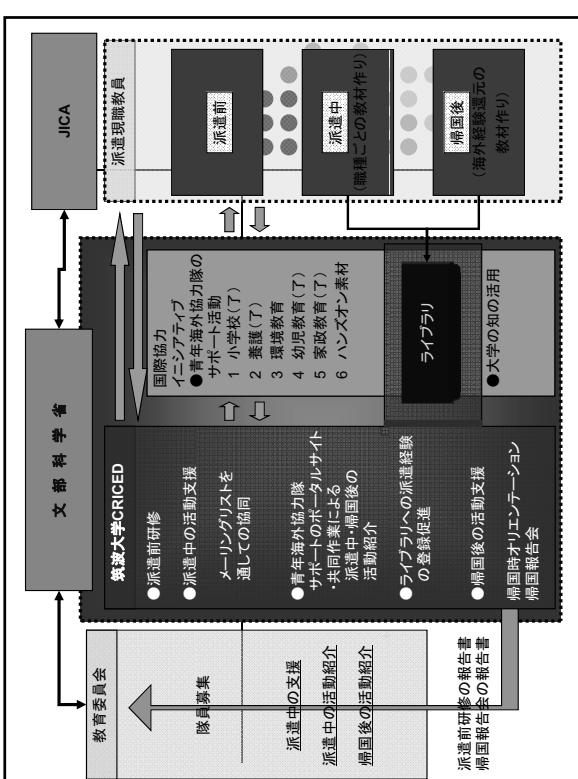
隊員派遣中：隊員の現地での活動に対する教育上の助言等・各実施者が作成した教材等の有効性の確認・改善する。
 帰国後：帰国隊員が行う国際理解教育へのサポートする。
 (指導案の作成や教材準備等)

筑波大学教育開発国際協力研究センターが全体調整する。

青年海外協力隊派遣現職教員のサポート

昨年度：5課題代表者

- ・養護・障害児：筑波大学(代表:藤原義博)
- ・家庭科：日本女子大学(代表:佐々井 啓)
- ・環境教育：宮城教育大学(代表:村松 隆)
- ・幼児教育：お茶の水女子大学(代表:浜野 隆)
- ・ハンドソン素材：鳴門教育大学(代表:服部勝恵)
- ・全体調整：筑波大学教育開発国際協力研究センター



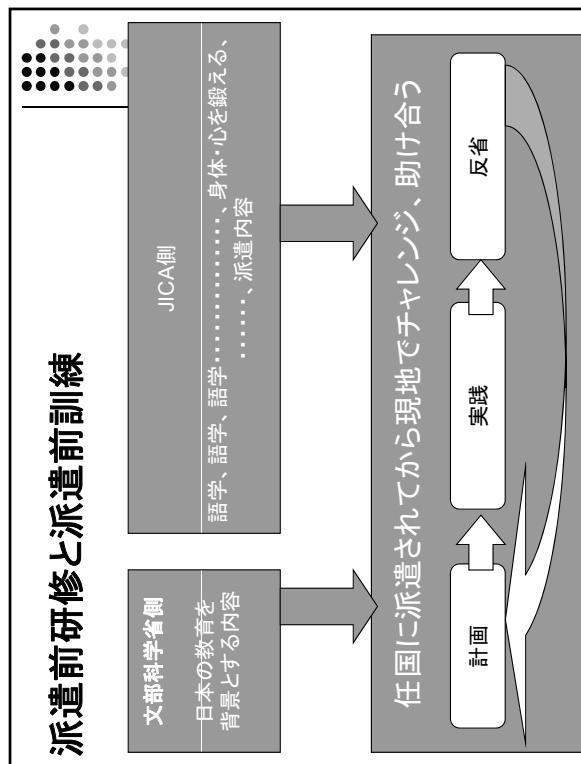
遣前研修：今何を学ぶ？

- 期日：平成21年4月6、7日
 - 会場：国際協力機構JICA東京・筑波大学東京キャンパス
 - 内容：国際理解教育研修
イニシアチブ成果共有研修
帰国隊員による報告会
ICT活用研修など

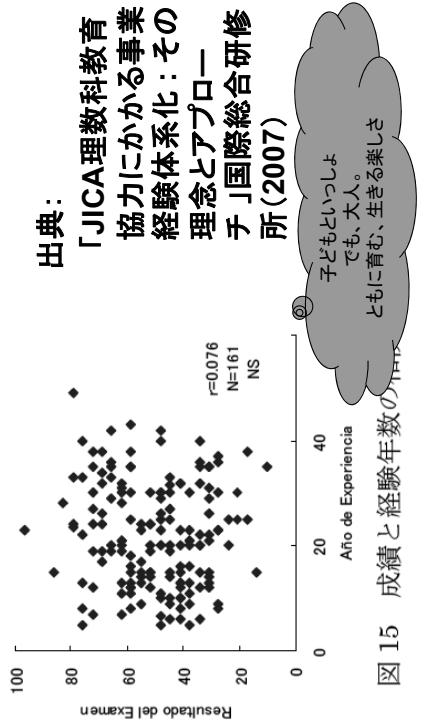


みなさんに
派遣現職教員
ならではの活動
や役割を知って
もらうこと！

練前訓と派遣前研修



2. 貴方が派遣される先：現実に対する夢 ホンジュラス・ラパスの事前調査



「教育」日本に学べ

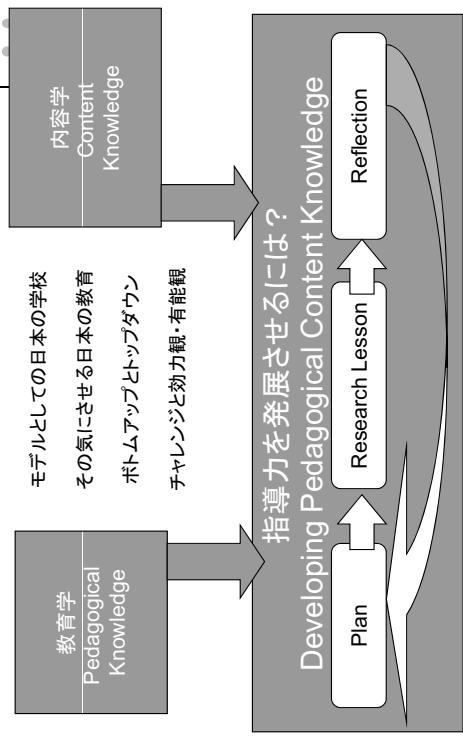
西宮市は市長が公私兼用車を所有したこと、「市長が公私兼用車を所有したこと」、西宮市議会議員の公私兼用車を所有したこと、「西宮市議員が公私兼用車を所有したこと」、西宮市議員が公私兼用車を所有したことなどと記載されています。

授業研究に关心

日本の学校、学習指導を知る 貴方しかできないこと

- 現職教員ならずとも誰にも大切なこと
 - チャレンジ、人のつながり、心の交流…
 - 現職教員ならでは
 - 大切な日本での教育経験／日本の学術／現場力／教材力
 - 逆転の発想で、相手の立場で認める海外の教育
 - 任地での協力隊員の要としての現職教員
 - 現職教員のノウハウを一般隊員へ
 - 現職教員のノウハウを任地で
 - 帰国後の還元

みんなさんの夢を実現する方策
授業研究：指導力（教材力）を鍛



青年海外協力隊派遣現職員のサポート | Support for Japanese Teacher Working Overseas

TOP | 活動活動 | 国際教諭の活動 | 酒井直 | リンク | 使いわせ

平成21年度
青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア
現職教諭特別研修

青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア現職教諭特別研修会を開催します。

第1回目(新規登録者の方) 平成21年4月6日(月曜日) 午後1時~

第2回目(新規登録者の方) 平成21年4月7日(火曜日) 午前9時~

会場: 大妻女子大学東京キャンパス大妻地区

主催: 国際扶助協会
・国際扶助協会(ニシシャツイワフウジヤ)

・酒井直子
・酒井直子
・酒井直子
・酒井直子

プログラム1. 開講準備資料!

参加申込フォーム

事前申込は終了しました。

応援に役立つ内容・情報

<http://www.crlced.tsukuba.ac.jp/jocv/index.html>

イベント

4. メーリングリストでの協同

海外でご活躍の先生方へ
ケニアの教科書は普通に書店で購入可能です。
「何年生の何の科目の教科書」が必要なのか指定していただければ、

日本は悪くなつてまいりましたが、
さて、本日は、海外の小学校教科書
をお尋ねします。国によつて教科書
のうちの小学校教科書を販売して、
どのようにすれば、入手できるで
可能でしょか？費用は払いで
購入は可
JICA駐在
田中裕司
田代研究室
TEL&FAX:03-3461-3922
FAX:03-3461-4523
郵便番号:100-0001
100000
TANAKA YUJI
TANAKA YUJI@INFINITY.COM

From: From: wiihhei@hotmail.co.jp
Subject: www.joicy.com

Subject: [ejccv-m@0353] Re: 第3回教科書からお読み下さい
Date: 2006年11月27日22:03:37
To: ejccv-m@rcied.tsukuba.ac.jp
Reply-to: ejccv-m@rcied.tsukuba.ac.jp

15年1次版、パラグアイでは教科書は書店で購入可能です。
でも、私立の学校へ公立に購入では指定がありますが複数の出版社から出
ます。また、日本語の1冊の値段がそれほど安くないので送料と合わせて費用負
担が嵩むことがあります。
18 - 1ドミニカ共和国、小学校教科書の送達です。
ドミニカ共和国では教科書は書店で購入可能です。国定の
公立の学年でも、私立の学年へは購入ができますが複数の出版社から出
ます。また、日本語の1冊の値段がそれほど安くないので送料と合わせて費用負
担が嵩むことがあります。

5. 役立つ情報を登録し、共有する。

青年海外協力隊派遣現地活動
国際教育協力隊派遣現地活動

TOP | 現地活動 | 国際教育協力隊派遣現地活動

「国際協カニシニアティブ」ライブラリ

ライブラリについて 電話データ カテゴリー... 項目キーワード検索 検索

Notice | 利用規約
お問い合わせください

How to | ライブラリのご利用方法

About | 特定の問題の相談
世界中の問題の相談

Service | お問い合わせ
会員登録 | ログイン

会員登録 | ログイン

その他の特典
チケットの販売

日々の問題
世界中の問題

世界の現状
世界の動向

国際協カニシニアティブの会員登録
会員登録

ご登録ありがとうございます。

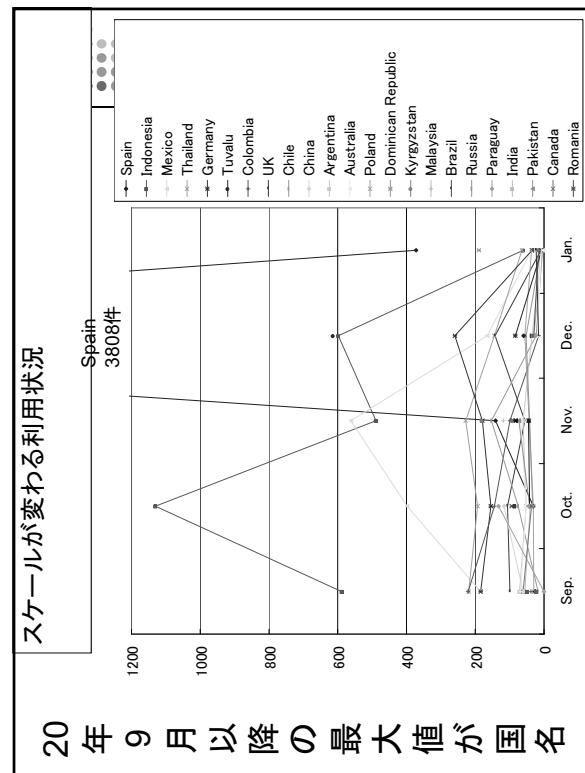
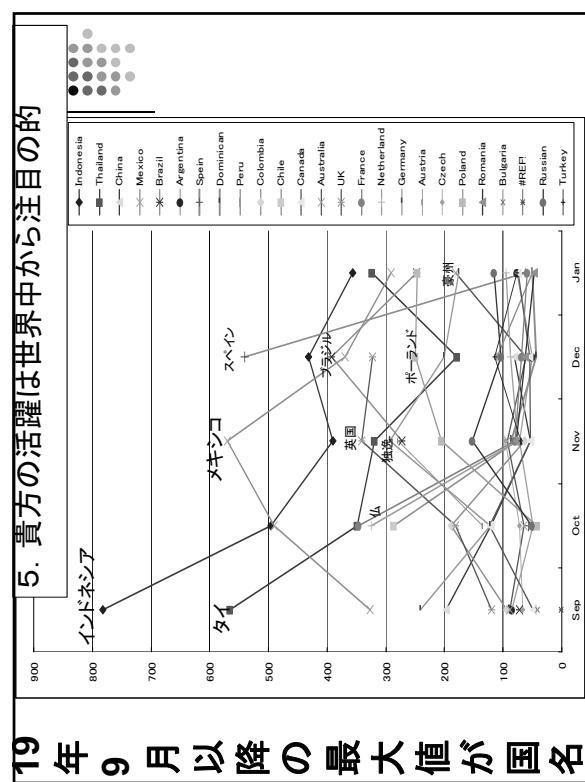
使ってみよう！「国際協カニシニアティブ」
• 2017年8月国際協カニシニアティブの会員登録

日本に着きまわらば
新システムが導入され
国際協カニシニアティブセミナー
2018.01.020

海外活動マップを更新し
ました。
バングラデッシュ・バングラデッシュ
アヘナジニアカウアベ
ーズ・セントピエア
2018.01.020

いへん

<http://e-archives.criced.tsukuba.ac.jp/>



| Top 80 of 1339 Total URLs | | |
|---------------------------|--------|----------|
| # | Hits | Keywords |
| 1 | 14,876 | 15.83% |
| 2 | 9,693 | 10.30% |
| 3 | 2,191 | 1.90% |
| 4 | 1,858 | 1.60% |
| 5 | 1,890 | 1.24% |
| 6 | 1,835 | 1.19% |
| 7 | 1,139 | 1.03% |
| 8 | 982 | 0.96% |
| 9 | 866 | 0.79% |
| 10 | 779 | 0.76% |
| 11 | 779 | 0.76% |
| 12 | 675 | 0.67% |
| 13 | 632 | 0.57% |
| 14 | 609 | 0.51% |
| 15 | 470 | 0.41% |
| 16 | 438 | 0.38% |
| 17 | 346 | 0.31% |
| 18 | 307 | 0.31% |
| 19 | 271 | 0.31% |
| 20 | 370 | 0.31% |
| 21 | 361 | 0.25% |
| 22 | 349 | 0.25% |
| 23 | 349 | 0.25% |
| 24 | 384 | 0.19% |
| 25 | 308 | 0.19% |
| 26 | 200 | 0.16% |
| 27 | 199 | 0.15% |
| 28 | 1879 | 0.09% |
| 29 | 476 | 0.09% |
| 30 | 370 | 0.09% |
| 31 | 361 | 0.09% |
| 32 | 349 | 0.09% |
| 33 | 349 | 0.09% |
| 34 | 384 | 0.09% |
| 35 | 308 | 0.09% |
| 36 | 200 | 0.09% |
| 37 | 199 | 0.09% |
| 38 | 1879 | 0.09% |
| 39 | 476 | 0.09% |
| 40 | 370 | 0.09% |
| 41 | 361 | 0.09% |
| 42 | 349 | 0.09% |
| 43 | 349 | 0.09% |
| 44 | 384 | 0.09% |
| 45 | 308 | 0.09% |
| 46 | 200 | 0.09% |
| 47 | 199 | 0.09% |
| 48 | 1879 | 0.09% |
| 49 | 476 | 0.09% |
| 50 | 370 | 0.09% |
| 51 | 361 | 0.09% |
| 52 | 349 | 0.09% |
| 53 | 349 | 0.09% |
| 54 | 384 | 0.09% |
| 55 | 308 | 0.09% |
| 56 | 200 | 0.09% |
| 57 | 199 | 0.09% |
| 58 | 1879 | 0.09% |
| 59 | 476 | 0.09% |
| 60 | 370 | 0.09% |
| 61 | 361 | 0.09% |
| 62 | 349 | 0.09% |
| 63 | 349 | 0.09% |
| 64 | 384 | 0.09% |
| 65 | 308 | 0.09% |
| 66 | 200 | 0.09% |
| 67 | 199 | 0.09% |
| 68 | 1879 | 0.09% |
| 69 | 476 | 0.09% |
| 70 | 370 | 0.09% |
| 71 | 361 | 0.09% |
| 72 | 349 | 0.09% |
| 73 | 349 | 0.09% |
| 74 | 384 | 0.09% |
| 75 | 308 | 0.09% |
| 76 | 200 | 0.09% |
| 77 | 199 | 0.09% |
| 78 | 1879 | 0.09% |
| 79 | 476 | 0.09% |
| 80 | 370 | 0.09% |
| 81 | 361 | 0.09% |
| 82 | 349 | 0.09% |
| 83 | 349 | 0.09% |
| 84 | 384 | 0.09% |
| 85 | 308 | 0.09% |
| 86 | 200 | 0.09% |
| 87 | 199 | 0.09% |
| 88 | 1879 | 0.09% |
| 89 | 476 | 0.09% |
| 90 | 370 | 0.09% |
| 91 | 361 | 0.09% |
| 92 | 349 | 0.09% |
| 93 | 349 | 0.09% |
| 94 | 384 | 0.09% |
| 95 | 308 | 0.09% |
| 96 | 200 | 0.09% |
| 97 | 199 | 0.09% |
| 98 | 1879 | 0.09% |
| 99 | 476 | 0.09% |
| 100 | 370 | 0.09% |
| 101 | 361 | 0.09% |
| 102 | 349 | 0.09% |
| 103 | 349 | 0.09% |
| 104 | 384 | 0.09% |
| 105 | 308 | 0.09% |
| 106 | 200 | 0.09% |
| 107 | 199 | 0.09% |
| 108 | 1879 | 0.09% |
| 109 | 476 | 0.09% |
| 110 | 370 | 0.09% |
| 111 | 361 | 0.09% |
| 112 | 349 | 0.09% |
| 113 | 349 | 0.09% |
| 114 | 384 | 0.09% |
| 115 | 308 | 0.09% |
| 116 | 200 | 0.09% |
| 117 | 199 | 0.09% |
| 118 | 1879 | 0.09% |
| 119 | 476 | 0.09% |
| 120 | 370 | 0.09% |
| 121 | 361 | 0.09% |
| 122 | 349 | 0.09% |
| 123 | 349 | 0.09% |
| 124 | 384 | 0.09% |
| 125 | 308 | 0.09% |
| 126 | 200 | 0.09% |
| 127 | 199 | 0.09% |
| 128 | 1879 | 0.09% |
| 129 | 476 | 0.09% |
| 130 | 370 | 0.09% |
| 131 | 361 | 0.09% |
| 132 | 349 | 0.09% |
| 133 | 349 | 0.09% |
| 134 | 384 | 0.09% |
| 135 | 308 | 0.09% |
| 136 | 200 | 0.09% |
| 137 | 199 | 0.09% |
| 138 | 1879 | 0.09% |
| 139 | 476 | 0.09% |
| 140 | 370 | 0.09% |
| 141 | 361 | 0.09% |
| 142 | 349 | 0.09% |
| 143 | 349 | 0.09% |
| 144 | 384 | 0.09% |
| 145 | 308 | 0.09% |
| 146 | 200 | 0.09% |
| 147 | 199 | 0.09% |
| 148 | 1879 | 0.09% |
| 149 | 476 | 0.09% |
| 150 | 370 | 0.09% |
| 151 | 361 | 0.09% |
| 152 | 349 | 0.09% |
| 153 | 349 | 0.09% |
| 154 | 384 | 0.09% |
| 155 | 308 | 0.09% |
| 156 | 200 | 0.09% |
| 157 | 199 | 0.09% |
| 158 | 1879 | 0.09% |
| 159 | 476 | 0.09% |
| 160 | 370 | 0.09% |
| 161 | 361 | 0.09% |
| 162 | 349 | 0.09% |
| 163 | 349 | 0.09% |
| 164 | 384 | 0.09% |
| 165 | 308 | 0.09% |
| 166 | 200 | 0.09% |
| 167 | 199 | 0.09% |
| 168 | 1879 | 0.09% |
| 169 | 476 | 0.09% |
| 170 | 370 | 0.09% |
| 171 | 361 | 0.09% |
| 172 | 349 | 0.09% |
| 173 | 349 | 0.09% |
| 174 | 384 | 0.09% |
| 175 | 308 | 0.09% |
| 176 | 200 | 0.09% |
| 177 | 199 | 0.09% |
| 178 | 1879 | 0.09% |
| 179 | 476 | 0.09% |
| 180 | 370 | 0.09% |
| 181 | 361 | 0.09% |
| 182 | 349 | 0.09% |
| 183 | 349 | 0.09% |
| 184 | 384 | 0.09% |
| 185 | 308 | 0.09% |
| 186 | 200 | 0.09% |
| 187 | 199 | 0.09% |
| 188 | 1879 | 0.09% |
| 189 | 476 | 0.09% |
| 190 | 370 | 0.09% |
| 191 | 361 | 0.09% |
| 192 | 349 | 0.09% |
| 193 | 349 | 0.09% |
| 194 | 384 | 0.09% |
| 195 | 308 | 0.09% |
| 196 | 200 | 0.09% |
| 197 | 199 | 0.09% |
| 198 | 1879 | 0.09% |
| 199 | 476 | 0.09% |
| 200 | 370 | 0.09% |
| 201 | 361 | 0.09% |
| 202 | 349 | 0.09% |
| 203 | 349 | 0.09% |
| 204 | 384 | 0.09% |
| 205 | 308 | 0.09% |
| 206 | 200 | 0.09% |
| 207 | 199 | 0.09% |
| 208 | 1879 | 0.09% |
| 209 | 476 | 0.09% |
| 210 | 370 | 0.09% |
| 211 | 361 | 0.09% |
| 212 | 349 | 0.09% |
| 213 | 349 | 0.09% |
| 214 | 384 | 0.09% |
| 215 | 308 | 0.09% |
| 216 | 200 | 0.09% |
| 217 | 199 | 0.09% |
| 218 | 1879 | 0.09% |
| 219 | 476 | 0.09% |
| 220 | 370 | 0.09% |
| 221 | 361 | 0.09% |
| 222 | 349 | 0.09% |
| 223 | 349 | 0.09% |
| 224 | 384 | 0.09% |
| 225 | 308 | 0.09% |
| 226 | 200 | 0.09% |
| 227 | 199 | 0.09% |
| 228 | 1879 | 0.09% |
| 229 | 476 | 0.09% |
| 230 | 370 | 0.09% |
| 231 | 361 | 0.09% |
| 232 | 349 | 0.09% |
| 233 | 349 | 0.09% |
| 234 | 384 | 0.09% |
| 235 | 308 | 0.09% |
| 236 | 200 | 0.09% |
| 237 | 199 | 0.09% |
| 238 | 1879 | 0.09% |
| 239 | 476 | 0.09% |
| 240 | 370 | 0.09% |
| 241 | 361 | 0.09% |
| 242 | 349 | 0.09% |
| 243 | 349 | 0.09% |
| 244 | 384 | 0.09% |
| 245 | 308 | 0.09% |
| 246 | 200 | 0.09% |
| 247 | 199 | 0.09% |
| 248 | 1879 | 0.09% |
| 249 | 476 | 0.09% |
| 250 | 370 | 0.09% |
| 251 | 361 | 0.09% |
| 252 | 349 | 0.09% |
| 253 | 349 | 0.09% |
| 254 | 384 | 0.09% |
| 255 | 308 | 0.09% |
| 256 | 200 | 0.09% |
| 257 | 199 | 0.09% |
| 258 | 1879 | 0.09% |
| 259 | 476 | 0.09% |
| 260 | 370 | 0.09% |
| 261 | 361 | 0.09% |
| 262 | 349 | 0.09% |
| 263 | 349 | 0.09% |
| 264 | 384 | 0.09% |
| 265 | 308 | 0.09% |
| 266 | 200 | 0.09% |
| 267 | 199 | 0.09% |
| 268 | 1879 | 0.09% |
| 269 | 476 | 0.09% |
| 270 | 370 | 0.09% |
| 271 | 361 | 0.09% |
| 272 | 349 | 0.09% |
| 273 | 349 | 0.09% |
| 274 | 384 | 0.09% |
| 275 | 308 | 0.09% |
| 276 | 200 | 0.09% |
| 277 | 199 | 0.09% |
| 278 | 1879 | 0.09% |
| 279 | 476 | 0.09% |
| 280 | 370 | 0.09% |
| 281 | 361 | 0.09% |
| 282 | 349 | 0.09% |
| 283 | 349 | 0.09% |
| 284 | 384 | 0.09% |
| 285 | 308 | 0.09% |
| 286 | 200 | 0.09% |
| 287 | 199 | 0.09% |
| 288 | 1879 | 0.09% |
| 289 | 476 | 0.09% |
| 290 | 370 | 0.09% |
| 291 | 361 | 0.09% |
| 292 | 349 | 0.09% |
| 293 | 349 | 0.09% |
| 294 | 384 | 0.09% |
| 295 | 308 | 0.09% |
| 296 | 200 | 0.09% |
| 297 | 199 | 0.09% |
| 298 | 1879 | 0.09% |
| 299 | 476 | 0.09% |
| 300 | 370 | 0.09% |
| 301 | 361 | 0.09% |
| 302 | 349 | 0.09% |
| 303 | 349 | 0.09% |
| 304 | 384 | 0.09% |
| 305 | 308 | 0.09% |
| 306 | 200 | 0.09% |
| 307 | 199 | 0.09% |
| 308 | 1879 | 0.09% |
| 309 | 476 | 0.09% |
| 310 | 370 | 0.09% |
| 311 | 361 | 0.09% |
| 312 | 349 | 0.09% |
| 313 | 349 | 0.09% |
| 314 | 384 | 0.09% |
| 315 | 308 | 0.09% |
| 316 | 200 | 0.09% |
| 317 | 199 | 0.09% |
| 318 | 1879 | 0.09% |
| 319 | 476 | 0.09% |
| 320 | 370 | 0.09% |
| 321 | 361 | 0.09% |
| 322 | 349 | 0.09% |
| 323 | 349 | 0.09% |
| 324 | 384 | 0.09% |
| 325 | 308 | 0.09% |
| 326 | 200 | 0.09% |
| 327 | 199 | 0.09% |
| 328 | 1879 | 0.09% |
| 329 | 476 | 0.09% |
| 330 | 370 | 0.09% |
| 331 | 361 | 0.09% |
| 332 | 349 | 0.09% |
| 333 | 349 | 0.09% |
| 334 | 384 | 0.09% |
| 335 | 308 | 0.09% |
| 336 | 200 | 0.09% |
| 337 | 199 | 0.09% |
| 338 | 1879 | 0.09% |
| 339 | 476 | 0.09% |
| 340 | 370 | 0.09% |
| 341 | 361 | 0.09% |
| 342 | 349 | 0.09% |
| 343 | 349 | 0.09% |
| 344 | 384 | 0.09% |
| 345 | 308 | 0.09% |
| 346 | 200 | 0.09% |
| 347 | 199 | 0.09% |
| 348 | 1879 | 0.09% |
| 349 | 476 | 0.09% |
| 350 | 370 | 0.09% |
| 351 | 361 | 0.09% |
| 352 | 349 | 0.09% |
| 353 | 349 | 0.09% |
| 354 | 384 | 0.09% |
| 355 | 308 | 0.09% |
| 356 | 200 | 0.09% |
| 357 | 199 | 0.09% |
| 358 | 1879 | 0.09% |
| 359 | 476 | 0.09% |
| 360 | 370 | 0.09% |
| 361 | 361 | 0.09% |
| 362 | 349 | 0.09% |
| 363 | 349 | 0.09% |
| 364 | 384 | 0.09% |
| 365 | 308 | 0.09% |
| 366 | 200 | 0.09% |
| 367 | 199 | 0.09% |
| 368 | 1879 | 0.09% |
| 369 | 476 | 0.09% |
| 370 | 370 | 0.09% |
| 371 | 361 | 0.09% |
| 372 | 349 | 0.09% |
| 373 | 349 | 0.09% |
| 374 | 384 | 0.09% |
| 375 | 308 | 0.09% |
| 376 | 200 | 0.09% |

| 拠点システム事業の成果 | |
|-------------|---|
| 順位 | 情報名 |
| 1 | 住民参加型学校運営に関する教育協力についての調査研究 |
| 2 | 子どもたちの居場所と大人世界の現在 |
| 3 | ニジエール共和国での教育活動とその課題 |
| 4 | 途上国の児童を対象にした環境教育研究とその国際教育協力 物語集 |
| 5 | Community-based Basic Education Improvement Project. |
| 6 | フレーベルヒュンディツリーの保育思想、保育構造、内容、方法の比較研究 |
| 7 | 幼児の生活における感覚と感性の育ち |
| 8 | 4歳生授業記録(算数) |
| 9 | (ビデオ)配信 日本語版 イントネシアの特別支援教育開発に関する教育協力研究会- |
| 10 | 保育における身体知の獲得の過程 |
| 11 | エリザベスドルの数学グラフントゥエGRAPESの活用 |
| 12 | 障害のある子どもの教育相談ガイドブック |
| 13 | 幼稚園教育の在り方についての実践的調査研究 |
| 14 | 教育課程編成と実施、研修のためのヴィジュアル教材(日本語版スライド集) |
| 15 | 1年生授業記録(算数) |
| 16 | 日本の学校制度の概要－研修のためのヴィジュアル教材(日本語版スライド集) |
| 17 | 3年生授業記録(算数) |
| 18 | 文部科学省 幼児小中高年齢調査研究実験校(H12～4) |
| 19 | 小学校教員の資格と資質向立政策 |
| 20 | サンピアにおける教員成長支援の数学教材「円錐の体积の最大値」 |
| 21 | バナマ国カラカスへ数学授業のGRAPESの導入 |
| 22 | Japanese Course of Study 数学書指導導入実証研究(Grade 1-6)Part 5 |
| 23 | できごとの協同形の過程における幼児の指形的行為の認知的・社会的役割に関する研究 |
| 24 | 2年生授業記録(算数) |
| 25 | マークシル人の計算能力について |

| 順位 | 情報名 | ヒット数 | 種別 | 講師名 |
|----|---|------------------|----|-----|
| 1 | 住民参加型学校運営に関する教育協力についての調査研究 | 617 ●論文 オンライン学習 | | |
| 2 | 子どもたちの居場所と大人世界の現在 | 606 ●論文 幼児教育 | | |
| 3 | ニジエール共和国での教育活動とその課題 | 583 口情報 JOCV支授 | | |
| 4 | 途上国の児童を対象にした環境教育研究とその国際教育協力 物語集 | 549 ○教書 國際教育・研究会 | | |
| 5 | Community-based Basic Education Improvement Project. | 508 マ報告 フレーベル教育 | | |
| 6 | フレーベルヒュンディツリーの保育思想、保育構造、内容、方法の比較研究 | 477 ●論文 幼児教育 | | |
| 7 | 幼児の生活における感覚と感性の育ち | 441 ●論文 幼児教育 | | |
| 8 | 4歳生授業記録(算数) | 437 ○実践 JOCV支授 | | |
| 9 | (ビデオ)配信 日本語版 イントネシアの特別支援教育開発に関する教育協力研究会- | 432 ○実践 障害児教育 | | |
| 10 | 保育における身体知の獲得の過程 | 417 ●論文 幼児教育 | | |
| 11 | エリザベスドルの数学グラフントゥエGRAPESの活用 | 412 ○実践 JOCV支授 | | |
| 12 | 障害のある子どもの教育相談ガイドブック | 407 ○教書 障害児教育 | | |
| 13 | 幼稚園教育の在り方についての実践的調査研究 | 406 ●論文 幼児教育 | | |
| 14 | 教育課程編成と実施、研修のためのヴィジュアル教材(日本語版スライド集) | 389 ○教書 教科経営・研修 | | |
| 15 | 1年生授業記録(算数) | 385 ○実践 JOCV支授 | | |
| 16 | 日本の学校制度の概要－研修のためのヴィジュアル教材(日本語版スライド集) | 377 ○教書 教科経営・研修 | | |
| 17 | 3年生授業記録(算数) | 375 ○実践 JOCV支授 | | |
| 18 | 文部科学省 幼児小中高年齢調査研究実験校(H12～4) | 364 ○実践 幼児教育 | | |
| 19 | 小学校教員の資格と資質向立政策 | 347 ●論文 算数・数学教育 | | |
| 20 | サンピアにおける教員成長支援の数学教材「円錐の体积の最大値」 | 342 ○実践 JOCV支授 | | |
| 21 | バナマ国カラカスへ数学授業のGRAPESの導入 | 328 ○実践 JOCV支授 | | |
| 22 | Japanese Course of Study 数学書指導導入実証研究(Grade 1-6)Part 5 | 325 ▶資料 JOCV支授 | | |
| 23 | できごとの協同形の過程における幼児の指形的行為の認知的・社会的役割に関する研究 | 321 ●論文 幼児教育 | | |
| 24 | 2年生授業記録(算数) | 320 ○実践 JOCV支授 | | |
| 25 | マークシル人の計算能力について | 315 口情報 JOCV支授 | | |

| 順位 | 情報名 | ヒット数 | 過去6ヶ月 | 課題名 |
|----|--|----------------|-------|--|
| 1 | シンエボの養育教育 | 758 JOCV支授 | 26 | Area 7-2: Presentation/Presentation - Self-Assessments of Primary Schools in Northern Thailand |
| 2 | 住民参加型学校運営に関する教育協力についての調査研究 | 620 ライフスキル教育 | 27 | EDUCATIONAL LEGISLATION AND EDUCATIONAL GUIDELINE IN JAPAN |
| 3 | (ビデオ)配信 イントネシアの特別支援教育開発に関する教育協力研究-日本及びインドネシアの教員による先進的障害及び障害児童生徒に対する教育研究-実験- | 610 障害児教育 | 28 | Area 5: Presentation /Community Participation in Education -VA/Cambodia - Presentation |
| 4 | 4歳生授業記録(算数) | 605 JOCV支授 | 29 | Rough Sketch of Teacher Education and Training in Environmental Education |
| 5 | 日本の学校制度の概要－研修のためのヴィジュアル教材(日本語版スライド集) | 580 教育経営・研修 | 30 | 小・中学校教員の現状と改善意向と改善策 |
| 6 | Community-based Basic Education Improvement Project | 575 ライフスキル教育 | 31 | 平成29年度開発実績報告書／別冊参考資料 |
| 7 | 途上国の児童を対象にした環境教育研修とその国際教育協力 物語集 | 573 JOCV支授 | 32 | 教育課程編成と実施－研修のためのヴィジュアル教材解説書(日本語版) |
| 8 | School Construction Project | 553 ライフスキル教育 | 33 | BEGINNING THE STUDY OF THE ADDITIVE FIELD |
| 9 | 障害のある子どもの教育相談ガイドブック | 552 障害児教育 | 34 | ユニセフの児童労働に対する教育の取り組み |
| 10 | ホンジエラの授業の特徴及びハイスクールへの適応 | 538 JOCV支授 | 35 | 開発途上国における女子教員の教職能力の養成 |
| 11 | 4歳生授業記録(算数) | 515 ハンズオン | 36 | サンピアにおける現地研修と教員養成学校への講義(日本語版) |
| 12 | 火山ゴミ山の変化 | 437 JOCV支授 | 37 | 認知のカタлизム及び子供の認知能力の発達に関する学問研究動向 |
| 13 | 教育課程編成と実施－研修のためのヴィジュアル教材(日本語版スライド集) | 417 教育経営・研修 | 38 | Dental Anatomy and Tooth Morphology |
| 14 | Elementary School and Lower Secondary School Teaching Guide for the Japanese Course of Study | 415 JOCV支授 | 39 | 文部科学省 幼保小連携教材研究開発学校(H12～14) 人となりよかかわる 教育実験 |
| 15 | 派遣現地教員の教育活動上のニーズ調査報告 | 400 JOCV支授 | 40 | Brief report for primary and secondary school mathematics education in Chile |
| 16 | (Movie)Joint Lesson Studies with Japanese and Indonesian Special School Teachers | 389 JOCV支授 | 41 | 日本の学校制度の概要－研修のためのヴィジュアル教材解説書(日本語版) |
| 17 | Arithmetic and Mathematics (Grade 1-9) | 319 JOCV支授 | 42 | DEVELOPING GOOD MATHEMATICS TEACHING PRACTICE THROUGH LESSON STUDY: |
| 18 | Education provision for children with disabilities in Japan: A perspective from Special Education Data | 312 JEF JOCV支授 | 43 | Health Promotion for the Children through Oral Health Care Project |
| 19 | Japan Education Forum | 312 JEF JOCV支授 | 44 | フレーベルヒュンディツリーの保育思想、保育構造、内容、方法の比較研究 |
| 20 | ウガンダの教育事情 | 308 JOCV支授 | 45 | 体育指導実習集 |
| 21 | サビニアにおける現地研修と教員養成学校での講義の数学教材(円周率と円の面積) | 306 JOCV支授 | 46 | カリオの計算コラム(比例コラム) |
| 22 | 1年生授業記録(算数) | 298 JOCV支授 | 47 | 途上国育成力 家庭科ハンドブック |
| 23 | 国際教科力ハンドブック | 287 JOCV支授 | 48 | 平成29年度開発実験研究特別経費プロジェクト報告書 子どもの主体性の発現と展開 大学・附属学校 |
| 24 | Outline of Environmental Education in Japan | 283 JOCV支授 | 49 | 環境教育教員研修 |
| 25 | 子どもたちの居場所と大人世界の現在 | 281 幼児教育 | 50 | 保育における身体知の養成 |

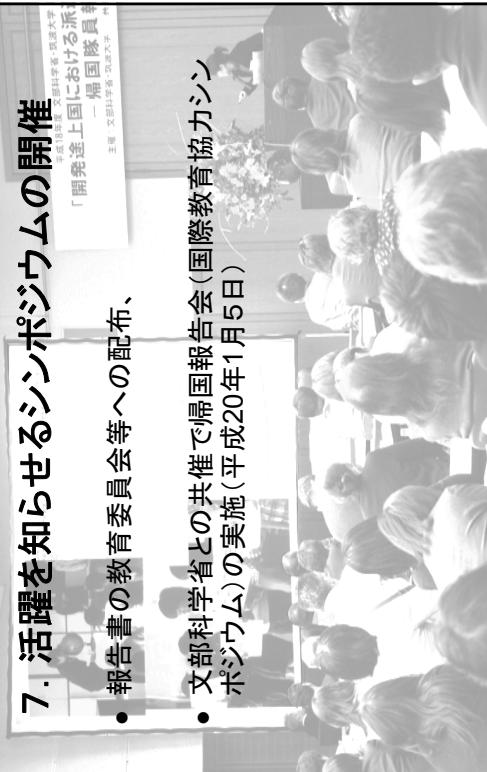
6. 派遣中・帰国後の活動 「国際理解教育」モデル事例

- 派遣職教員であればこそ実現する「国際理解教育」モデルの提案
 - インターネットを利用した国際交流授業を2カ国で実施
 - 制約のあるインターネット環境に準じた指導計画や日本側と相手国側の協働を促す人のネットワーク作りを経て、「国際教育」のモデル事例を開発



7. 活躍を知らせるシンポジウムの開催

- 文部科学省との共催で帰国報告会
（平成20年1月5日）
● ポジウム
 - 報告書の教育委員会等への配布、



生徒を見る目立ゆとり

青年海外協力隊「現職教員特別參加講演」

ジンボ 帰国隊員が成果を報告

話題にしたこと

- 私達CRICEDの役割：つなぐこと 蔡えること
 - 伝えること
 - 心の準備：聞い「派遣現職教員ならでは」
 - 楽しみなこと：チャレンジ
 - 内容の改善の重要性
派遣前 所在を調べて、存在を知つて、でかけてほしい
派遣中 発信、財産

帰国後の社会還元について

樋口 創

(JICA 地球ひろば市民参加協力促進課)



平成21年度青年海外協力隊
現職教員特別研修

平成21年4月6日(月)
15:45～16:15

帰国後の社会還元について ～JICA開発教育支援事業の紹介

独立行政法人国際協力機構(JICA)
地球ひろば 市民参加協力促進課
職員 樋口 創

本日のプレゼンテーションの内容

- ボランティア経験の社会還元の重要性
- 開発教育支援事業について
- 赴任中に取り組んで頂きたいこと
- 帰国後に取り組んで頂きたいこと

1. ボランティア経験の社会還元

ボランティア経験の日本社会への還元が、今、求められています！

- ① 多文化共生社会への対応
- ② 「生きる力」を日本社会に還元

学校現場への現地経験の還元

2. 開発教育支援事業とは

国際協力を日本の文化に

市民参加協力事業

イベント・セミナー ボランティア事業 草の根技術協力 開発教育支援事業

開発教育とは…？

- 世界の文化の多様性
- 貧困問題や南北格差の原因
- 開発問題と地球的課題との関連
- 学習者自身の生活とつながり

理解

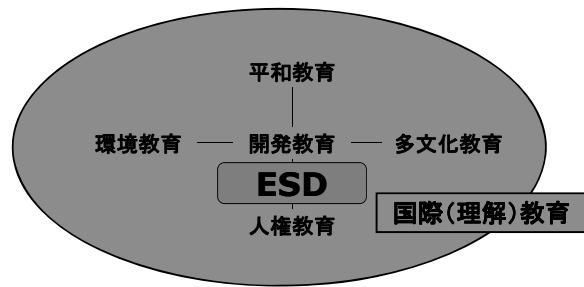
参加できる能力・態度

開発教育
1960年代、北米・ヨーロッパのNGO活動から誕生

国際理解教育

- | | |
|---|--|
| 【UNESCO】 ・ユネスコ憲章 ・1974年「国際理解、国際協力及び国際平和のための教育並びに人権及び基本的自由についての教育に関する勧告」 | 【日本の国際理解教育】 ・1984年 臨時教育審議会答申 1996年 中央教育審議会答申 |
|---|--|

開発教育と国際理解教育



総合的な学習の時間と開発教育

□ 総合的な学習の時間

1996年中央教育審議会答申⇒導入
「国際理解、情報、環境、福祉・健康」

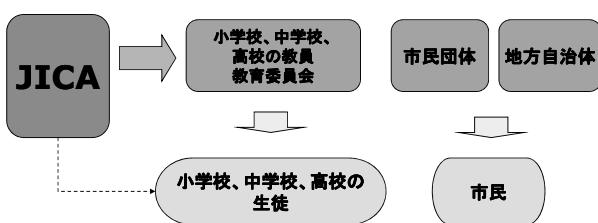
学校現場から、NGOや国際交流協会、
JICAなどの外部機関へのニーズが急増

2007年：新学習指導要領では、総合的な学習の時間の削減が決定（中教審）



今後は動向に注目する必要

JICAの開発教育支援事業 ～事業の対象者～



JICAの開発教育支援事業の基本方針

□「知見の還元」 社会還元

□「考える機会の提供」

□「橋渡し役」

JICAの開発教育支援事業のメニュー ～知見の還元～



- 開発教育のための教材の作成
 - ・集まれ！地球の教室
 - ・ホームページ：「僕ら地球調査隊」
<http://www.jica.go.jp/kids/pages/index.html>

JICAの開発教育支援事業のメニュー ～考える機会の提供～



- 国際
・小学生を対象に、開発問題等を考
・生徒を対象に、開発問題等を考
ム

JICAの開発教育支援事業のメニュー ～橋渡し役

□ 開発教育指導者研修

- ・開発教育の「担い手(=教師、市民など)」育成を目的
- ・地域で開発教育に携わっている市民団体等と協働で実施

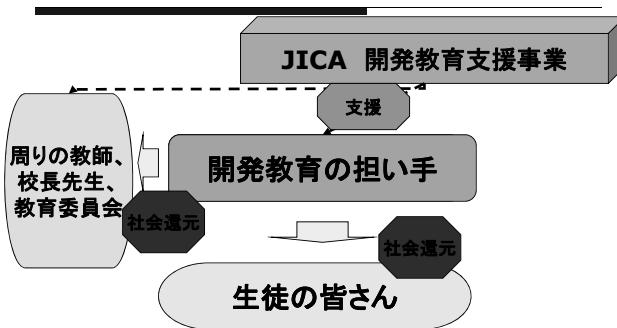


3. 赴任中に取り組んで頂きたいこと

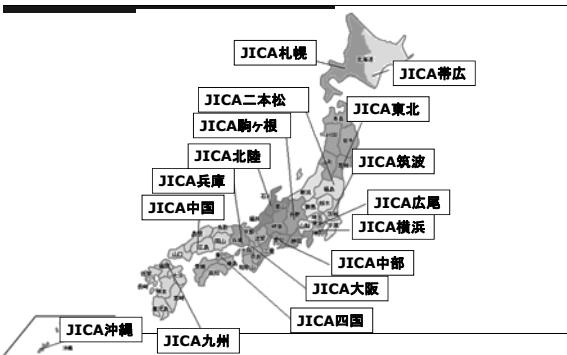
- ① 帰国後、開発教育を実施するための教材を集めてください。
(写真、ビデオ、民族衣装、生活用品…etc)
- ② 派遣中も、現地のことを見学して是非日本に紹介してください。

* マルチメディア教材「伝えよう、あなたの想いを～開発教育のススメ」も是非見てみてください。

4. 帰国後に取り組んで頂きたいこと



帰国後はお近くのJICA国内機関をお訪ね下さい！



ご清聴、ありがとうございました。

ご不明点等ありましたら、
JICA地球ひろば(広尾センター)
市民参加協力促進課(03-3400-7254)まで。

帰国隊員による報告 1

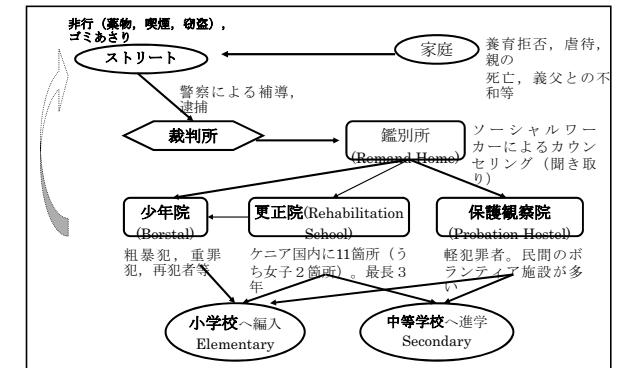
高野 剛彦（兵庫県神戸市立須磨翔風高校教諭）

(平成 18 年度 1 次隊 青少年活動 ケニア)



ケニアでの活動報告 オザヤ更正院

ストリートチルドレンの更正課程



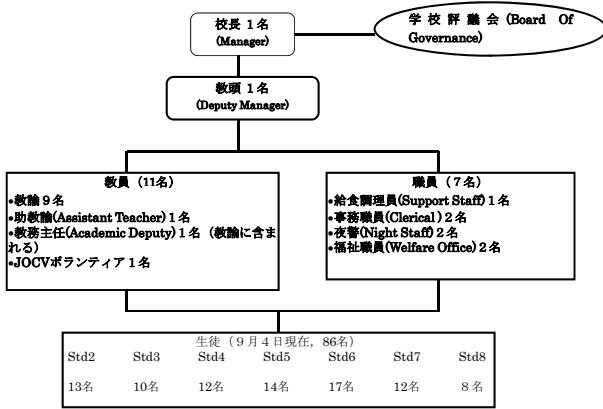
オザヤ更正院



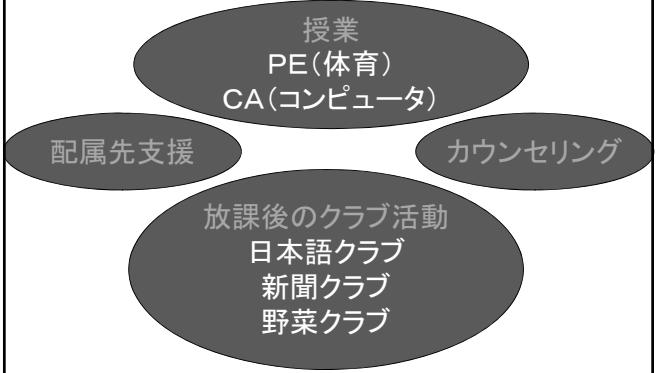
オザヤ更正院



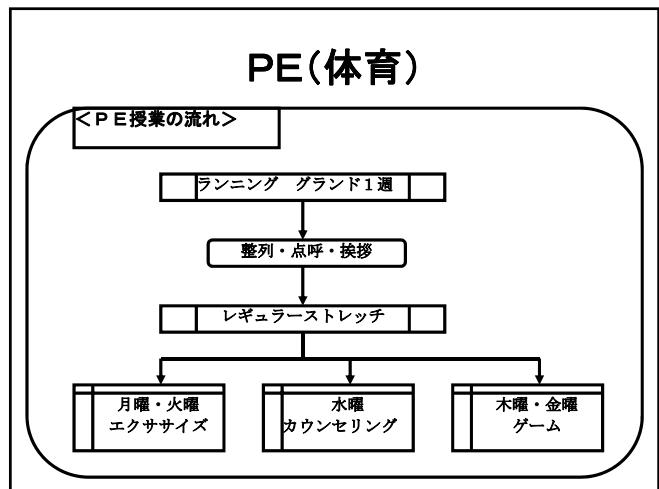
オザヤ更正院組織図



活動の4領域

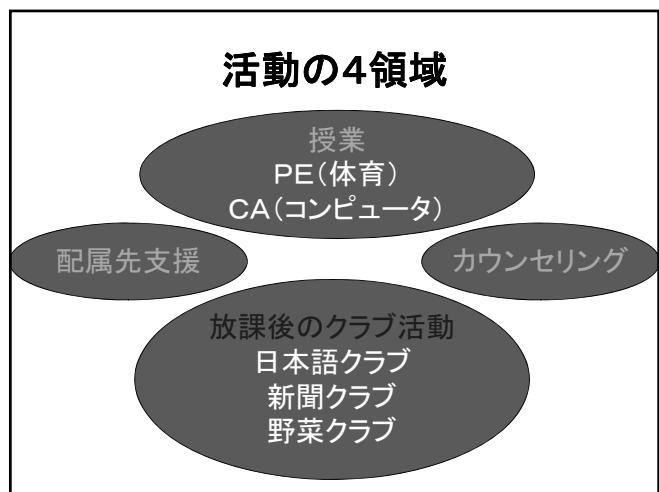


| | | 8:30 | | | 9:05 | | | 9:40 | | | 10:45 | | | 11:20 | | | 11:55 | | | 14:00 | | | 14:35 | | | 15:10 | | |
|-----|---|------|--|--|------|--|--|-------|--|--|-------|--|--|-------|--|--|-------|--|--|-------|----|--|-------|--|--|-------|--|--|
| | | 9:05 | | | 9:40 | | | 10:15 | | | 11:20 | | | 11:55 | | | 12:30 | | | 14:35 | | | 15:10 | | | 15:45 | | |
| Mon | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | PE | 10 | | | | | | | |
| | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | PE | 10 | | | | | | | |
| | 5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | PE | 10 | | | | | | | |
| | 6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | PE | 10 | | | | | | | |
| | 7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | CA | 10 | | | | | | | |
| | 8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | PE | 10 | | | | | | | |
| | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | PE | 10 | | | | | | | |
| | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | PE | 10 | | | | | | | |



CA(コンピュータ)

| | | |
|-------|--------------|----------------------|
| Week4 | 9月25日～29日 | Macの基本操作 |
| Week5 | 10月2日～6日 | キーボードとマウス |
| Week6 | 10月9日～13日 | アプリケーションの起動と終了 |
| Week8 | 10月23日～27日 | ワープロソフト（Word）による文字入力 |
| Week9 | 10月30日～11月3日 | Wordファイルの保存 |



日本語クラブ

目標
日本語の学習や日本の遊び、伝統行事の体験を通して、日本に対する興味を喚起し、日本文化を理解する。また自国ケニアの文化との比較を通して、自らのアイデンティティを再認識する。

主な活動

- ・日本語の挨拶
- ・数、地名や体の部位など簡単な日本語
- ・テディベア・プロジェクト
- ・ポックス・プロジェクト
- ・クリスマスカード交換



クリスマスカード交換



新聞クラブ

目標

新聞の作成過程(取材、原稿、入力、編集)を通じて、英語での文章作成能力やワープロソフトの実践的運用能力の向上を図る。
またAIDSや貧困問題など自分たちを取り巻く社会的問題に対する関心を拡大させるとともに、対人コミュニケーション能力の向上を目指す。

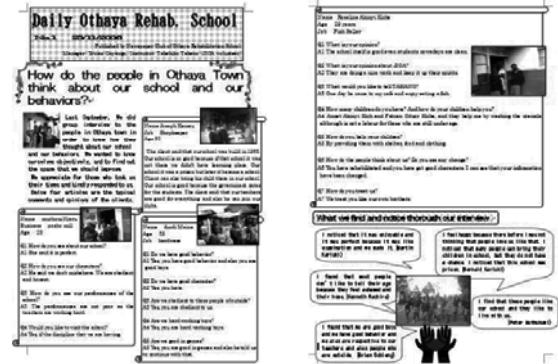
主な活動

- ・オザヤ更正院・生徒のイメージに関するインタビュー
• Daily Othaya Rehabilitation School Vol.1

タウンインタビュー



Daily Othaya Rehab. School Vol.1



野菜クラブ

目標

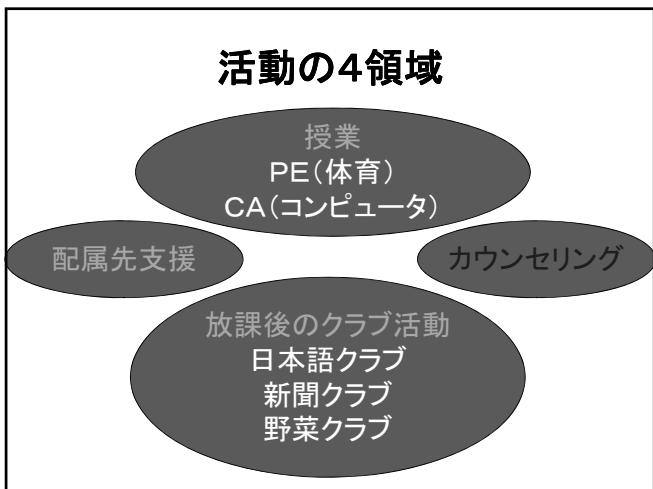
ケニア(特にオザヤ周辺)ではあまり見かけない野菜(主に日本野菜)の栽培・販売を通して、学校のインカムジェネレーションの向上を図る。また収穫祭等のイベントを実施し、地域住民との交流を図る。

主な活動

- ・野菜の栽培(ナス、ニンジン、ダイコン、枝豆)
- ・肥料の製作
- ・野菜の販売
- ・収穫祭等のイベント

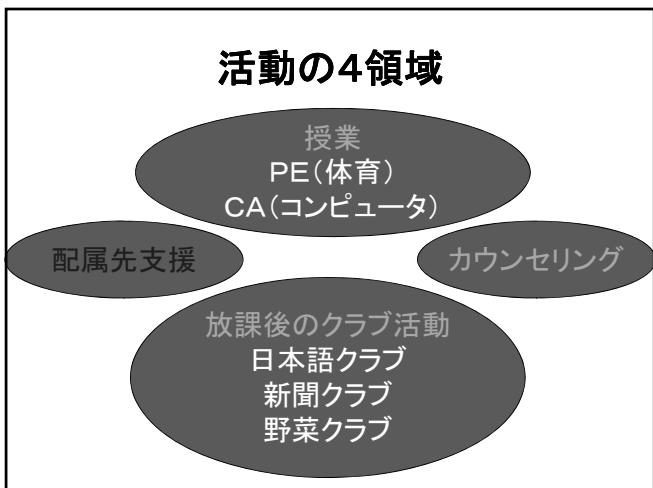
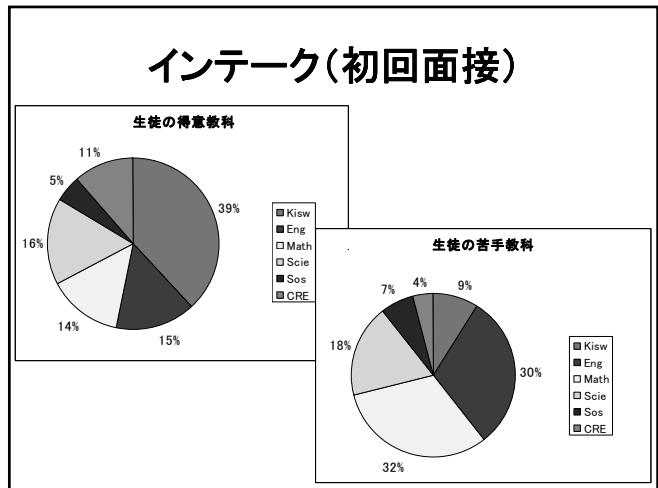
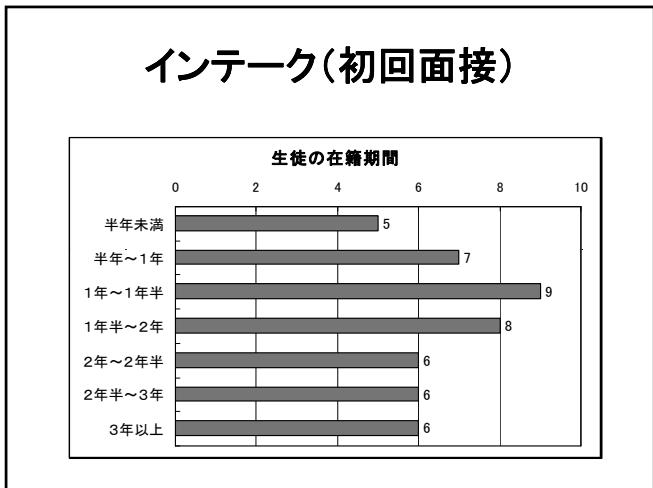
ダイコン収穫

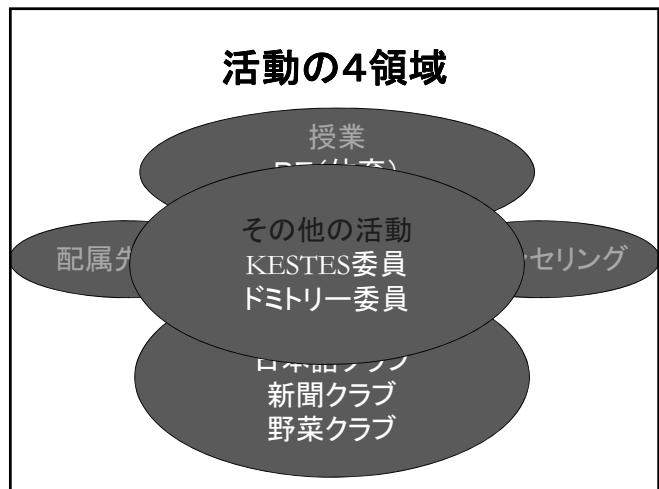
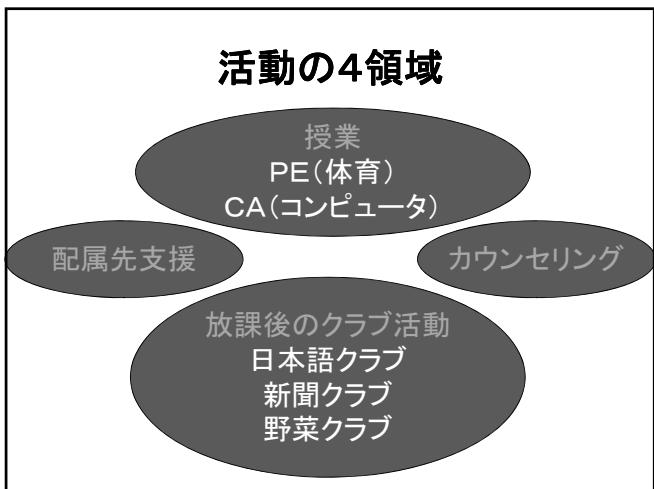




インテーク(初回面接)

| | |
|--|--|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |





タシザニア通信 KARIBU TANZANIA

第14号 Mvua haunyesha bado.

季節はVuliという小雨期に入りました。といつてもあまり雨が降りませんが、じめじめと蒸し暑い日々が多くなり、水シャワーが気持ちよい季節です。今月から後期の授業がスタートしました。あと僅かな授業を大切にしていこうと思います。

タンザニアの建築現場



先日、友達の家に行ったときたまたま通りかかった建築現場。ちょっと不思議な光景にしばらく釘つけ。なんと3階建ての建物を作っているところ、しかも3階部分にセメントを流し込んでいるところでした。日本だとミキサー車がきて、長いホースが伸びてセメントをジャンジャン流しこんでハイ！おしまいとなります。ここでは違います。まずミキサー機械でセメントをその場でこねます。そして、出来上がったセメントは、バケツに入れられて人の頭に乗せて3階まで運び流し込みます。一列に並ぶ作業員を見ながら・・・

“古代エジプトのピラミッド建設もこれかあ～”と思いました。現代も古代も大して変わらない、それもタンザニアの風景の一つかも知れません。便利なのがいいとは限らない、ここに雇用が生まれる！これも一理。

学校は始りましたが・・・生徒は来ず。

11月に入り、ターム休みも終了。授業スタート、と思い第一週目、クラスに行くと生徒10名程度。どのクラスも同じ。やはり・・・タンザニア時間が流れている。結局、1週目たいした授業もできず、終了。第2週目、さすがに来るだろう！と思っていくと、20名程度、クラスの約半数しかいない。もう我慢できない！“期日を守れんやつの面倒は見ません！”と言い授業スタート。なんとも、気合が空回り中です。

人数が少ない分、生徒にいろんな事を聞いてみました。まず、なんで学校に来ないのか？前にも書きましたが、やはり交通費がない！さらにまあ1週間くらいだし…という理由。中には、半期分の学費が準備できないので…という生徒もいます。なので、日本のように全員出席って、そのほうが不思議なのかも知れませんね。

さて、次の質問。“学費を家から持ってくるでしょ？で、使い込む生徒いないの？”と聞くと、いるらしい。途中で携帯電話を買ってしまったり、ラジオを買ってしまったり、ふと、教科書代と言いながら、別なものを買ってしまう日本の大学生を思い出しました。同じなんですね生徒って。

まあ、そんなことで授業もスロースタートです。後期5ヶ月、実質3か月分程度しか授業もありませんが、がんばります！。

愚痴ですか？ “Mwalim（先生）の図、細かくて描けません”



こんな声がちらほらと生徒から。どういうことかというと、ここでは、日本のように穴埋め式のプリント教材を配ることもできません。そして、同じ授業を3回繰り返します。なので、図表は全て前もって模造紙に書いておきます。（僕がいなくなってからも、タンザニアの先生が使えるように作っています。）それを、ペタッと黒板に貼り付けて、まずは写す、そして、説明を加えるという手順でやっています。まったく効率的ではありませんが、仕方なく…。しかし、僕が描く図表が詳しすぎるというか、難しいらしい（図が）。

途中で投げ出すやつも出てきました。これには、ちょっと頭にきて“君らは将来、医者やらエンジニアになる人間だろうが！途中で投げ出したらいかんよ！”とお説教してしまいました（できるだけ詳しい正確な図表を心がけて、これからも続けていくのだ！）。生徒の中には、“先生の図表を教室の後ろに飾りたい！”（僕の図表は、飾りかい！）と、なかなかの評判もあります。

たまに、わざとらしく職員室で図表を広げたりします。なぜか？というと、“タンザニア人の先生に、もうちょっと教材作ってもらいたいなあ（自らの手で・・・たまに生徒に作らせています）”と思ったので（以前にもこんな愚痴書きましたが相変わらずです）。中には、“これ綺麗だね～”“何回も使えるから楽だな～”と興味を持つ先生もいます。でも、中には、“給料も低いのに、これにお金かけられないし、時間かかるし（暇だろお前は！）…”と言う先生も（こいつは大学出たばかりだったので、説教してやりました）。授業の工夫に教師の興味が向くような、そんな職場になると教師も魅力的になるかもしれません。今のままでは、単なるテスト対策の予備校講師と変わりません。何とかしたいものです。

結婚式・・・タンザニアの結婚披露宴



先日、校長の次女が結婚するというので披露宴が行われました。前日は新郎側の披露宴、そして翌日が新婦、これがタンザニアペースもう大変時間がかかる。

校長から招待状を貰い、お祝いを包み…この辺は日本と同じ。当日、式の時間に行ってみると（それでも30分遅刻して行ったのに）誰もいない。近くの警備員に“今日、披露宴あるよね”と聞くと、確かにいる。結局、大体そろったのが、招待状の時間の2時間後（日本なら披露宴終わってますよ）、そこから披露宴が始るのである。新郎新婦が車で登場、友人に付き添われてひな壇に。そこからは、もうダンスやら挨拶やら延々と続くのである。そして、両親にケーキの贈呈、さらに新郎側に頭に乗せたウガリの粉をプレゼント。

結婚のお祝いは、モップやらお皿やら何でもあり、踊りながら次々とプレゼントを渡していく。それがやっと終わると、ようやくお食事。お祝い料理のピラフとニワトリ、バナナの煮物が定番です。やっとの思いでおなかを満たし、これで終わりかと思いきや、まだまだ披露宴は続くのです。

僕はだんだんビールの酔いが回って、ふらふらに…近所の先生と一緒に酔っ払いの午前様でした。



ひたすら踊ります！

ウガリおじさん登場

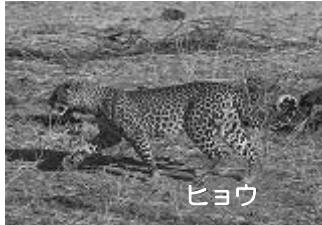
影・かけ・カゲ

日本で影を気にしたことありますか？僕は、はっきり言ってまったく気にせず生きてきました。でも、タンザニアでは、影をちょくちょく見るようになりました。なぜかって？お昼の時間が正確にわかるので…。



この写真は、正午に撮ったものです。影の長さに注目してください。TANZANIAは南緯5度程度なので、ほぼ真上から太陽が照らしていることになります。なので、影がほとんどなくなります。なんだかこんなことがとっても不思議でちょっと得した気分。いや、得はしていない…直射日光が真上から照らしているのだ。暑い訳だ、やっぱり。

今月の National Park ~Ruaha NP ~ (In dry season)



ヒョウ



今月のNPというより先月の話ですが、10月に再び Ruaha NPへ行ってきました。前回は、3月の大雨期、今回は、乾期の終わりの Ruaha に行ってみようということで企画してみました。総勢4名で、バンダ(バンガロー)に宿泊というワイルドな(チープな)旅。



Fish Eagle



タンザニアは、大きく乾期と雨期の2シーズンに分かれ、その光景はまったく違うものになります。雨期の Ruaha は、芽吹いた草原の美しいグリーンです、乾期の終わりの10月には全てが枯れはて全てがブラウン、Ruaha川の水はほとんどなくなり、動物達は、必然的に残りの水を求めて少ない水場に集まっています。少ない水場は、草食獣にとってそれだけ危険も多くなります。なぜかというと、

水場に集まる草食獣を求めて、ヒョウ、ライオンが待ち伏せているからです。しかし、肉食獣にしてみれば一番いい季節。少ない労力で確実に獲物を仕留める事ができるのです。さらに、水量の減った川では、魚たちが一箇所に集められ、それを食べるため Fish Eagle が狙っています。ワニとカバは少ない水場で暑さをしのぎ、小競り合いを繰り返します。乾期には乾期の

ドラマが繰りひろげられています。やせる草食獣と太る肉食獣、自然はうまくできます。

さて今回のサファリでは、多くのライオンに出会いました。満腹でごろごろ昼寝中のメスの群れ、獲物を仕留めたばかりのオス、のんびり木陰で休んでいた若いオス。さらに、早朝、散歩するヒョウにも出会えました。ヒョウは、普通木の上でだら~っとしているのですが、早朝の狩の帰りなのか、とこここ歩いているところに遭遇、ベテラン・ドライバー兼ガイドも興奮していました。そして、バッファローの死体をなめるキリン。何をしているのかわかりませんが、確かに長い下でペロペロとバッファローの死体をなめていました。不思議な光景でした。

夜は、バンダまでゾウとカバがやってきて、早朝、近所でライオンの雄たけびが聞こえ・・・ある意味ものすごくワイルドな旅でした。夜一人でトイレに行くのは危険！(ライオン、ハイエナに注意)です。



バッファローの
遺体を舐めるキリ
ン。なぜ、そんな事
をしているのか、ど
うしてなんでしょう
か？誰か教えて
ください！



キリンの大腿骨
キリンの骨格が転
がってました。大体
1mくらい、さすが
キリンは、骨もでかい！



Ruaha川の底にはカキの
化石がありました



ゾウとキリンが一緒に餌を食べて
いました。キリンは、普通シマウマ
やインパラと一緒になんですが、偶然
ゾウと出会ったんでしょうか？

宿泊したバンダ
一泊20ドル



11月のニュースから

Ruaha NPが周囲のgame reserveと合併してタンザニアで1番広いNPになったそうです。今までセレングティでした。Ruaha NPがさらにワイルドに保護される事を願います。Mkomazi GRもNPへ昇格決定。No-man's land もこれで晴れてNPです。おめでたい。

TANGA の風景

だんだん暑くなってきた TANGA。扇風機が手放せません。というより扇風機の風で蚊を飛ばしてもらっています。結構役に立ちますこれ。扇風機の風も熱風です・・・。

バーベキューしました



秋刀魚あるの？と聞かれそうなので先に言っておきます。秋刀魚は、太平洋の魚です。ちなみにこれは、サヨリです。インド洋にもいるサヨリ、見た目は秋刀魚、でも、脂がなくてパサパサしています。お吸い物にすると美味しい魚ですね。

という事でこのようにたまにはバーベキューもしています。休日の楽しみの一つです。外で飲むビールも美味しいしね！

JOCV（青年海外協力隊）派遣 40 周年式典

先日、ダルエスサラームで JOCV 派遣 40 周年を記念する式典が行われました。Tanzania に初めて協力隊が派遣されてもう 40 年が経つのです。これだけ長い間、協力隊事業以外の協力を含めて、Tanzania にいろいろと援助をしているんです。これが良いのか悪いのかというのは別にして、長い歴史を感じます。過去の隊員の紹介を聞くと、今と同じ苦労話・・・40 年前も同じだったんだあと思うと、援助のあり方を考えてしまいます。でも、40 年前も今も協力隊の草の根的な活動は高く評価されているようです。

そんな式典で、スピーチを頼まれました。つたないスワヒリ語で何とかスピーチを切り抜けました。一安心・・・。



緊張の 1 日でした・・・。

TANGA Kwaheri (お別れ) 無人島



17 年度 2 次隊の TANGA 隊員のお別れ無人島を開催。当日は、無風・晴天と素晴らしい海日和。総勢八名で無人島貸切状態。潮の引き具合がいまいちでしたが、青い海、青い空、白い砂浜・・・やっぱり TANGA の無人島は最高です。Tanzania のビーチリゾートというとザンジバル島が有名ですが、隊員の間では、そんなリゾートより、この無人島が最高！という声がよく聞かれます。僕も、世界で一番の蒼さだと思います。



どこまでも青い海



TANGA メンバー



豪華！？バーベキュー



皆でぶかぶか

ご愛読 Asanteni sana. でした。11月
(文責 JOCV 理数科教師 鈴木 祐二)

充実した活動をするために！

派遣前にこれだけはやっておきたい・考えておきたい

【1】こんな時、あなたならどうしますか？

みなさんが派遣される国・学校の状況は日本とは大違い。ある程度の“覚悟”はされていると思いますが、それでも戸惑うことだらけ。もちろんいざ行ってしまえば何とかなりますし、経験を活かして立派に活動されることは間違いないと思いますが、「事前に分かっていれば準備できたのに」と思うことも多いもの。そこで、少しシミュレーションしてみましょう。

ケース 1：教材・教具がない

赴任当初、はりきっていい授業をしようと教室にやってきました。しかし、いざ授業を始めようとすると愕然とします。①生徒たちの多くが教科書を持っていません（何人かに一冊はありますが、全員に行き渡りません）。②プリントを作ろうにも印刷機がありません（コピー機は町に行けばあります）。③チョークや黒板消しも満足にありません（黒板はただの黒く塗った壁です）。

こんな時、あなたならどうしますか？

こういう状況に備えて、どんな準備・用意をしますか？

同期の方はどうな準備・用意をしているでしょうか？

- 派遣国：(), 職種：(), 配属先 ()
- 予想される困難と準備・用意

- 派遣国：(), 職種：(), 配属先 ()
- 予想される困難と準備・用意

2009 年 4 月 6 日

- | |
|---|
| ●派遣国 : () , 職種 : () , 配属先 () ●予想される困難と準備・用意 |
|---|

- | |
|---|
| ●派遣国 : () , 職種 : () , 配属先 () ●予想される困難と準備・用意 |
|---|

ケース 2 : 仕事がない

要請書をもとに、赴任前にあれこれ思い描いていた赴任先での仕事。ところが、実際はその仕事はすでに別の人気がやっていたり、ニーズがなくて廃止されていました。同僚たちからも「君は何をしに来たんだい？」といぶかしがられる始末。よくよく話を聞いてみると、現地事務所が要請をあげたのは 2 年前とのこと。「そりや～ニーズも変わっているよなあ…」

こんな時、あなたならどうしますか？

同期の方はどうすると言っていますか？

- | |
|---|
| ●派遣国 : () , 職種 : () , 配属先 () ●その人なら |
|---|

- | |
|---|
| ●派遣国 : () , 職種 : () , 配属先 () ●その人なら |
|---|

- | |
|---|
| ●派遣国 : () , 職種 : () , 配属先 () ●その人なら |
|---|

- | |
|---|
| ●派遣国 : () , 職種 : () , 配属先 () ●その人なら |
|---|

ケース 3：やる気がない

今日から新学期です。日本なら始業式があって、次の日から早速授業が始まるところですが、なんだか様子が変です。まず生徒が半分もいません。同僚に聞けば「授業料を取りに（自宅へ）帰っている」とのこと。「まあ 2～3 日もすれば帰ってくるだろう」とのことでしたが、結局何となく授業が始まったのは 10 日後のことでした。

日本と同じようにきっちりと授業を終えて職員室に戻ってみると、先ほどの同僚がまだお茶を飲んでいました。「あれ授業は？」「今日は午後から役所に行かなければならないんだ」「それで授業は？」「明日ちゃんとやるさ」。そう言えば、教室をのぞくと半分くらいが自習です。そのくせナショナル・テストが近づくと、突然思い出したようにフルスピードで授業をし、「今年の生徒は本当に勉強しない」とぼやいています。授業は適当ですが、学期休みにはしっかりと補習をして小遣いを稼いでいます。

校長に相談すると「君は本当によくやってくれているよ。君が来てから生徒たちの姿勢も変わってきた。みんなの手本としてこれからも頑張ってくれたまえ」と言われました。あなたは思わず「自分は何のためにこんなところまで来たんだろう」と思ってしまいました。

こんな時、あなたならどうしますか？

同期の方はどうすると言っていますか？

- 派遣国：() , 職種：() , 配属先 ()
- その人なら

- 派遣国：() , 職種：() , 配属先 ()
- その人なら

- 派遣国：() , 職種：() , 配属先 ()
- その人なら

- 派遣国：() , 職種：() , 配属先 ()
- その人なら

2009 年 4 月 6 日

【2】派遣前にチェック！

もうすでに赴任先での仕事についてあれこれ計画をされていることと思います。でも海外での長期滞在となると、何かと不安なもの。そこで、派遣前に自己チェックしてみましょう。

- | | |
|---|--|
| 1. 配属先に持っていく教材・教具を用意している | |
| 2. 赴任地でのインターネット環境は分かっている | |
| 3. 日本のおもちゃや文化を紹介するものを用意している | |
| 4. 日本の勤務校から配属先への手紙・ビデオレターを用意している | |
| 5. 日本の勤務校から配属先へスポーツ用具などの支援がある | |
| 6. 日本の勤務校と配属先との交流授業を計画している | |
| 7. 勤務校以外の日本の学校と配属先との交流授業を計画している | |
| 8. 配属先から日本の勤務校へニュースレターを出す予定である | |
| 9. 日本から持っていくノートパソコンを用意している ●そのノートパソコンにはウェブカメラがついている | |
| ●そのノートパソコンは防塵・防振設計である | |
| ●そのノートパソコンはDVDを見ることができる | |
| ●そのノートパソコンにはFDドライブがついている | |
| ●そのノートパソコンにはウィルスソフトが入っている | |
| ●グローバル対応のACアダプタまたはコードを持っている | |
| 10. 日本から持っていく小型のビデオレコーダーを用意している ●そのビデオレコーダーには録音機能がある | |
| ●そのビデオレコーダーはSDメモリカードに記録ができる | |
| ●そのビデオレコーダーは100~240V仕様である | |
| ●USBケーブルを使ってパソコンにデータを送ることができる | |
| 11. 日本から持っていく携帯電話はグローバル・ローミングである | |
| 12. 雷サージ保護機能を搭載した電源タップを持っている | |
| 13. 赴任地または赴任国で活動しているNGOを知っている | |
| 14. 赴任地または赴任国で活動している日本のNGOや日本人を知っている | |
| 15. 帰国後、日本の授業で活動を紹介したり報告したりする計画がある | |
| 16. ブログを開設している | |
| 17. SNSに入っています、日記を公開している | |
| 18. 携帯型の短波ラジオを持っている | |
| 19. 楽器を演奏できる、楽器を持っていく | |
| 20. 野菜の種を持っていく | |

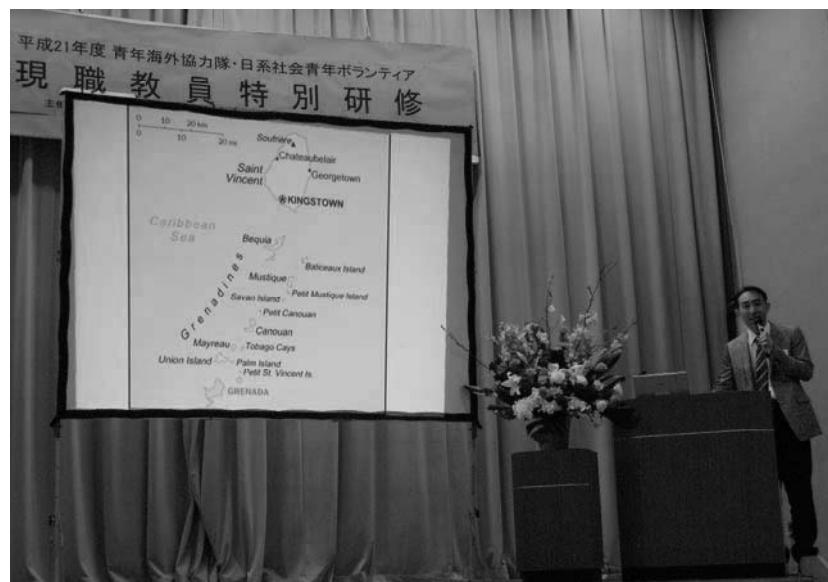
* これらは私の経験に基づく、「あれば助かる」ものたちです。これ以外にも生活必需品（包丁、しゃもし、ナイロンたわし、コーヒーサーバーなど）も考えておきましょう。ただし、あまりたくさん持っていくと、飛行機に乗る時に重量オーバーで追加料金を請求されるので、くれぐれもご注意を！

* 最後に、赴任先での心構えとして、私の“ひげ”的話を…

帰国隊員による報告 2

猿渡 和則（福岡県飯塚市立庄内中学校教諭）

(平成 17 年度 1 次隊 体育 セントビンセント)



平成21年度 青年海外協力隊
現職教員特別研修会

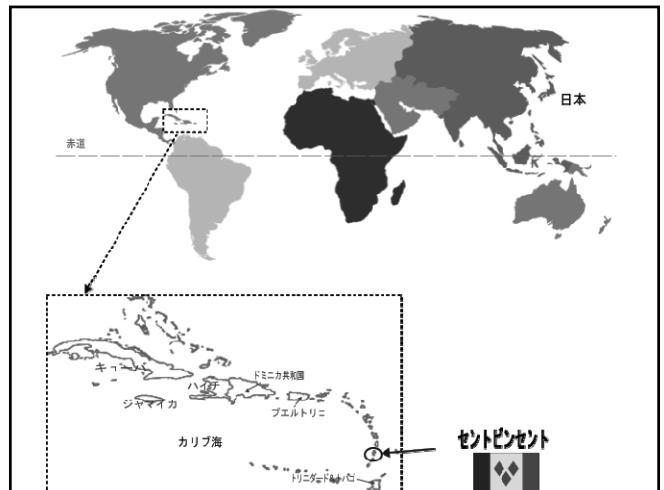
ボランティア経験を生かした 国際理解教育の実践

平成21年4月6日
福岡県飯塚市立庄内中学校
猿渡 和則



St. Vincent & The Grenadines

日本名
セントビンセント 及び
グレナディーンズ諸島



St. Vincent





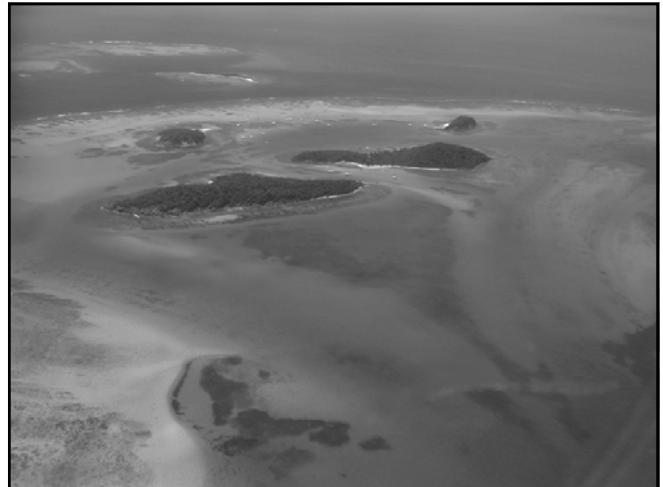
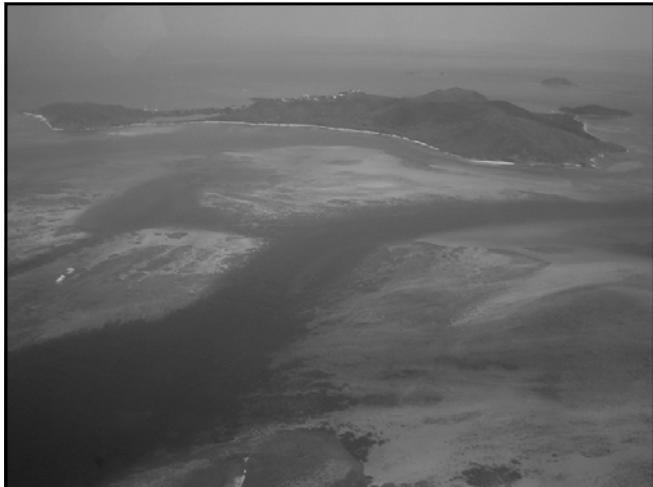
ジョニー・デップ

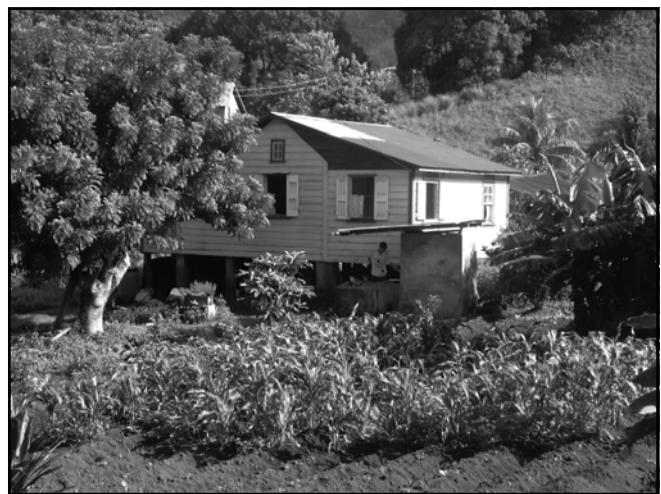
パイレーツ
オブ・カリビアン



カリブの宝石
エメラルドグリーンの海

豊かな自然









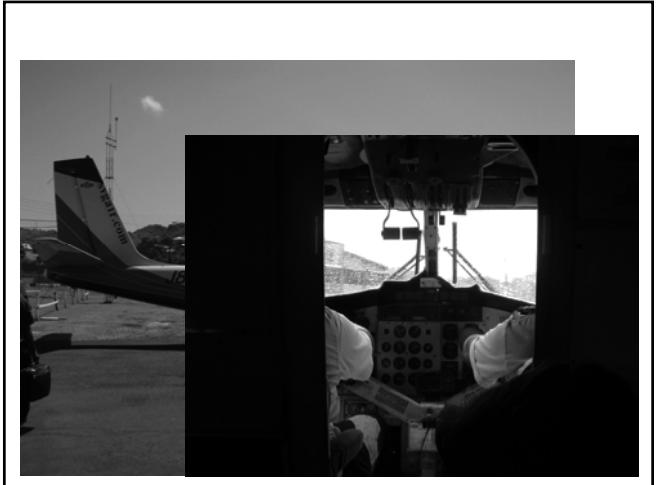




野菜市場



ユニオン・アイランド



本島とユニオン島を結ぶポート





漁業は大切な産業



島民一番の悩み



ユニオンアイランドセカンダリースクール



理科室



せまい教室



体育の授業







JICAからトロフィーのプレゼント



バスケットボールの練習



ネットボール



サッカー





大会のためにいざ本島へ



気分は小旅行



えっ、これが今日の宿舎



FIVB
バレーボールコーチトレーニング



ボイストレーニングセンター



そこにあるものを使って



野球も楽しもう



U-21、国代表チームの監督として



いざ、出発



体のお手入れもしましちゃうね



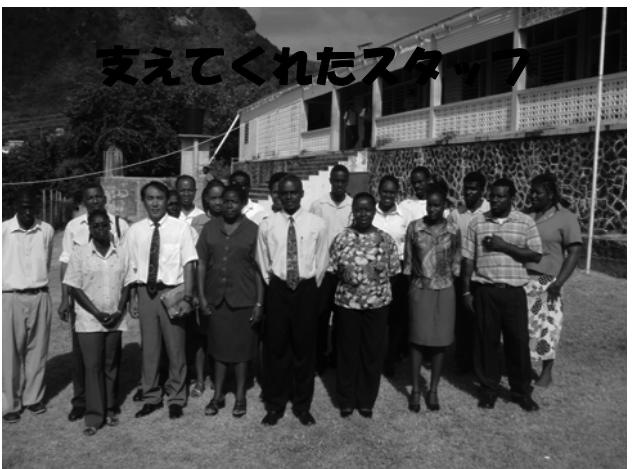
JAPAN DAY



いよいよお別れ



支えてくれたスタッフ

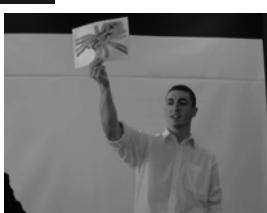


そして日本へ



飯塚市立庄内中学校「国際理解教育」

～ 国際人としての資質や能力を
伸ばす取り組みを通して ～



平成21年 4月 6日

飯塚市立庄内中学校 国際理解教育部会

1. 取り組みの経緯(主題設定理由)

(1) 社会の要請

- ・「豊かな人間性」
- ・「国際社会に生きる日本人の育成」

(2) 本校の実態

➡ ここ数年来「生徒の荒れ」が表面化

<「荒れ」の原因>

- ・人間関係づくりが希薄な状況
- ・コミュニケーション能力の育成不足

1. 取り組みの経緯(主題設定理由)

(3) 今後の方向性

教師主体から生徒主体へ(3ヶ年計画)

平成19年度: 教師主体…実践の蓄積を図る(知る)

平成20年度: 生徒会活動との連携強化(出会う)

…昨年度の実績をもとに企画運営に生徒会も参画する

平成21年度: 生徒主体(発信する)

…全ての学校行事と連動し生徒会主体の取り組みとする

1. 取り組みの経緯(主題設定理由)

(4) 国際理解教育で伸ばす資質や能力

日本人として、個人としての自己確立

異文化を理解し、相手を尊重する態度

コミュニケーション能力

広い視野を持ち、国際協調を行う態度

本校の現状を変える転機

3. 目標

- (1) 総合的な学習と特別活動において
…自国理解、自己確立・異文化理解
- (2) 各教科の授業において
…コミュニケーション能力の育成
- (3) 道徳教育などにおいて
…国際協調の態度を養う



4. 平成19年度の取り組み

日本人として、個人としての自己確立

① 国語科…1学年

学習の目的: 「自国の文化を知る」(百人一首の取り組み)

<札取りに取り組んでいる様子> <先生の模範による札読み様子>



4. 平成19年度の取り組み

異文化を理解し、相手を尊重する態度

① 異文化理解学習・国際交流…1・2学年

学習方法: JICAとの連携による外部講師招聘の授業

<学習の様子> JICA派遣教職員による講話



4. 平成19年度の取り組み

② 社会科…1学年

学習の目的:「中国の様子について知る」

学習の方法:外部講師(GT・留学生)を活用し、調べ学習に取り組む

<パンダの生態や生息地について> <中国語クイズ>



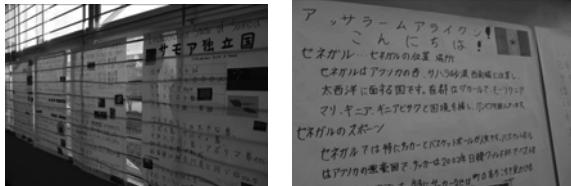
4. 平成19年度の取り組み

③ 他国との国際交流…3学年

学習方法: メールによる調べ学習方式

<生徒の調べ学習発表原稿
;サモア独立国について>

<生徒の調べ学習発表原稿
;セネガルについて>



4. 平成19年度の取り組み

④ 学校開放日における芸術鑑賞会…学校行事

交流の方法:ケニアの音楽家を招いての交流

<ケニアでの狩りの様子を体験>

<ケニア音楽の披露>



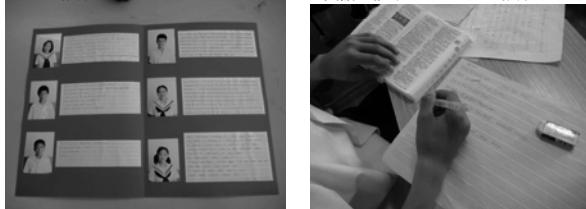
4. 平成19年度の取り組み

コミュニケーション能力

① 英語科…1学年 学習の目的:「会話を通して交流する」

<自己紹介文>

<英語の授業における自己紹介文づくり>



4. 平成19年度の取り組み

② 英語科…3学年 学習の目的:「会話を通して交流する」

<現地との交信の様子>

<現地校生徒の説明を聞いている様子>



5. 平成20年度の取り組み

JICA九州 アフリカ7カ国理数科教師研修員



5. 平成20年度の取り組み



5. 平成20年度の取り組み



4. 平成19年度の取り組み

広い視野を持ち、国際協調を行う態度

① ウガンダへの学用品の寄付…生徒会活動

「自分達にできることは？」

学用品不足に苦しむアフリカの子どもたちへの支援

「相手を尊重する気持ち」を第一に考えていく

<注意事項>

- ・不要となった学用品を寄贈
- ・未使用のもの
- ・高価なものでなく、誰もが使えるもの

5. 平成20年度の取り組み

日本人として、個人としての自己確立

① 国語科…1学年

学習の目的:「自国の文化を知る」(百人一首の取り組み)

<札取りに取り組んでいる様子> <先生の模範による札読み様子>



5. 平成20年度の取り組み

異文化を理解し、相手を尊重する態度

① 異文化理解学習・国際交流…1学年

学習方法: JICAとの連携による外部講師招聘の授業

JICA派遣教職員による講話

<学習の様子>



5. 平成20年度の取り組み

- ② 他国との文化について学び体験する…2学年・体育
学習方法：マダガスカルのスポーツ「クバーラ」体験
<学習の様子>



5. 平成20年度の取り組み

- ③ 他国との国際交流…3学年
学習方法：メールによる調べ学習方式
<学習の様子>



5. 平成20年度の取り組み

- ④ 学校開放日における芸術鑑賞会…学校行事
交流の方法：ギニアの音楽家を招いての交流
<アフリカのお祝いのダンス体験> <アフリカの音楽>



5. 平成20年度の取り組み

- ① 英語科との連携…2学年
学習方法：国際卓球テニス大会参加選手へのメッセージカードの作成
<生徒作成のメッセージカード> <メッセージカードを渡している様子>



5. 平成20年度の取り組み

- <選手・スタッフ
との交流>



5. 平成20年度の取り組み

- <クバーラ体験…作戦会議の様子>



5. 平成20年度の取り組み

広い視野を持ち、国際協調を行う態度

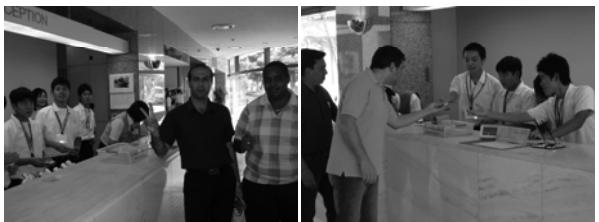
- ① 飯塚国際車いす
テニス大会への
ボランティア参加
…2学年
学習方法：体験学習



<ボランティア活動の様子>

5. 平成20年度の取り組み

- ② JICA九州における生徒会研修…生徒会活動
<JICA九州における受付体験>



5. 平成20年度の取り組み

- ② JICA九州における生徒会研修…生徒会活動
<外国からの研修生に対しての日本語指導体験>



6. 平成20年度の取り組み

- (1)各教科における取り組み(6月・9月の授業公開分)
国際理解教育の視点をもとにした各教科でわかる授業の実際
- (体育科)バレーボールを通して、コミュニケーション能力を育てる
 - (数学科)習熟度別学習を通して、コミュニケーション能力を育てる
 - (社会科)自国理解と外国との比較
日本の県と海外の州、省との違い
 - (音楽科)異文化理解
海外の音楽を鑑賞して、日本と比較

7. 今後の取り組み

- (1)特別活動(生徒会・学校行事)
における取り組み
- ・生徒、児童間の交流の促進(ピアサポート活動)
…来年度実施予定
- (2)各教科の取り組み
- ・国際理解教育の4観点に立った「授業作り」の実施

8. 今後の方向性

- (1)小中連携による国際理解教育の推進
- ・小中合同の国際車いすテニス大会へのボランティア参加
 - ・各教科における授業交流
 - ・生徒、児童間の交流の促進(ピアサポート活動)
- (2)教職員研修の充実
- (3)国際人として総合的に判断できる生徒の育成
・「耕す」・「鍛える」をモットーに

ご静聴ありがとうございました



国際人とは？

国際人とは？

●1～3時間

国際人ってどんな人？というような問い合わせをして

英語ができる、外国にいったことがある、外国の友だちがいる → これって国際人？

↓

3つの視点を提示

第1に物事を国際的視野に立って考えることのできる

日本を知ること、外国の国々を知ること、それぞれの関係を知ること、国際情勢を洞察すること、それぞれの国の歴史や文化などから培われてきた人々の心情を理解すること等

これまでやったこと：授業での各国調べ、JICA出前講座（タンザニア、セントビンセント）、留学生の話、百人一首大会）

第2に寛容な精神の持ち主であること

「郷に入っては郷に従え」という柔軟な態度や考え方など

第3はやはりコミュニケーション能力

心の交流の大切さ

これまでやったこと：セントビンセントの生徒との手紙交換、ケニアダンス交流、Skype での交流

を、これまでの活動とあわせて振り返りながら、国際人には様々な要素や価値観が必要なことを伝える

↓

●5／17、18の国際車イステニス大会（飯塚）

「国際人」の視点をもって参加しよう！

参考資料：

国際理解教育のねらい（教育目標）は一言でいえば国際人の養成である。それでは国際人とは何かということが問われるが、私は特に次の3つの点を強調したい。第1には物事を国際的視野に立って考えることのできる人ということである。国際的視野に立つためにはまず人間としての基本的な感性が必要であることは言うまでもない。町内で起こったことと、日本のどこかで起こったことと、遠い世界のどこかで起こったことを同じように感じることのできる感性は、国際人の基本的な要素だと考えている。そうした基本的な人間性の上に立って、日本を知ること、外国の国々を知ること、それぞれの関係を知ること、国際情勢を洞察すること、それぞれの国の歴史や文化などから培われてきた人々の心情を理解すること等の国際理解・異文化理解が大切な要素となってくるのである。

第2に寛容な精神の持ち主であることである。異文化で育った人々の交流は、当然のことながら度々摩擦を起こす。この摩擦を最小限の混乱に抑えることができるものが寛容の精神である。「郷に入っては郷に従え」ということわざがあるが、なるほどと思わざるを得ない。昨今多くの日本人が国際協力の一環として発展途上国に入っているが、先進国の一員として現地の人々に教えてやろうという態度は反感をかうケースが多い。

第3はやはりコミュニケーション能力である。語学力はその中の最も大事な部分である。相手の外国人が言っていることをきちんと理解し、自分の伝えたいことをきちんと伝えるためには共通の言葉が必要だからである。よくフォーマルな会見には通訳を介する方が良いということが言われる。確かにフォーマルな場合にはそういうことがいえるかもしれないが、実は私たち人間の交流は圧倒的にインフォーマルな場合が多いし、心の交流はインフォーマルなところで培われることが多いものである。外国に行く時にその国の言葉を理解し、話すことができることは、好感を持ってもらう最初の大切な入り口となるであろう。

「国際協力イニシアティブ」ライブラリ紹介－活用に際して－
コンテンツの登録方法

磯田 正美

(筑波大学教育開発国際協力研究センター准教授)



CRICED
University of Tsukuba

派遣前研修2日目 —役立つコンテンツの紹介—

筑波大学教育開発国際協力研究センター
磯田正美

昨日、話題にしようとしたこと

- 私達CRICEDの役割：つなぐこと 蓄えること 伝えること
- 心の準備：聞い「派遣現職教員ならでは」
- 楽しみなこと：チャレンジ

- 内容の改善の重要性
 - 派遣前 在所を調べて、存在を知つて、でかけてほしい！
 - 派遣中 発信、財産

「教育」日本に学べ 授業研究に閃く

日本は世界の教育研究で注目されるべき国だ。なぜか? 「教育研究」が豊富で、「授業研究」が充実しているからだ。そこで、日本で注目される教育研究の特徴や、その背景について、解説する。

指導方法

日本は世界で注目されるべき国だ。なぜか? 「教育研究」が豊富で、「授業研究」が充実しているからだ。そこで、日本で注目される教育研究の特徴や、その背景について、解説する。

昨日、話題にしようとしたこと

- 私達CRICEDの役割：つなぐこと 蓄えること 伝えること
- 心の準備：聞い「派遣現職教員ならでは」
- 楽しみなこと：チャレンジ

内容の改善の重要性

- 派遣前 在所を調べて、存在を知つて、でかけてほしい！
- 派遣中 発信、財産

Stay connected to home in the Land of the Rising Sun.

The BlackBerry® 8707g from NTT DoCoMo is available in the US, Europe, Japan, Korea, and 100+ other countries.

Learn more at: www.docomo-usa.com/

Knowledge Based Society? Sustainable Development / Globalization

Some countries have green farming mountains

Some countries will lose the land and go into the sea.

Some countries have desert.

Some countries are divided by religions.

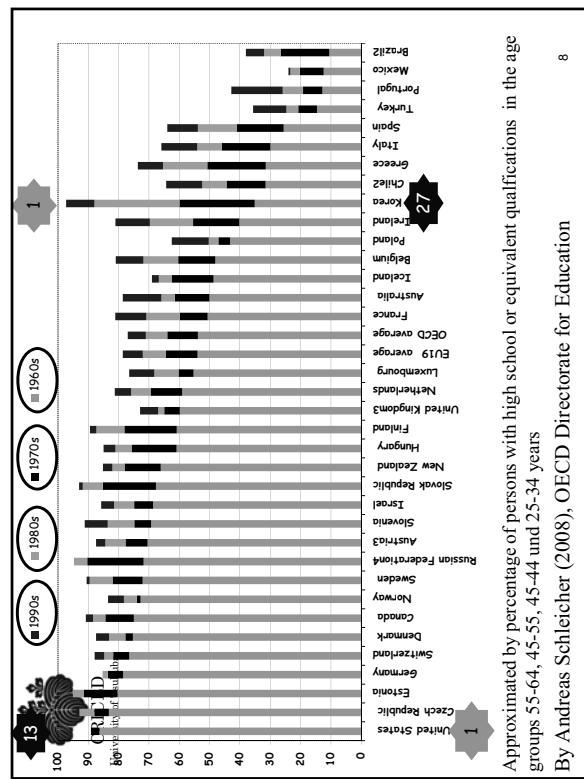
It looks stable or un-avoidable but...

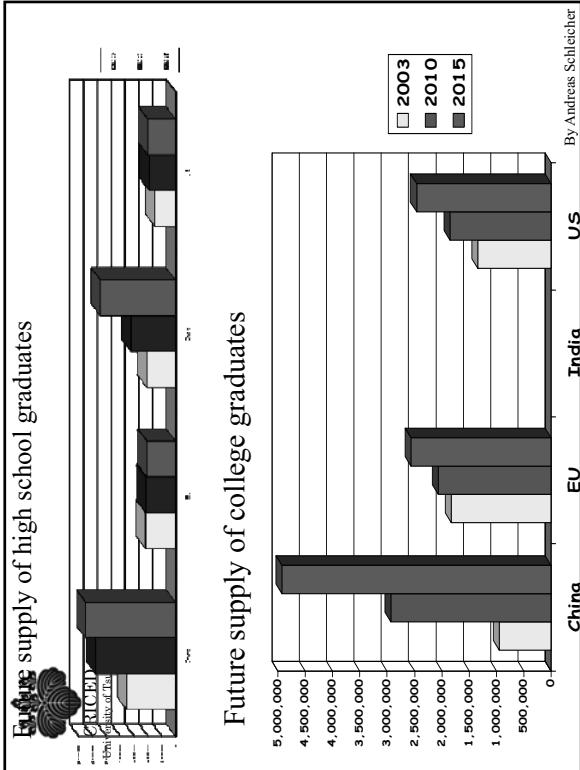
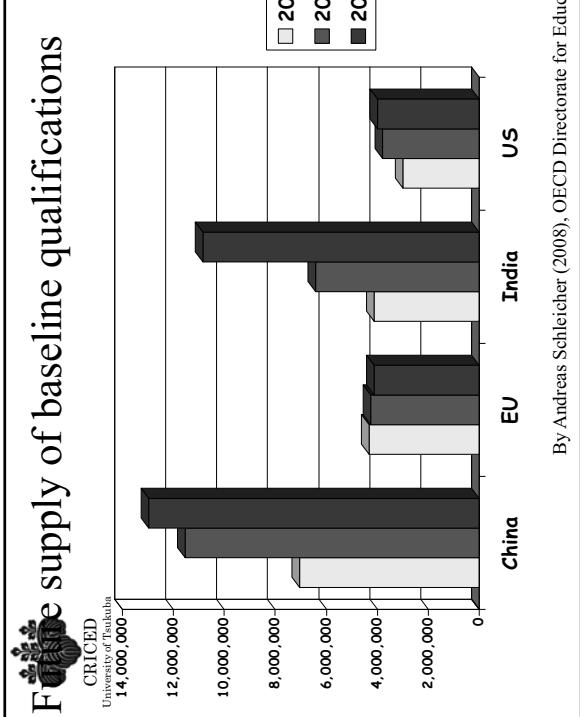


- Changing the meaning of qualification in school for Labor Market
 - Knowledge Based Society
 - On the Context of Globalization and Outsourcing

2,500USD car from India

Knowledge Based Society is inevitable but it has time lag.





他文化理解、自文化理解を超えて

CRICED
University of Tsukuba

- ？自文化中心主義 ethnocentrism
- ？文化相対主義 cultural relativism
- ◎文化 enculturation

日本の教育を紹介するコンテンツ

CRICED
University of Tsukuba

- URL
 - 利用法
 - 日本の学校を紹介するコンテンツ
- 学習指導要領解説
- 授業研究書
- 教科書
- 教材書
- 授業ビデオ (CRICED, APEC, JICA)
- Let's プロジェクト

『電子アーカイブへのデータ登録に際して』

電子アーカイブへの登録により、皆様の貴重な経験が、皆様のお名前で公に登録され、国内外の関係者に広く検索され、共有されるようになります。21年度派遣隊員の先生方におかれましては、これから約2年間、現地の教育に貢献するばかりではなく、帰国後の教師生活に役立つ貴重な経験をなさることと存じます。つきましては、その経験を電子アーカイブへ登録いただき、広く皆様で共有できるように致したく、お願い申し上げます。

① データの送付先

送付先： 〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学教育開発国際協力研究センター「派遣現職教員のサポート」係

② 隊員の皆様にお送り頂きたいもの 3点

(1) データ

電子アーカイブへの登録作業そのものは、本センターの派遣現職教員支援事業が行います。皆様には、そこへ登録させて頂きたいデータの作成をお願い致します。

(2) データにつけるプロファイル

ご提供頂くデータを1件ずつ検索・利用しやすくするために、その登録データ内容に関するプロファイル情報（教材の概要、キーワード、執筆者への問い合わせ先など）を必ず添付下さい。

(3) データの一般公開に関する承諾書

国際教育協力のための拠点システム電子アーカイブによりインターネット上で一般公開することへの承諾書をデータに添付下さい。

その承諾内容：

- ・インターネット上で公開すること。
- ・また著作権は執筆者が保持するが、同時に情報倫理上の責務も負うこと。
- ・情報をアーカイブとして保有する機関（筑波大学教育開発国際協力研究センター）は必要に応じて情報の登録・抹消に関わる権利を有すること

※ 情報倫理（個人情報の保護、肖像権、著作権）については以下のURLをご参照下さい。

<http://www.nicer.go.jp/ethics/>

上記(2)(3)の用紙は添付いたしますが、以下のURLからもダウンロードできます。
<http://www.criced.tsukuba.ac.jp/jocv/irai/>

③ データとして作成をお願いしたい内容

隊員としての経験の記述は切り分けが難しいと思いますが、膨大な分量をデータとして入れると利用者側の利便性が損なわれてしまいます。そこで、アーカイブ登録されるデータは、情報をできるだけ“小分け”にしてご登録願えれば幸いです。例えば、以下 A,B,C の 3 つのデータ分類を示しますが、必ずしも A, B, C に 1 件ずつという訳ではなく、先生方ご自身で主題（例えば、「ホンジュラスの算数教科書事情」etc）を設けた上で、A に 2 つの情報、B に 3 つの情報、C に 1 つの情報・・・というようにデータを各分類の中で更に小さく分けて作成して登録すると、閲覧される方が、目的に応じて検索し易くなります。

(A) 「今後役立つ現地教育事情」：日本の教育の特質と現地の状況を明確にするため、現地の教育の改善を計画され、実施する際などに参考になる内容です。現職で派遣される皆様は日本の教育経験をお持ちで、それとの対比で、現地の教育を考えることができます。

(例) 現地環境、現地の学校制度・教育課程、その実施状況、教科書、指導法、学力調査、日本との比較など教育の推進に関わる実態など、具体的な事例、事実、日本と比べての“びっくり体験”など。

(B) 「今後役立つ活動内容（職務内容）」及び「職務上得られた所産・教材」

後続の方が活動をはじめる際に直接役立つ教材等の参考資料を想定します。

(例) 教材プリント、指導案などの教育内容に関する情報、現地で使われる教科書の抜粋とその指導上の工夫などに関わる資料そのもの。

(C) 「自分なりに進めた活動の展開」と「自分の活動経験から導かれた教訓」

後続隊員が、皆さんのご苦労を自らの糧として役立てることができます。

(例) 授業研究の展開モデルとして、ご自身の経験を時系列に沿って簡潔にまとめる。

当初、同僚（カウンターパート）の仕事のやり方に驚いた。例えば、…

最初の数ヶ月、自身の指導法をみてもらうように努めた。例えば、…。

次の数ヶ月、指導法を同僚と話し合う時間を設けた。

数ヶ月、・・・実際には、現地の同僚の対応は・・・。そこで、・etc

④ データ作成上、ご確認願いたい点

以下よろしくご確認下さい。

①教材や現地情報などの資料や、経験の反省を踏まえた教訓などが、インターネット上での公開を前提に登録されます。帰国後の関係機関、所属組織への報告や御自身での発表の際にも、誰もが資料として参照できるようにデータをまとめて下さい。

②現職教員が日本の教育経験を生かして任地で実際に展開された活動や教材、成果としてまとめて下さい。将来、後に続く隊員が、同じような状況に当面したとき、助けとなるようなご苦労に対する“ポジティブな教訓”としてのデータを期待しています。

③日本での教育経験を活かしつつ、現地向けに開発した教材であり、教職経験のない隊員にも参考になるように登録データをまとめて下さい。

④作成に際して、参考にした文献などありましたら、資料の最後にお書き下さい。また、情報提供に謝辞を表す必要がございましたら、お書き下さい。

⑤お送り頂きたいデータの形式

お送り頂く情報は、登録するデータ容量：登録データ1件について5MBまでお願いします。

具体的には、

ア) 紙媒体でお送り頂く場合：

A4サイズで10頁程度まで。

紙媒体をスキャナで読み込み、PDF化する作業は、当方で行います。

イ) PDFファイルでお送り頂く場合：

PDFファイルで5MBまで。

そのファイルをそのままこちらで登録します。

ウ) MSWord, 一太郎などのファイルでお送り頂く場合：

A4サイズで100頁まで。そのファイルを本センターでそのままPDFファイルにしますが、以下の2点にご注意下さい。

- (i) ごく稀に、完全にPDFできない場合もございます。そこで発生する誤り等は、ご容赦下さい。誤りがご心配な方は、ご自身でPDFにして下さい。
- (ii) 必要に応じて現地語フォントを利用くださって結構ですが、こちらでPDF化できない恐れがあります。利用者の環境によっても、再生時に文字化けが起ります。日本語でも珍しいフォントを使えば文字化けする点を予めご了承下さい。

⑥一人の方が登録できるデータの上限

1件のデータの最大サイズは、途上国でのダウンロードの都合などを鑑みて5MBまでですが、一人の方が登録できる情報の全体容量は特に、制限いたしません。

⑦お送りいただくものと方法

データ1件ごとに、以下の3点がひとまとまりとお考え下さい。

1. 電子アーカイブへ登録するデータ
2. 登録データのプロファイル
3. 電子アーカイブにおけるデータ公開に関する承諾書

1と2は、データ1件ごとにフォルダを分けて、CD-Romないしフロッピーディスクでご提出下さい。特に、現地語フォントを利用して再生できない恐れが大きい場合には、ハードコピー（印刷して出力した物）を添付して頂けたら幸いです。

3は、ボールペンで記載してお送り下さい。1つの承諾書に、複数の資料名を記入しても差し支えありません。

送り先住所

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

筑波大学教育開発国際協力研究センター「派遣現職教員のサポート」係

お手数ですが、何卒ご協力の程、よろしくお願ひ致します。

『登録するデータのプロファイル』

著者情報

著者：
所属：
著者のHP：
派遣国：
JOCV職種：
派遣形態： 個別派遣 チーム派遣 1年派遣制度

データについての情報

タイトル：
副題：
データの言語：

注) 各項目につき複数選択可

- | | |
|--|--|
| <p>【データの種類】</p> <p><input type="checkbox"/> 教育活動報告 <input type="checkbox"/> 教材・カリキュラム <input type="checkbox"/> 諸外国の教育 <input type="checkbox"/> その他</p> | <p>【協力内容】</p> <p><input type="checkbox"/> 現職研修 <input type="checkbox"/> 教員養成 <input type="checkbox"/> カリキュラム・教材開発 <input type="checkbox"/> 授業研究・指導法 <input type="checkbox"/> 実践活動 <input type="checkbox"/> 施設・設備・器具・教具</p> |
| <p>【教育段階】</p> <p><input type="checkbox"/> 共通 <input type="checkbox"/> 就学前教育（幼稚園、登校促進、同和保育） <input type="checkbox"/> 初等教育前期 <input type="checkbox"/> 初等教育後期 <input type="checkbox"/> 中等教育前期（中学校） <input type="checkbox"/> 中等教育後期（高等学校） <input type="checkbox"/> 高等教育（大学、専門学校、専修学校） <input type="checkbox"/> 教師教育・成人教育 <input type="checkbox"/> その他</p> | <p>【教科などの内容領域】</p> <p><input type="checkbox"/> 行財政・制度法制・学校経営 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 算数・数学教育 <input type="checkbox"/> 理科教育 <input type="checkbox"/> 学校保健 <input type="checkbox"/> 家庭科教育 <input type="checkbox"/> 環境教育 <input type="checkbox"/> ICT教育 <input type="checkbox"/> その他の教科</p> |
| | <p><input type="checkbox"/> 障害児教育 <input type="checkbox"/> 幼児教育・就学促進 <input type="checkbox"/> 女性教育 <input type="checkbox"/> 職業教育 <input type="checkbox"/> 識字教育・社会教育 <input type="checkbox"/> 働地教育・遠隔教育 <input type="checkbox"/> その他</p> |

記入例が公開されています <http://www.criced.tsukuba.ac.jp/jocv/irai>

(続く)

【研修の場合】

- 派遣前研修
- 補完研修
- 支持目的国外旅行
- 在外技術補完研修

【キーワード】

【データの要旨】

平成 年 月 日

文部科学省拠点システム構築事業「国際教育協力イニシアティブ」

青年海外協力隊派遣現職教員のサポート

代表者 中田英雄 殿

電子アーカイブにおけるデータ公開に関する承諾書

文部科学省推進の拠点システム事業として筑波大学に設置される国際教育協力に資する電子アーカイブに以下の資料を登録するにあたって、以下の要件を承諾いたします。

- ・インターネット上で公開すること。
- ・著作権は執筆者が保持するが、同時に情報倫理上の責務も負うこと。
- ・データをアーカイブとして保有する筑波大学教育開発国際協力研究センターに対して、必要に応じた情報の登録・抹消に関する権利を与えること。

データ名 _____
(データが複数あるときに以下の破線をご利用下さい)

所属 _____

署名 _____ 印

JICA ネットの説明

高木 美緒

(国際協力機構経済基盤開発部)

JICA-Net説明会

2009年4月
経済基盤開発部 JICA-Net担当

本日の内容

1. JICA-Netについて

- ①マルチメディア教材
- ②遠隔技術協力
- ③ライブラリ

2. JICA-Netの活用方法と注意点

ボランティア活動におけるJICA-Netの活用例

1. JICA-Netについて

①マルチメディア教材

デジタル教材の作成・配布
(CD, DVD／日本語・英語・西語・仏語、その他)



23分野課題

| | | |
|-----------|----------|-----------|
| 教育 | 保健医療 | 水資源・防災 |
| ガバナンス | 平和構築 | 社会保障 |
| 運輸交通 | 情報通信技術 | 資源・エネルギー |
| 経済政策 | 民間セクター開発 | 農業開発・農村開発 |
| 自然環境保全 | 水産 | ジェンダーと開発 |
| 都市開発・地域開発 | 貧困削減 | 環境管理 |
| 援助アプローチ | 評価 | 南南協力 |
| 市民参加 | 日本語教育 | |

Source: JICAナレッジサイト

語学事前学習資料音声データ

(ベンガル語、インドネシア語、マレー語、
ポルトガル語、ベトナム語、フランス語、ロシア語、
キルギス語、ウズベク語、ベンガル語、シンハラ語、
ネパール語、ウルドゥー語、クメール語、タイ語、
モンゴル語、アラビア語、エジプト方言、アラビア語、
スワヒリ語、フランス語)

言語別技術用語集(理数系教育用語、IT英語、シンハラ語)

伝えよう、あなたの想いを～開発教育のススメ～

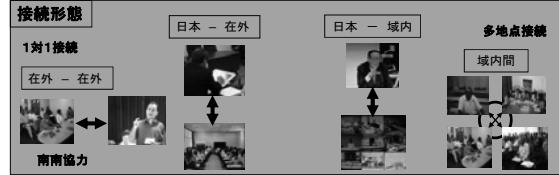
アグロフォレストリー 森をつくる農業

平成17～19年度に作成した教材は各在外事務所で保有しています。

また、webサイトからも視聴、複製を依頼できます。

②遠隔技術協力

テレビ会議装置とネットワークを利用した
「テレビ会議」や「遠隔講義・セミナー」の実施
日本や他地域と現地を映像・音声で結ぶことができます



抛点分布

| | | | |
|---------------|-------------|---------------|----------|
| ・スマトラ島 | ・北・中南米地域 | ・東洋地域 | ・欧州地域 |
| ・インドネシア事務所* | ・アメリカ合衆国事務所 | ・ウガンダ事務所 | ・ハリカン事務所 |
| ・カンボジア事務所* | ・アルゼンチン事務所 | ・エチオピア事務所 | ・ルクソル事務所 |
| ・タイ事務所 | ・エルサルバドル事務所 | ・ガーナ事務所 | ・フランス事務所 |
| ・フィリピン事務所* | ・ドミニカ共和国事務所 | ・ケニア事務所 | |
| ・ベトナム事務所 | ・ラグバニア事務所 | ・ザビア事務所 | |
| ・マレーシア事務所* | ・パラグアイ事務所 | ・セネガル事務所 | |
| ・ラオス事務所 | ・パラジナル事務所* | ・タンザニア事務所 | |
| ・インド事務所 | ・ペル・事務所 | ・ナイジニア事務所 | |
| ・ウズベキスタン事務所 | ・ボリビア事務所 | ・ニジェール事務所 | |
| ・キルギス事務所 | ・ホンジュラス事務所 | ・ブルキナファソ事務所 | |
| ・スリランカ事務所 | ・メキシコ事務所 | ・ダガ伤カル事務所 | |
| ・バングラデッシュ事務所 | | ・マラウイ事務所 | |
| ・パール事務所 | | ・南・アフリカ共和国事務所 | |
| ・パキスタン事務所 | | ・モザンビーク事務所 | |
| ・パキスタン事務所 | | | |
| ・モンゴル事務所 | | | |
| ・中華人民共和国事務所 | | | |
| ・アフガニスタン事務所 | | | |
| ・太平洋地域 | ・中東地域 | ・日本国内 | |
| ・斐济事務所 | ・エジプト事務所 | ・JICA本部(新宿)* | |
| ・パプアニューギニア事務所 | ・サウジアラビア事務所 | ・開発研究室* | |
| | ・シリリア事務所 | ・JICA地球ひろば* | |
| | ・チュニジア事務所 | ・JICA札幌 | |
| | ・バーレーン事務所* | ・JICA帝広 | |
| | ・モロッコ事務所 | ・JICA筑波 | |
| | ・ヨルダン事務所 | ・JICA東京 | |
| | | ・JICA横浜 | |
| | | ・JICA中部(名古屋) | |
| | | ・JICA大阪 | |
| | | ・JICA兵庫(神戸) | |
| | | ・JICA中国(東広島) | |
| | | ・JICA九州(北九州) | |
| | | ・JICA沖縄(浦添) | |
| | | ・JICA二本松 | |
| | | ・JICA駒ヶ根 | |
| | | ・JICA東北(仙台) | |
| | | ・JICA北陸(金沢) | |
| | | ・JICA四国(高松) | |

遠隔技術協力の接続範囲

| 利用方法 | 拠点 | 回線種類 |
|-------------|---------------------------------|----------------------------------|
| ①JICA-Net拠点 | J I C A 本部 在外事務所 国内機関 | 専用線or I S D N回線 インターネット |
| ②途上国の現場 | フィールドオフィス、プロジェクトサイト他 | ISDN回線 インターネット 衛星 |
| ③他機関 | 世銀G D L N 文科省SCS 民間レンタル施設 | I S D N回線 or 衛星 インターネット |

③JICA-Netライブラリ

<http://jica-net.jica.go.jp/ja2/index.html>



ID・PW申請

JICA-Netコンテンツ

(遠隔講義セミナー・マルチメディア教

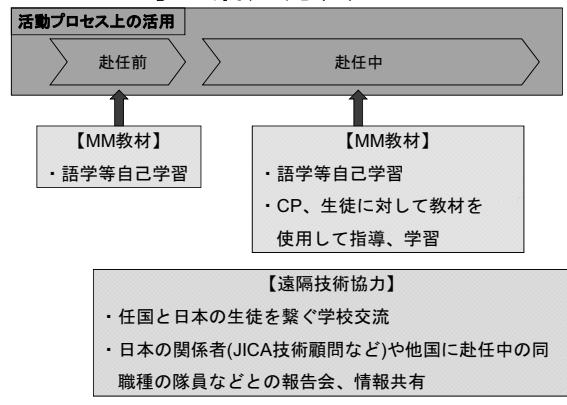
| | 件数 | | |
|---------------|------|----------------|------|
| 1. 教育 | 65件 | 13. 自然環境保全 | 58件 |
| 2. 保健医療 | 33件 | 14. 水産 | 2件 |
| 3. 水資源 | 25件 | 15. ジェンダー主流化 | 18件 |
| 4. ガバナンス | 71件 | 16. 都市開発・地域開発 | 61件 |
| 5. 平和構築 | 2件 | 17. 貧困削減 | 7件 |
| 6. 社会保障 | 18件 | 18. 環境管理 | 48件 |
| 7. 運輸交通 | 21件 | 19. 援助アプローチ/戦略 | 29件 |
| 8. 情報通信技術 | 91件 | 20. 評価 | 7件 |
| 9. エネルギー・鉱業 | 46件 | 21. 南南協力 | 4件 |
| 10. 経済政策 | 48件 | 22. 市民参加 | 23件 |
| 11. 民間セクター開発 | 174件 | 23. 日本語教育 | 8件 |
| 12. 農業開発/農村開発 | 35件 | 24. その他 | 158件 |

(2008年9月現在)

注意：重複コンテンツあり

2. JICA-Netの活用方法と注意点

プロセス毎の活用方法



利用上の注意点①

ライブラリのコンテンツ

JICA-Netライブラリには著作権・肖像権等の関係で、JICA内部でのみ利用が可能なものがあります。利用の際には配布等に問題がないか確認願います。

- 一般向けライブラリのものは自由にご利用いただけます
- 著作権等の範囲は教材により違います。
- 複製の依頼を出す際にどのような目的に使用するのか明確に記入して下さい。こちらで可否を判断します。

ご利用の際に不明な点がありましたら、JICA-Netホームページにて、もしくはJICA-Net担当に連絡して確認を取った上でご利用下さい。

利用上の注意点②

テレビ会議の利用申請

- テレビ会議装置は各在外事務所に設置されています。利用の際には事務所の許可を取った上で予約・利用してください。
- 学校交流などで、任国と日本や他国をテレビ会議で繋ぐ場合、以下の条件をクリアする必要があります。実現可能性を十分に検討した上で実施を決めて下さい。
 - 任国の事務所の了承・協力が不可欠
 - 接続先の日本や他国に協力者がいること
 - 実施準備に時間がかかる（2,3ヶ月目安）
 - 費用はどこが負担するか

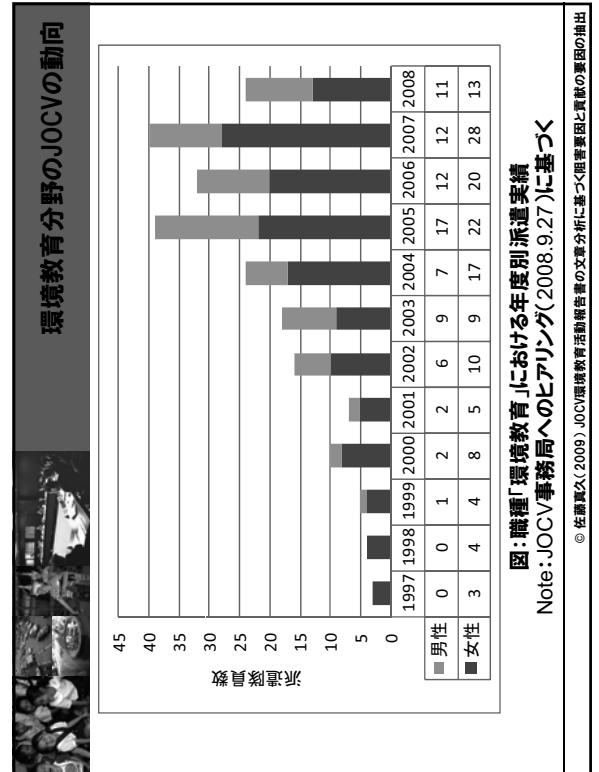
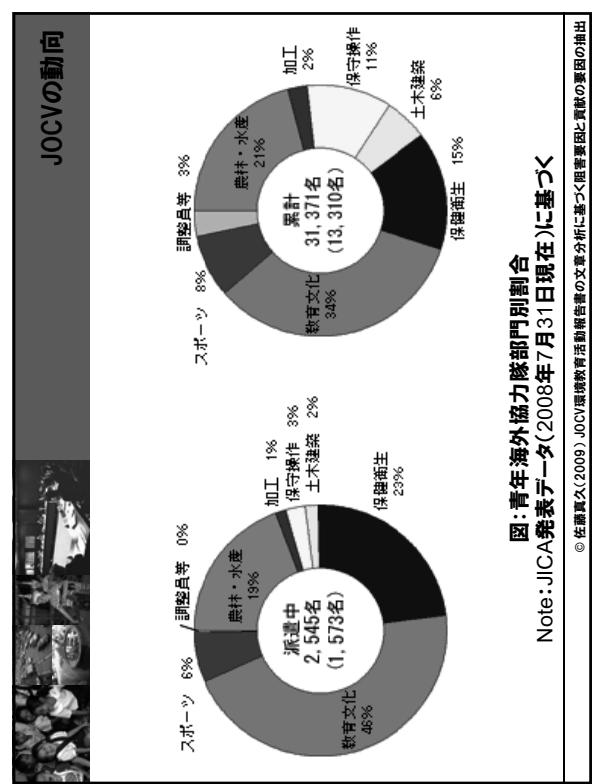
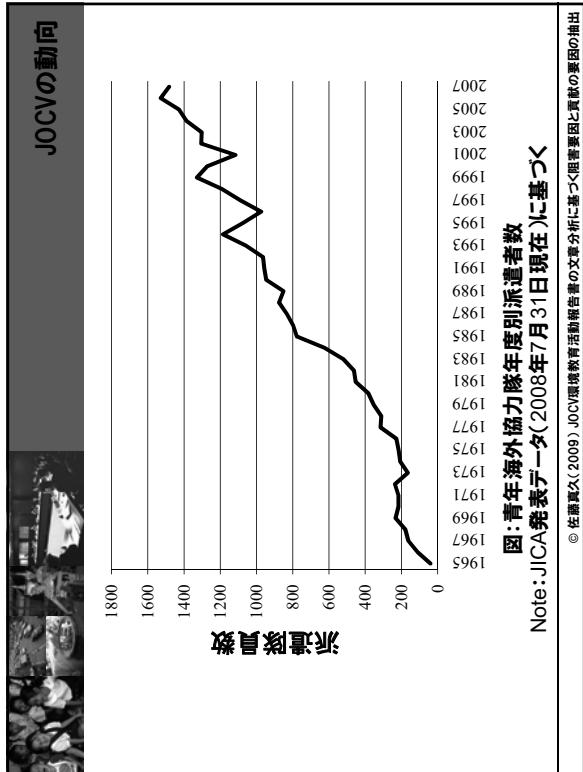
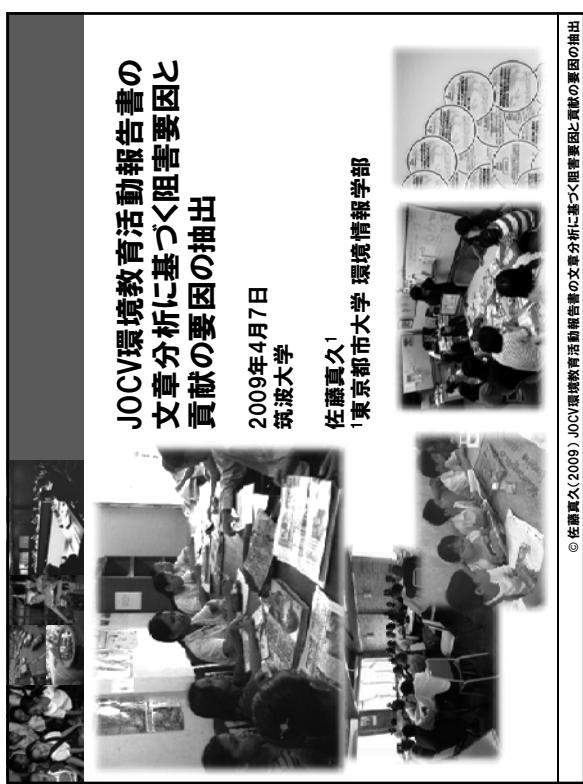
ありがとうございました

環境教育に関するワークショップ

村松 隆 (宮城教育大学環境教育実践研究センター長)

佐藤 真久 (東京都市大学環境情報学部講師)

斎藤 千映美 (宮城教育大学環境教育実践研究センター准教授)



| () 内は女性隊員 | 派遣中 | 帰国 | 累計 |
|------------|--------|---------|----------|
| アジア地域 | 19(10) | 26(19) | 45(29) |
| 中東地域 | 5(3) | 6(2) | 11(5) |
| アフリカ地域 | 17(12) | 25(18) | 42(30) |
| 北米中南米地域 | 30(19) | 67(46) | 97(65) |
| 大洋州地域 | 12(8) | 13(6) | 25(14) |
| 欧洲地域 | 1(0) | 0(0) | 1(0) |
| 派遣人数合計 | 84(52) | 137(91) | 221(143) |
| 派遣国数合計 | 31(24) | 38(33) | 43(40) |

表：職種「環境教育」における地域別派遣実績
 Note: JOCV事務局へのヒアリング(2008.9.27)に基づく

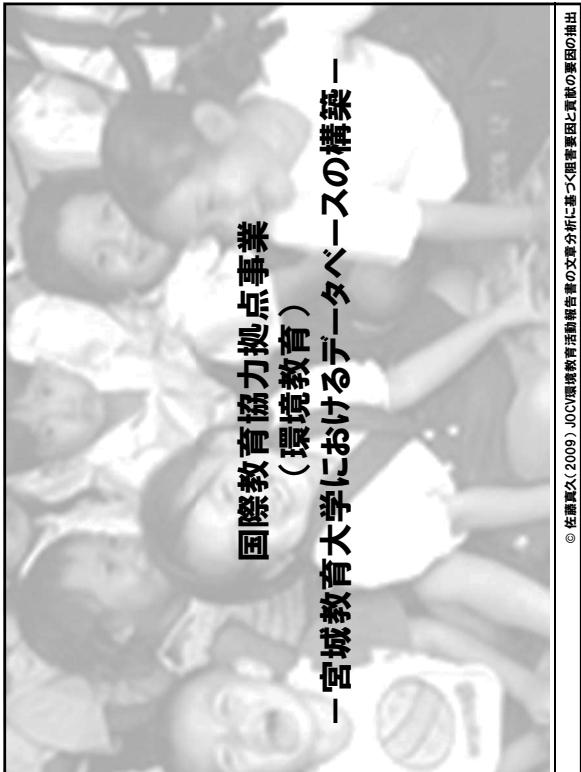
佐藤嘉久(2009)「OCVと総合教育活動報告書の文意分析に基づく障害要因と貢献の要因の抽出

宮城教育大学教育協力
拠点形成事業プロジェクト

■宮城教育大学教育協力拠点形成事業プロジェクト (宮教大拠点プロジェクト)

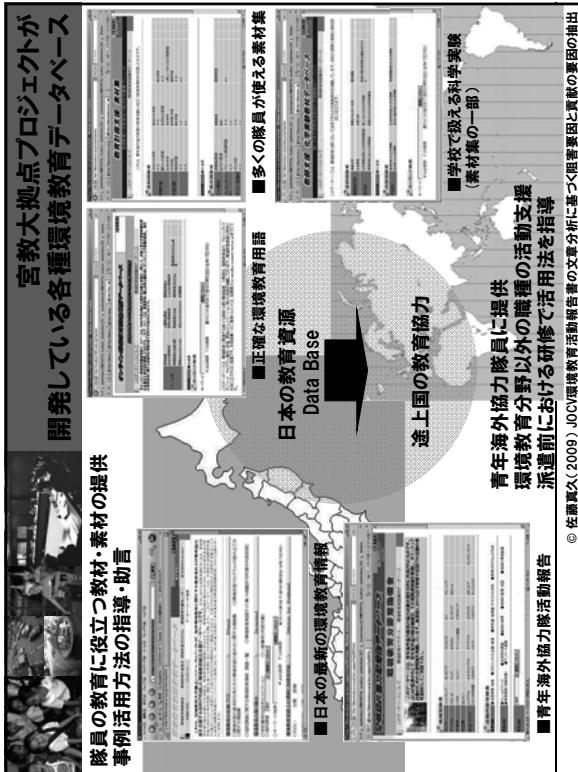
- ①派遣現職教員に対する派遣前研修
 - ②派遣中隊員への教材情報支援とQnAによる指導助言
 - ③帰国教員に対する学校教育支援
(特に海外教育経験を活用した国際理解教育の支援)

佐藤真久(2009)「OCV環境教育活動報告書の文書分析に基づく阻害要因と育成の要因の抽出



—宮城教育大学におけるデータベースの構築— 国際教育協力拠点事業 (環境教育)

◎ 佐藤真久(2009)「OCVと教育活動報告書の文書分析に基づく障害要因と盲杖の要因の抽出



宮教大拠点プロジェクトが開発している各種環境教育データベース

-

研究対象

■宮城教育大学教育協力拠点形成事業プロジェクト

①環境教育実践事例データベース
②青年海外協力隊活動用語データベース(隊員のみ利用可能)
③環境教育開運用教材データベース
④教育計画支援素材集データベース

■JOCV環境教育活動報告書(1999-2007)の文章分析

青年海外協力隊 活動データベース

© 佐藤真久(2009) JOCV環境教育活動報告書の文章分析に基づく阻害要因と貢献要因の要因の抽出

■全体的動向の把握にむけた分析対象項目と分類項目

| 分析対象項目 | 分類項目 | 定義づけ |
|--------------------|---|---------------|
| (1) 通し番号 | — | (1) 前提条件・実施背景 |
| (2) 隊員番号 | — | (2) 個人能力 |
| (3) 任期 | ※隊員が配属された期間 | (3) 組織能力 |
| (4) 流域国 | ※隊員が派遣された国名 | (4) 市民能力 |
| (5) 地域分類 | (1) アジア、(2) アフリカ、(3) 大洋州、(4) 中近東、(5) 中南米・カリブ | (5) 社会支援システム |
| (6) 配属先 | ※隊員の赴任場所 | (6) そのほか |
| (7) 配属先属性 | (1) 首都、(2) 都市、(3) 地方 | |
| (8) 活動内容 | (1) 学校教育、(2) 住民教育、(3) 環境教育、(4) 行政支援、 (5) 業務支援、(6) 業務推進、(7) その他 | |
| (9) 活動形態 | (1) 村落型、(2) 教室型、(3) 現場活動型、(4) 本拠・試験場型 | |
| (10) 活動目標 | ※隊員配属前の活動目標 | |
| (11) 活動目標 (配属後) | ※隊員配属後の活動目標 | |
| (12) 環境教育 の方法 | (1) 情報提供、(2) コミュニケーション、(3) 教育、 (4) 組織能力の向上、(5) 市民館の向上 | |

© 佐藤真久(2009) JOCV環境教育活動報告書の文章分析に基づく阻害要因と貢献要因の要因の抽出

研究アプローチ

青年海外協力隊 活動データベース

■JOCV環境教育活動報告書(1999-2007)の文章分析

■分析フレームワーク: ① JOCVの環境教育活動の全体的動向の把握

■分析対象項目「阻害要因」「貢献要因」に関する
分類項目の定義づけ

| 分析対象項目 | 分類項目 | 定義づけ |
|--------------------|---|---------------|
| (1) 通し番号 | — | (1) 前提条件・実施背景 |
| (2) 隊員番号 | — | (2) 個人能力 |
| (3) 任期 | ※隊員が配属された期間 | (3) 組織能力 |
| (4) 流域国 | ※隊員が派遣された国名 | (4) 市民能力 |
| (5) 地域分類 | (1) アジア、(2) アフリカ、(3) 大洋州、(4) 中近東、(5) 中南米・カリブ | (5) 社会支援システム |
| (6) 配属先 | ※隊員の赴任場所 | (6) そのほか |
| (7) 配属先属性 | (1) 首都、(2) 都市、(3) 地方 | |
| (8) 活動内容 | (1) 学校教育、(2) 住民教育、(3) 環境教育、(4) 行政支援、 (5) 業務支援、(6) 業務推進、(7) その他 | |
| (9) 活動形態 | (1) 村落型、(2) 教室型、(3) 現場活動型、(4) 本拠・試験場型 | |
| (10) 活動目標 | ※隊員配属前の活動目標 | |
| (11) 活動目標 (配属後) | ※隊員配属後の活動目標 | |
| (12) 環境教育 の方法 | (1) 情報提供、(2) コミュニケーション、(3) 教育、 (4) 組織能力の向上、(5) 市民館の向上 | |

© 佐藤真久(2009) JOCV環境教育活動報告書の文章分析に基づく阻害要因と貢献要因の要因の抽出

| 表:「配属先属性」と「活動形態」の関係性 | | (都市) | | (地方) | | (地方) | | (都市) | | (地方) | | (都市) | |
|----------------------|------|------|-------|------|----|------|----|------|---|------|----|------|----|
| | | (3) | | (4) | | (5) | | (6) | | (7) | | (8) | |
| 首都 | (官邸) | 新市町 | (新市町) | 現場 | 21 | 現場 | 16 | 不明 | 2 | 教育 | 15 | 教育 | 24 |
| 現場 | 10 | 現場 | 21 | 現場 | 16 | 不明 | 2 | 情報 | 7 | 情報 | 11 | 情報 | 2 |
| 教室 | 1 | 教室 | 4 | 教室 | 4 | なし | 0 | ヨミュ | 1 | ヨミュ | 6 | ヨミュ | 0 |
| 本試 | 1 | 本試 | 1 | 本試 | 2 | なし | 0 | 市民 | 1 | 市民 | 3 | 市民 | 0 |
| 不明 | 1 | 不明 | 2 | 不明 | 0 | なし | 0 | 組織 | 0 | 組織 | 1 | 組織 | 0 |
| | | | | | | | | 不明 | 2 | 不明 | 3 | 不明 | 0 |

Note:現場型教室:教室型、本試:本序・試験場型
Note:(内)は回答数員数、数値は回答精度
Note:情報提供、コミュニケーション、教育・組織能力の向上、市民・市民能力の向上

(2) 佐藤真久(2009) JOCV環境教育活動報告書の文章分析に基づく阻害要因と貢献の要因の抽出

■「配属先属性」と「活動形態」の関係性

表：「配属先属性」と「環境教育の方法」の関係性

| 表：「配属先属性」と「活動形態」の関係性 | | 都市 | | 地方 | | 不明 | |
|----------------------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|
| 首都 (13) | 都巿 (22) | 地方 (28) | 地方 (28) | 教育 (2) | 教育 (28) | 情報 (2) | 情報 (2) |
| 現場 | 10 | 現場 | 21 | 現場 | 16 | 2 | 7 |
| 教育 | 1 | 教室 | 4 | 教育 | 4 | なし | 1 |
| 本試 | 1 | 本試 | 1 | 本試 | 2 | なし | 0 |
| 不明 | 1 | 不明 | 2 | 不明 | 0 | なし | 0 |

◎ 佐藤真久(2009) JOCV環境教育活動報告書の文章分析に基づく阻害要因と貢献の要因の抽出

著者:環境教育分野の「OCY」活動における明書・資料要因

| 要因項目 | | 要因項目 | |
|------|-----------|---|----|
| 分類項目 | 要因 | 分類項目 | 要因 |
| 障害要因 | 前提条件・実施背景 | ・ 慣習問題(6) | |
| | 個人能力 | ・ 配属先スタッフのスキル不足(10) | |
| | 組織能力 | ・ 組織の意識不足(7) ・ ネットワークパートナーシップの不足(6) | |
| | 社会支援システム | ・ 教材の不足(1) ・ 設備の不充実(1) ・ 効率的あるいは質的教育プログラムの欠如(1) | |
| | 前提条件・実施背景 | ・ 資金問題(6) | |
| | 個人能力 | ・ 協力人材の不足(8) ・ 政治的優先順位の低さ(6) | |
| | 組織能力 | ・ 親の理解不足(1) | |
| | 社会支援システム | ・ 慣習(1) | |
| | 前提条件・実施背景 | ・ 員による既存教材の効果的利用と地域教材開発(9) | |
| | 個人能力 | ・ 配属先関係者や実施対象者の意識の高さ(8) ・ 配属先関係者の知識(7) | |
| | 組織能力 | ・ 配属先関係者のスキル(2) ・ ネットワークパートナーシップの構築(8) | |

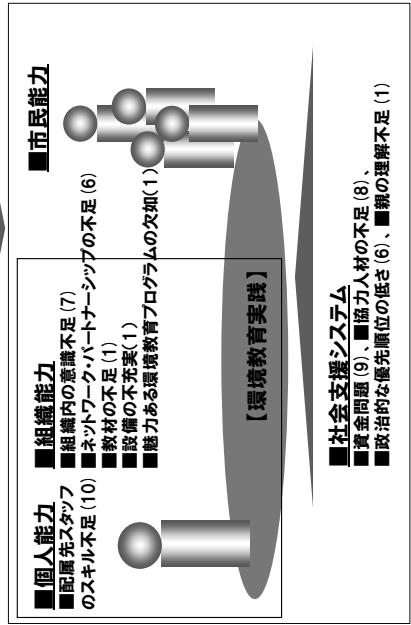
Note: () 内は回答数
※: 分類定義は、表・分類項目
「照書要因」・「貢献要因」に関する分類項目の定づけを参照

佐藤真久(2009) JOCV環境教育活動報告書の文章分析に基づく阻害要因と貢献の要因の抽出

分析結果：② アジア地域のJOCVにおける 環境教育活動の阻害・貢献要因の抽出

分析結果：②アジア地域のJOCVにおける環境教育活動の阻害・貢献要因の抽出（2）

© 佐藤真久 (2009) JOCV環境教育活動報告書の文章分析に基づく阻害要因と貢献の要因の抽出



◎ 佐藤真久(2009) JOCV環境教育活動報告書の文章分析に基づく阻害要因と貢献の要因の抽出

分析結果：② アジア地域のJOCVにおける環境教育活動の阻害・貢献要因の抽出（3）

■貢献要因

■前提条件・実施背景 ■慣習（1）

■個人能力

- 隊員による既存教材の効率的利用と地域教材開発（9）
- 配属原先関係者や実施対象者の意識の高さ（8）
- 配属原先関係者のスキル（7）

■組織能力

- 隊員が開発した環境教育プログラムの質（9）
- ネットワーク、パートナーシップの構築（8）

■社会支援システム

【環境教育実践】

© 佐藤真久(2009) JOCV環境教育活動報告書の文章分析に基づく阻害要因と貢献の要因の抽出

JOCV環境教育プロジェクト阻害・貢献要因シミュレーション教材開発（1）

■教材開発室セミナー

| | |
|----------|---|
| 【教材名】 | JOCV環境教育プロジェクト阻害・貢献要因シミュレーション教材 (Version1.0) |
| 【フォーマット】 | カートダーマム |
| 【教材タイプ】 | 参加型教材 |
| 【教材開発者】 | 武藏工業大学環境情報学部 佐藤真久研究室 |
| 【教材開発年】 | 2008年度 |
| 【教材の目的】 | 環境教育のJOCV隊員が実施予定のプロジェクトにおいて想定される阻害・貢献要因と要因項目を把握し、課題解決にむけたシミュレーションを通して、実施にむけた準備を行うこと |
| 【教材の対象】 | JOCV環境教育分野隊員 (派遣前・派遣中)ほか |
| 【教材のテーマ】 | JOCV環境教育プロジェクトによる阻害・貢献要因 |

■カリキュラ・ユニット

■教材開発テザイン

（佐藤研究室セミナー）

© 佐藤真久(2009) JOCV環境教育活動報告書の文章分析に基づく阻害要因と貢献の要因の抽出

JOCV環境教育プロジェクト阻害・貢献要因シミュレーション教材の開発と活用

【環境教育実践】

© 佐藤真久(2009) JOCV環境教育活動報告書の文章分析に基づく阻害要因と貢献の要因の抽出

JOCV環境教育プロジェクト阻害・貢献要因シミュレーション教材開発（2）

■教材開発風景

（左藤研究室セミ生）

© 佐藤真久(2009) JOCV環境教育活動報告書の文章分析に基づく阻害要因と貢献の要因の抽出

■開発されたシミュレーション教材

■教材開発テザイン

■カリキュラ・ユニット

■教材開発風景

■開発されたシミュレーション教材

■教材開発風景

■開発されたシミュレーション教材

JOCV環境教育プロジェクト
貢献要因・貢献要因シミュレーション教材利用（1）

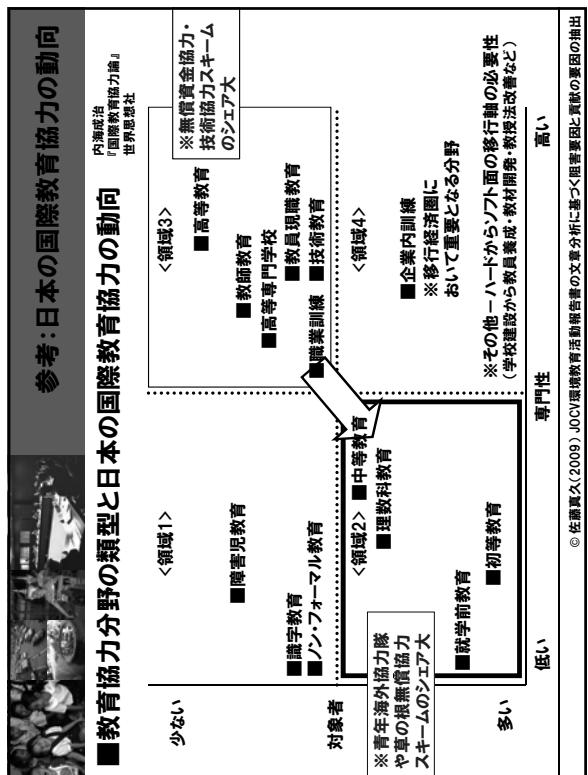


■JOCV隊員（環境教育）を対象とした

活動手法研修における教材利用風景

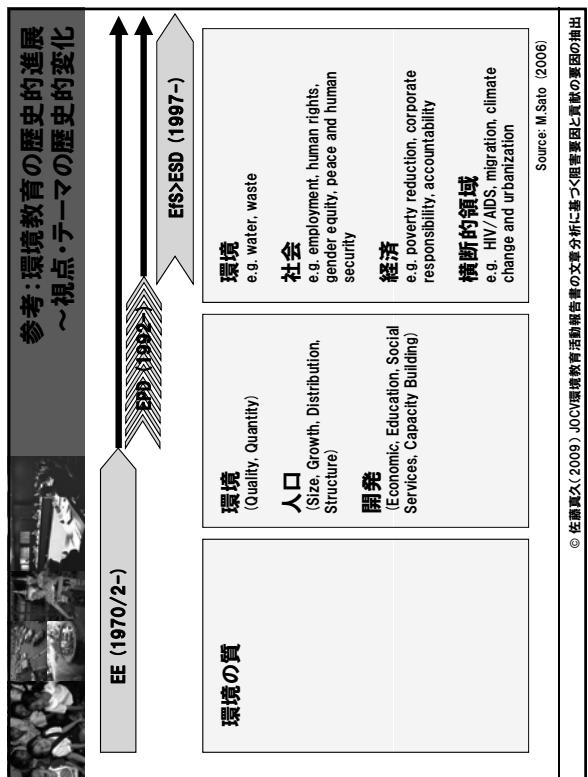
（JOCV活動手法研修@二本松 2008年8月1日 三好直子技術顧問による研修実施）

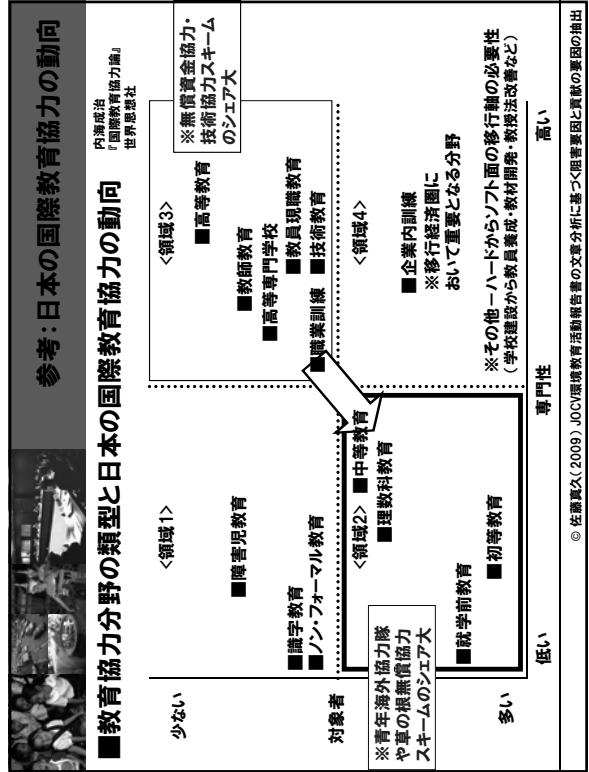
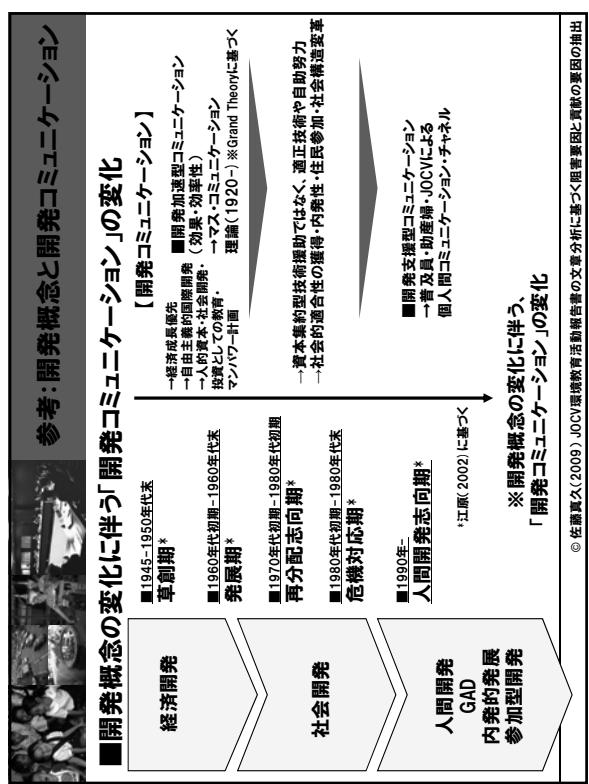
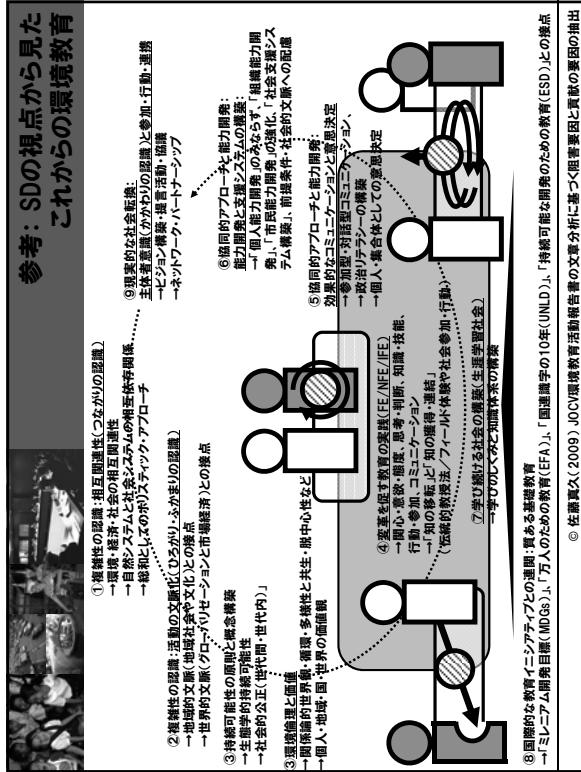
© 佐藤真久(2009) JOCV環境教育活動報告書の文章分析に基づく貢献要因と貢献の要因の抽出

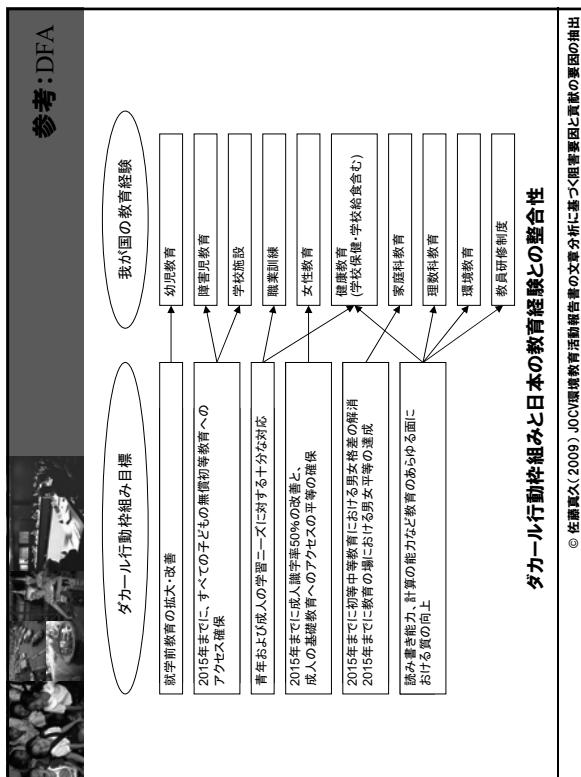
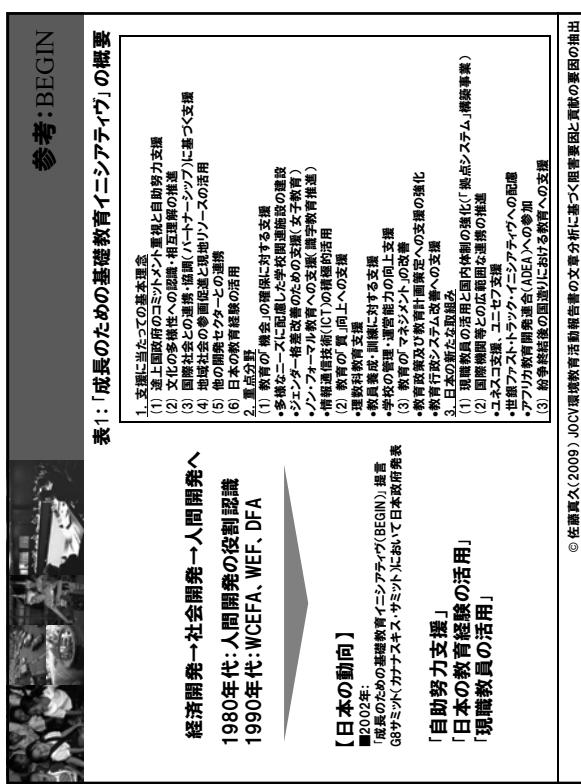


関連資料一式

© 佐藤真久(2009) JOCV環境教育活動報告書の文章分析に基づく貢献要因と貢献の要因の抽出







国際協力イニシアティブ（環境教育）「紙芝居教材」とは

1. 学校とごみ

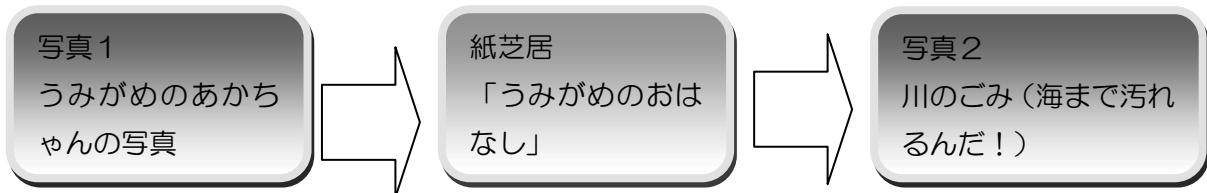
2. 紙芝居教材の意義「新しい」「視覚的」「原稿がある」

3. 教材の紹介

4. 組立てを考える

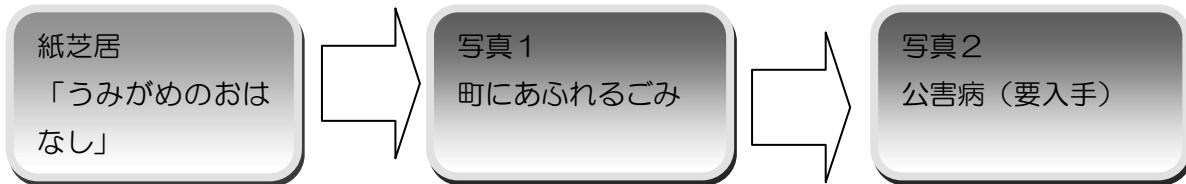
紙芝居教材・視覚教材は、「組み合わせて使う」ための素材です。最低限の素材はそろっていますが、既存の資料を補足したり、現地で撮影した写真を使って、身近な授業を作ります。

例1)



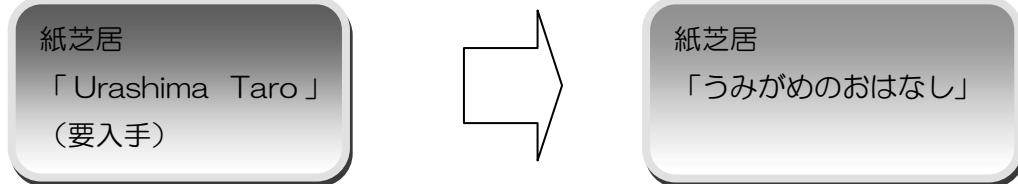
*海の生き物も人間と同じように汚い環境に苦しむ・・・という「循環、つながり」をねらう授業です。子供たちの身の回りの汚染が、人間も含め、じつは人間以外の生き物や、目に見えない遠くの環境まで汚染していることを理解することがねらいです。

例2)



*環境汚染の問題にまったく触れたことがない子供たちには、「ごみを減らすことはよいこと」だと感じてもらうことが目標になります。あふれるごみや汚染された排水は人の健康を蝕むことを、公害病の問題を語る写真など使いながら、子供たちに考えさせます。

例3)



*日本を紹介する授業の一つとして「浦島太郎」を紹介し、次の時間には「うみがめのお話」に

展開していきます。浦島太郎の挿絵入りのお話は、ウェブ上ではたとえば<http://web-japan.org/kidsweb/folk/index.html>（外務省による、外国の子供たちのための日本理解のサイト。英語、スペイン語などで読めます）で見ることができます。

4 重要な「ポートフォリオ」

ボランティアの授業が難しい理由はたくさんあります。教室の中で授業を始めるまでも一苦労ですが、いざ教室で授業ができても、思うとおりにいかないこともあります。根底には、コミュニケーションの問題があります。

- ・現地の言葉を自由に操れない
- ・前提となる知識や文化の違い

現地の言葉を自由に操れない

これは当然のことですから、「できる限り視覚的・体験的授業を行う」ということと、「あらかじめ伝えるべき内容と用語を準備しておく」ことである程度は解決できます。

また語学習得のために、毎日2時間は現地の人と会話する、などの目標を自分の状況に応じて立てましょう。パソコンに向かい合う時間が長くなればなるほど、言葉が上達する機会を逃していると考えてください。

前提条件の違い

何かを教えている時、「なぜ理解してくれないのか」と思ったら、それは相手の理解能力ではなく、教えていること（例えば、プラスチック類のポイ捨てはよくないからやめよう）の前提となっている考え方や知識の違い（ターゲットがプラスチックは生物分解されないものであることを知っているかどうか？）のためではないか、と疑うべきです。ただし、どこがどう違うのか、その場では掘り下げられないことのほうが多いと思います。

このような問題や障害は任期の終わりまで継続して起きることですので、まずは常に違いに気づくことを楽しむ心構えが必要です。そして授業の前には、授業の内容が適切か、理解を求める上でどこかに自分の一方的な思い込みがないか、カウンターパートと打ち合わせをします。

相手の生活文化に親しんでいく間に、ボランティアはしだいに違いを理解し、それを埋める授業ができるようになります。しかし、逆に相手（生徒やカウンターパート）に対して、JOCVの言葉の背景にある生活文化を理解するように求めるのは最後まで難しいことです。相手には、日本体験ができないからです。相互理解を進めるためにはボランティアが自分の成長した環境を理解してもらうためのプロファイル、それもなるべく視覚的なものを持ち歩くことが重要です。

例えば環境教育分野でいえば、「ごみの落ちていない道路」「自分の家の中」「いつも使っているごみ集積場」「分別回収のようす」「学校のコンポスト」「学校農園」などの写真ですが、分野にかかわらず、自分の暮らしや家族・町のようす、これまでの成長の過程、専門分野でやってきたことなど、写真ファイルなどのポートフォリオを持参することをお奨めします。

ハンズオン教材に関するワークショップ

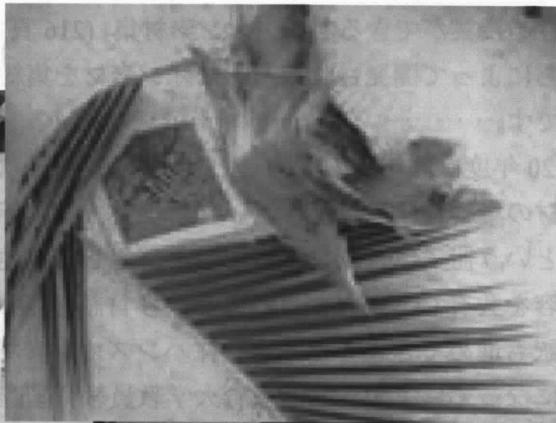
服部 勝憲（鳴門教育大学教員教育国際協力センター長）

松寄 昭雄（鳴門教育大学教員教育国際協力センター）

開発途上国で手に入る素材を活かす
ハンズオン教材の作り方

平成 21 年 3 月

鳴門教育大学教員教育国際協力センター



はじめに

子ども達の学習への興味を喚起し、学習内容についての理解を深めるために、世界各地で授業展開の考え方や方法の改善が求められています。既成の教材がほとんど期待できない開発途上国の教育現場に派遣された多くの青年海外協力隊員の方々は、限られた環境・物資の中で創意工夫を凝らし、教材を作成し、目を見張るような授業を行っています。

子ども達が実際に手にふれ、活動を行うことで学習を進めるような教材をここでは「ハンズオン素材」と総称しました。ところで多くの場合、協力隊員によって開発された優れたハンズオン素材が、次の隊員たちの実践に引き継がれるには、様々な課題があるとお聞きしたことがあります。

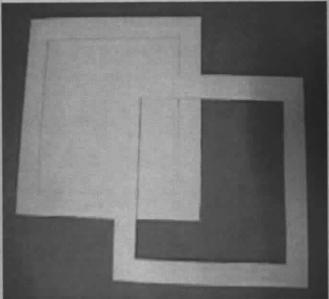
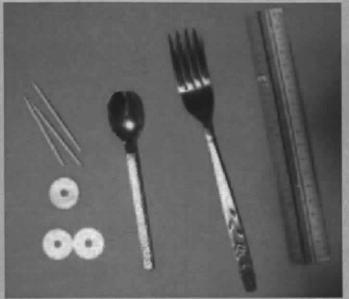
このような状況を改善すべく、鳴門教育大学教員教育国際協力センターでは、文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室の推進する平成19年度「国際協力イニシアティブ」教育協力拠点形成事業に「派遣現職教員の活動の幅を広げるハンズオン素材とその活動展開モデルの開発」プロジェクトを展開しました。それについては、「途上国で手に入る材料で子ども達を引き付ける授業ができるハンズオン素材集」(216頁)として発行しました。その内容の多くは、隊員たちによって開発されたハンズオン素材を集約したもので、各地での活用を願いまとめたものです。

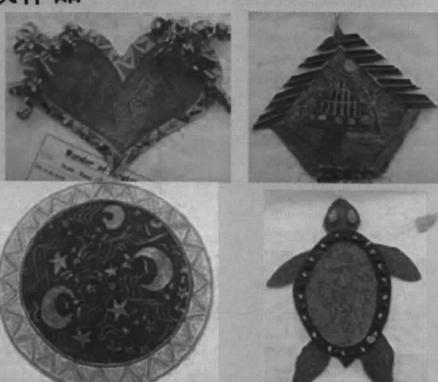
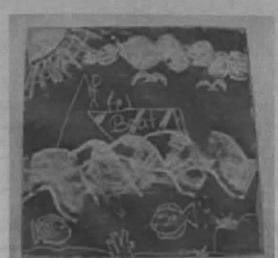
平成20年度は昨年度の集約したものを基盤にして「日本国内での実践知を反映したハンズオン素材の集約」という観点から、「開発途上国で手に入る素材を活かすハンズオン教材の作り方」という冊子にとりまとめました。そして現地で利用しやすいように、また現地の先生とも内容を共有していただけよう、多言語(英語、フランス語、スペイン語、アラビア語)への翻訳も進めてきました。さらにハンズオン素材は本書だけでなく、Web上でも閲覧できるようになっています。鳴門教育大学教員教育国際協力センターのホームページには、ハンズオン素材データベースが稼動しています(<http://incet.naruto-u.ac.jp/>)。他にも筑波大学教育開発国際協力センターの管理する「国際協力イニシアティブ」ライブラリにも同様のハンズオン素材は登録されています(<http://e-archives.criced.tsukuba.ac.jp/>)。本書に掲載しきれなかったハンズオン素材の補足資料や実際に授業を行った指導案、授業の様子を撮影したビデオ映像などは、これらのサイトから確認することができます。興味がある方はぜひ一度確認してみてください。

本書に掲載されているハンズオン素材を活用したり、ご自身が新しいハンズオン素材を開発されたりした際には、次の隊員の方にバトンを渡すためにも、私どもに情報をお寄せください幸いです。

最後になりましたが、隊員としての活動で多忙な中で、本プロジェクトの趣旨に賛同し、ハンズオン素材を提供くださった皆様、ハンズオン素材についてご検討いただいた活動実施者はじめ関係者の皆様に深く感謝いたします。

2009年3月
服部 勝憲

| | | | |
|----------------|--|--|--|
| タイトル | スクラッチの不思議 | | |
| 対象概念 | 描材の重ね塗りによる表現の工夫 | | |
| ねらい | 好きな色を塗り重ねて、身近にある様々な用具で思いのままにスクラッチし、楽しい模様を表現する。 | | |
| ハンズオン 素材と準備 | <p>白ボール紙：1人2枚</p>  <p>18cm 平方の白ボール紙と 2cm 幅の同形の枠を準備しておく。</p> | <p>スクラッチ用具</p>  | <p>描材</p>  <p>(例) パステルクレヨン</p> |
| 必要な材料 | のり | | |
| 製作過程 | <p>(1) うすい色のパステルクレヨンでしっかりと下塗りする。</p>  | <p>(2) 濃い色のパステルクレヨンを1色選び、全体を厚く塗る。</p>  | <p>(3) 定規などで強弱の変化をつけて自由にスクラッチする。</p>  |
| | <p>(4) フォークなどでも違った線や流れを入れる。</p>  | <p>(5) 最後に白ボール紙の枠をのりで貼り付けて完成する。</p>  | |
| 指導の際の ポイント | <ul style="list-style-type: none"> ・パスの重ね塗りの効果を理解させる。 ・様々な用具によるスクラッチから生まれる模様の面白さを発見させる。 | | |
| 留意点 | <ul style="list-style-type: none"> ・パスは薄い色から先に塗り、最後は一番濃い色で均一に塗らせる。 ・用具を回転させたり、太い線や細い線、動きをつける面白さも紹介する。 | | |

| | | | | |
|------|---|--|---|---|
| 事例紹介 | 国名(言語) | パラオ共和国 (英語) | 学年 | 小学校7年生 |
| | 使用素材 | 白ボール紙(四つ切) : 1人1枚, スクラッチ用身辺材 パステルクレヨン, 領縁の装飾用身辺材, ボンド | | |
| | 時間数 | 135分(1コマ45分×3) | | |
| | (1) 1枚のボール紙から好きな形のベースと同形の領縁をつくる。 | (2)ベースに薄い色のクレパスを塗る。 | (3)濃い色のクレパスでさらに上塗りする。 | (4) 身の回りにある道具でスクラッチする。 |
| |  |  |  |  |
| | (5) 領縁を飾る。 | (6)ベースに領縁をつける。 | 完成作品 | |
| |  |  |  | |
| | 国名(言語) | パラオ共和国 (英語) | 学年 | 小学校3年生 |
| | 使用素材 | 白ボール紙(白色) : 1人2枚, パステルクレヨン, フォーク, スプーン, 定規, コイン, 竹串, のり | | |
| | 時間数 | 90分(1コマ45分×2) | | |
| | スプーンでスクラッチする | フォークでスクラッチする | 定規でスクラッチする | |
| |  |  |  | |
| | 完成作品 | | | |
| |  |  |  | |
| 製作者 | 森本 美鶴 (鳴門教育大学 大学院学校教育研究科 国際教育協力コース) | | | |

派遣中・帰国後の活動を充実させるための ICT 研修

—経験を共有する方法—

矢原 弘樹（筑波大学教育開発国際協力研究センター研究員）

讚岐 勝（筑波大学教育開発国際協力研究センター研究員）

使用機材・ソフト一覧

ウェブカメラ・ヘッドセット： いろいろな商品が市販されています。

研修で使用したものは以下の商品です。

社名: Logicool, 品番: QV-61HSSV, 商品名: Qcam Instant Messenger with Headset

Skype (スカイプ) : フリーウェアソフト

<http://www.skype.com/intl/ja/welcomeback/>

Windows ムービーメーカー： Windows マシンにはついています。

ブログ作成： いろいろなブログ開設サイトがあります。

Google blogger <http://www.blogger.com/>

Excite ブログ <http://www.exblog.jp/>

livedoor ブログ <http://blog.livedoor.com/>

Yahoo! ブログ <http://blogs.yahoo.co.jp/>

MSN Spaces <http://spaces.msn.com/>

ココログフリー <http://www.nifty.com/pleasy/cocolog/index.htm>

.....

参考

MSN メッセンジャー： フリーウェアソフト

<http://messenger.msn.co.jp/Xp/Default.aspx>

Yahoo メッセンジャー： フリーウェアソフト

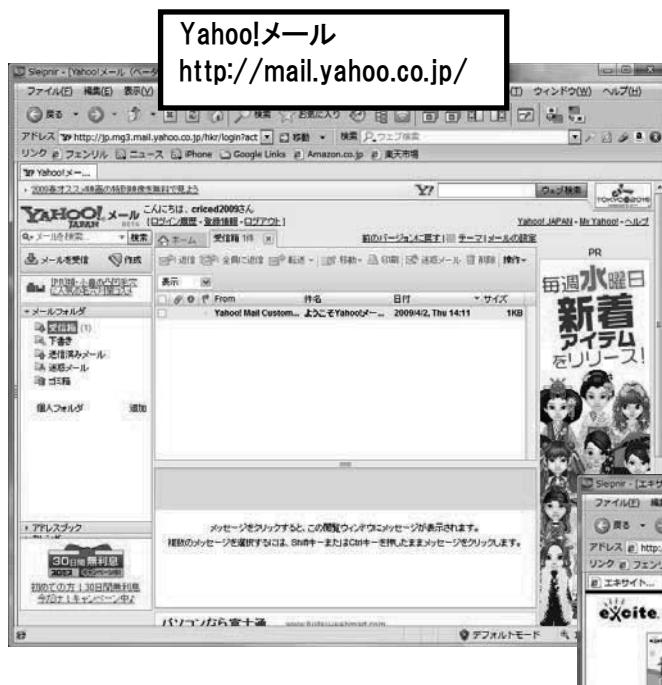
<http://messenger.yahoo.co.jp/>

eメールアカウントを作ろう！！

eメールを使うとインターネットを通して文章を交換できます。

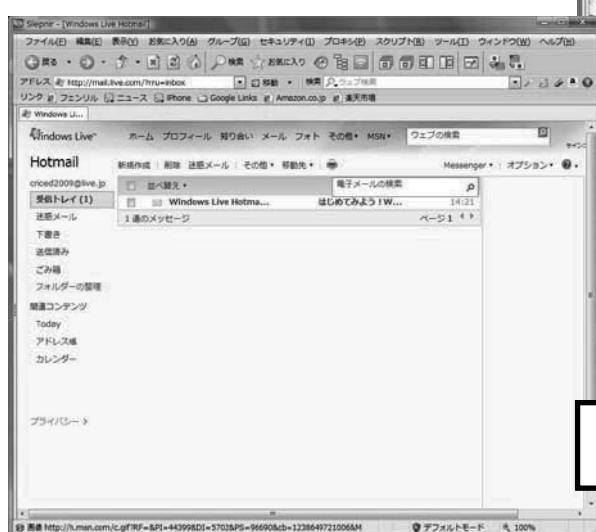
多くのポータルサイト(Yahoo! Japan, MSN Japan, Livedoor, etc.)ではフリーメールのアカウントを無料で作成できます

フリーメールはインターネット上に存在するメールサーバ上に受信メールを保存します



eメール作成に必要なもの：
インターネット接続

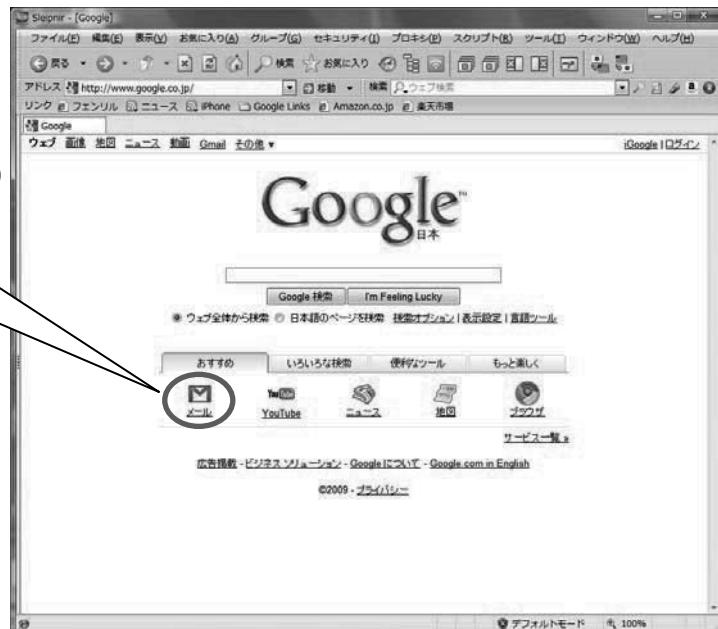
Excite メール
http://www.excite.co.jp/?login=mail



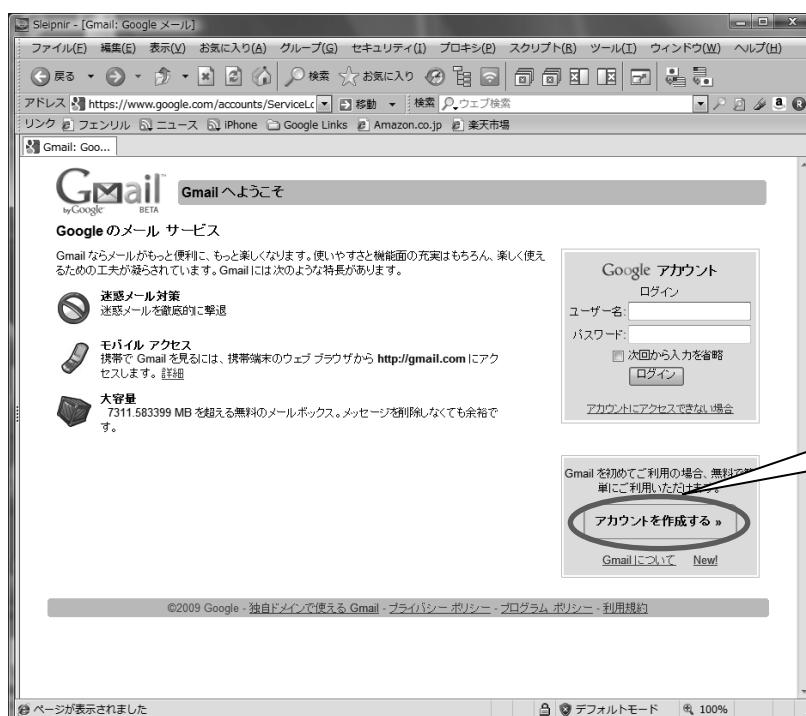
Windows Live Hotmail
http://mail.live.com/

ポータルサイトにアクセス (Gmailの場合) <http://www.google.co.jp/>

1. <http://www.google.co.jp/> にアクセスし、「メール」をクリック

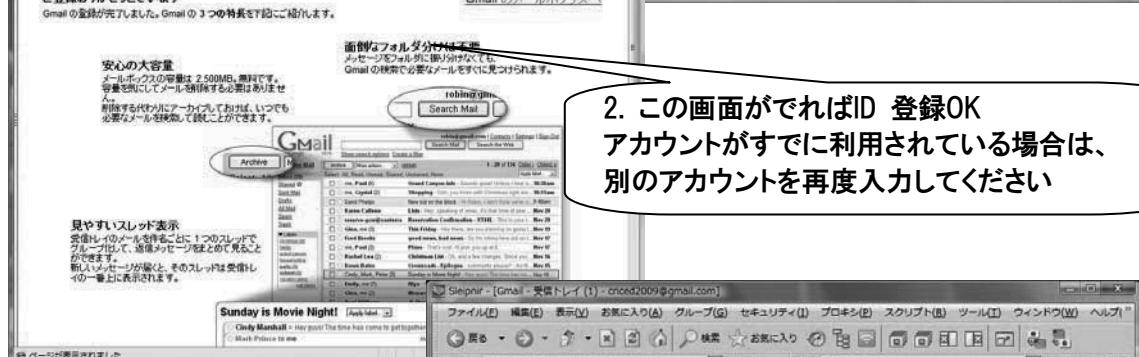
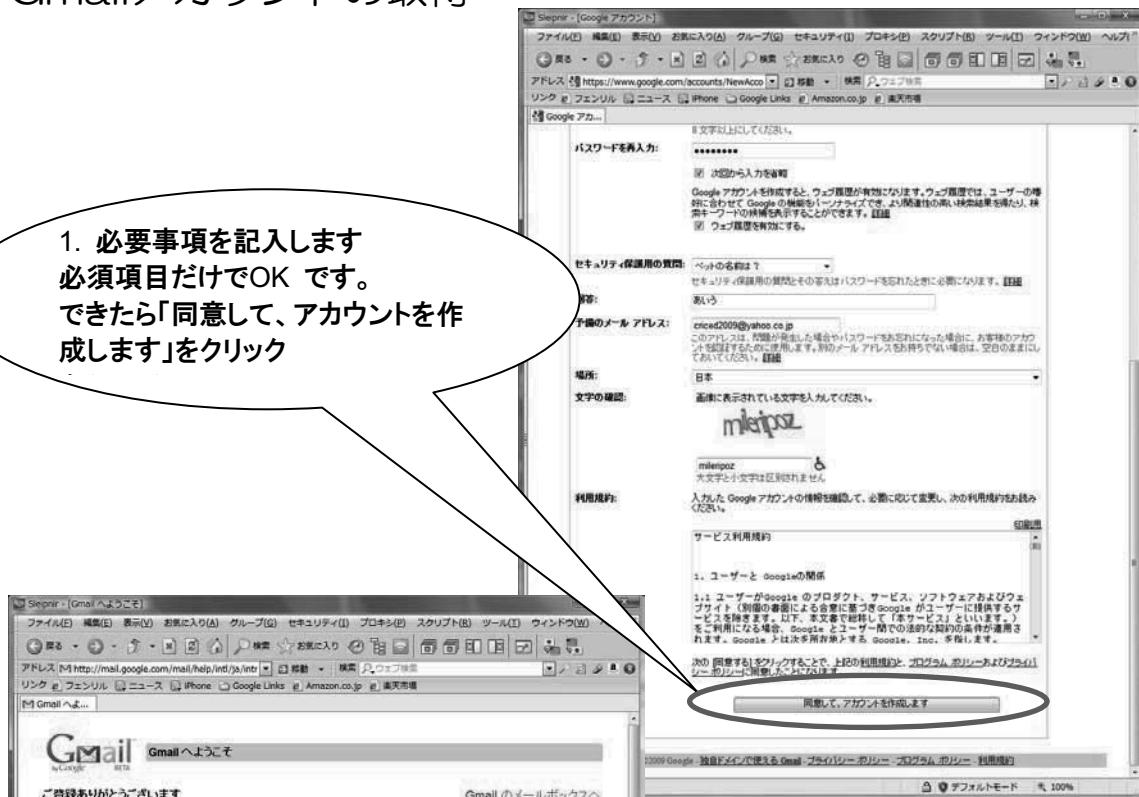


2. 「Gmailアカウント登録」をクリック

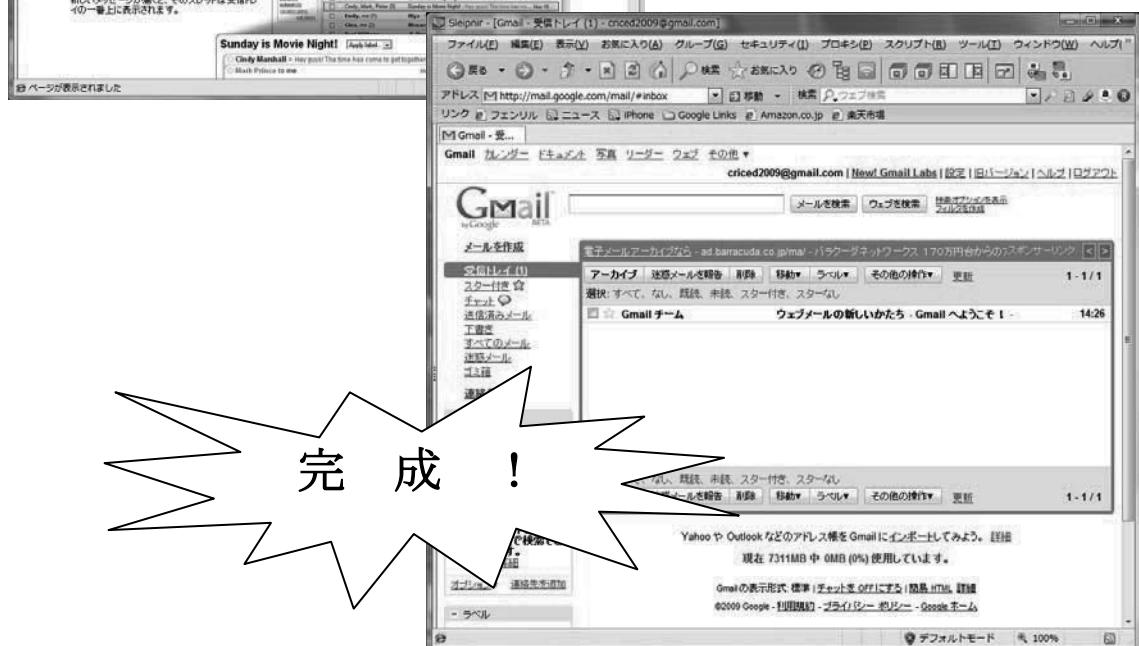


Gmailアカウントの取得

1. 必要事項を記入します
必須項目だけでOKです。
できたら「同意して、アカウントを作成します」をクリック



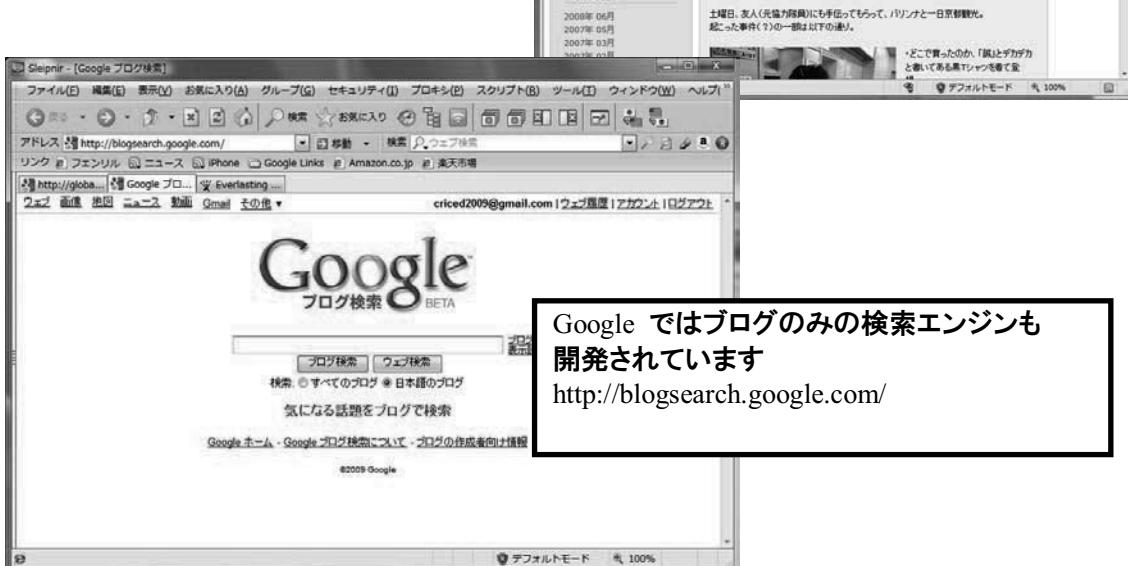
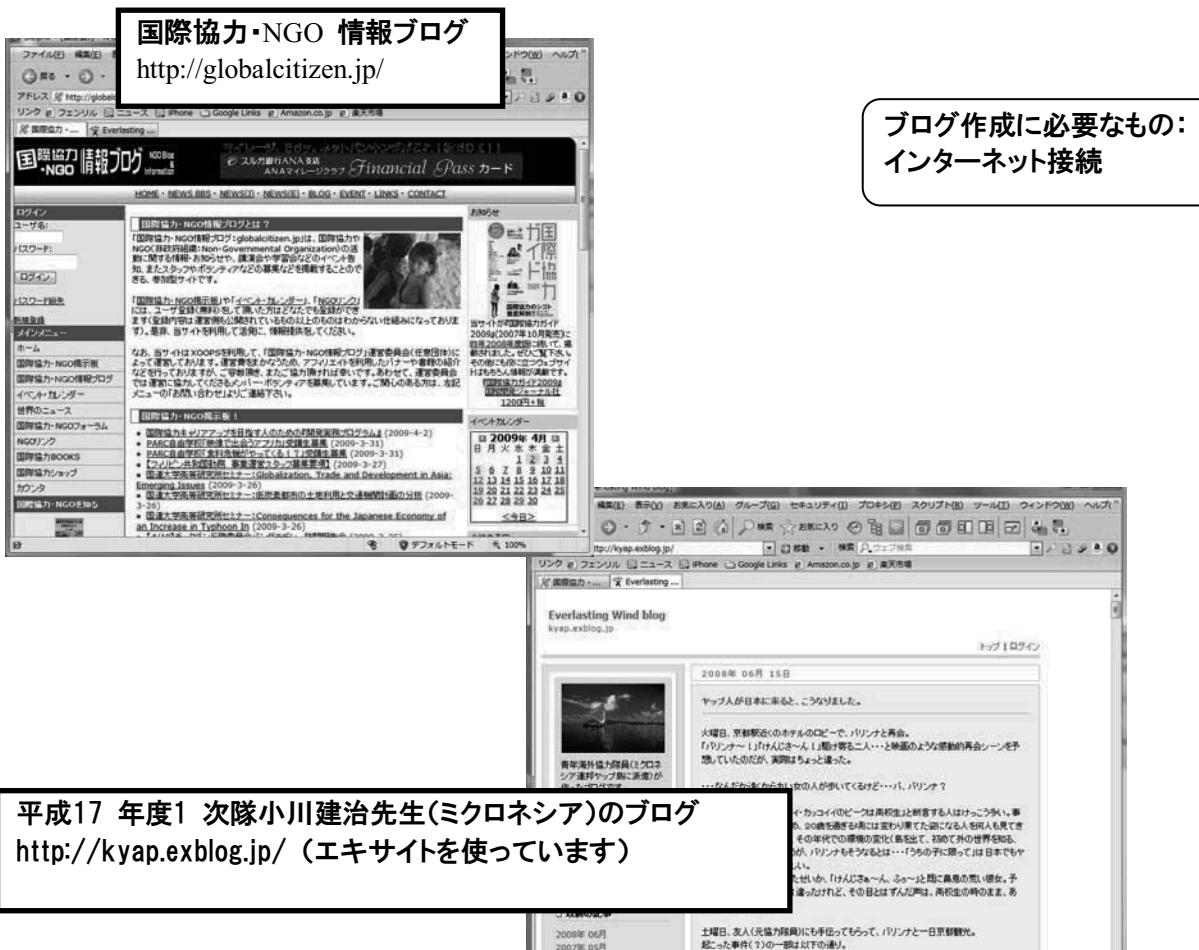
2. この画面がでればID登録OK
アカウントがすでに利用されている場合は、
別のアカウントを再度入力してください



完 成 !

ブログを作ろう！！

ブログ (Weblog) は、インターネット上で構築できる日記形式のWeb サイトです
Web ページを作成するために必要なHTML 言語の知識がなくても簡単に作成できます
多くのポータルサイト(Yahoo! Japan, MSN Japan, Livedoor, etc.)では無料で作成できます



ブログを開設しよう（exciteブログの場合）



1. <http://www.excite.co.jp/> にアクセスし、「ブログ」をクリック

A login dialog box titled 'ようこそ、ゲストさん' (Hello Guest) is shown. It has fields for 'エキサイトID:' and 'パスワード:', and a 'ログイン' (Login) button. A speech bubble points to the 'Blog Top' button, which is highlighted with a red oval.

2. 「ブログトップ」をクリック

エキサイトブログトップページ
http://www.exblog.jp/

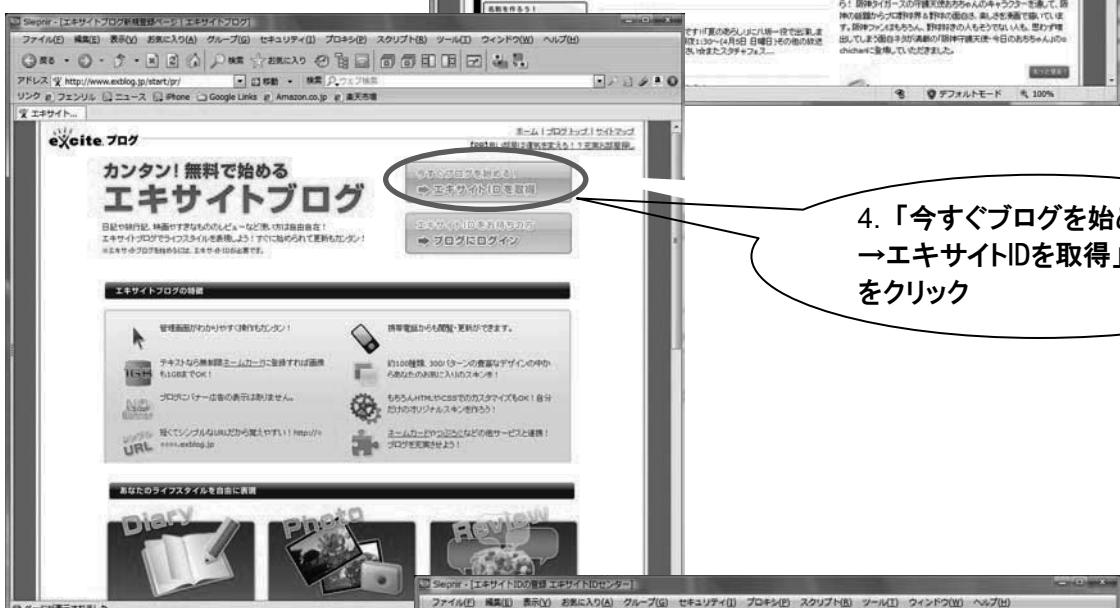


ブログ-2

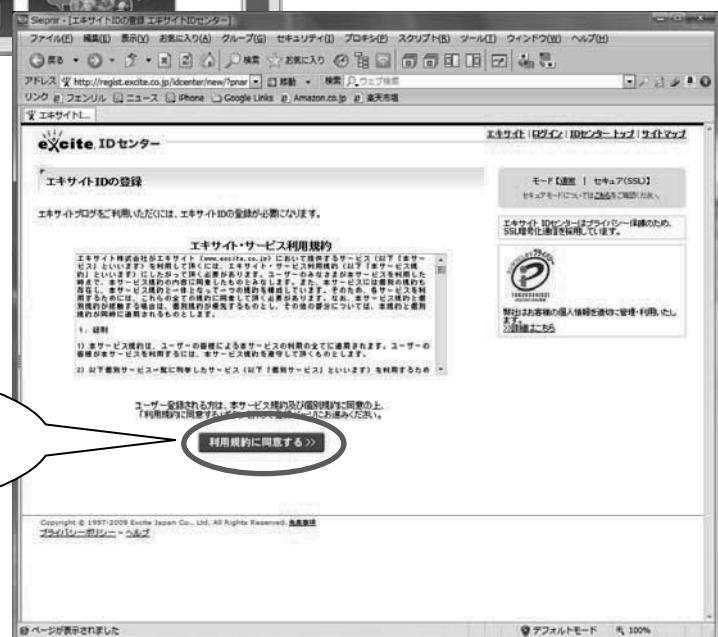
3. 「新規ユーザー登録」
をクリック(エキサイトIDを既に持
っている場合は省略可)



4. 「今すぐブログを始める！
→エキサイトIDを取得」
をクリック



5. エキサイト・サービス利用規
約を読み「利用規約に同意する
>>」をクリック



エキサイトID... パスワード

パスワード(再入力) ****

秘密の質問と答え

パスワード忘れてしまった時に使用します。秘密の質問に正しく答えることができます。ご本人であるみなさま、新しいパスワードの設定を行なうことがあります。

秘密の質問 ベットの名前をカタカナで
例:ベットの名前をカタカナで

秘密の答え あい
例:340

お客様情報

| | | |
|----------|-------------------------|--|
| 名前(ローマ字) | 姓: YAHARA 名: HIROKI | |
| 性別 | ○女性 ■ 男性 | |
| 生年月日 | 2009年4月1日 | パスワードを忘れてしまった際に、秘密の質問に対する答えに加えて、入力が必要となります。 |
| 郵便番号 | 3050005 | 郵便番号(タグ)がなければ「郵便番号検索」ボタンをクリックしてください。 |
| Eメールアドレス | cricted2009@yahoo.co.jp | このアドレスは、エキサイトから登録へ「登録確認用URL」を送信するためのものとして使用されます。必ず「登録確認用URL」をクリックして、登録完了まで、エキサイトへ一切責任を負いかねます。また、個人情報の漏洩・盗難・紛失等の場合は、立即お問い合わせください。 |
| ニュースレター | 受け取る | ブリック、キーワード情報やエキサイトの軽いサービス情報、広告をメールでお届けします。 |

画像認証

画像の数字は不正な大量登録撲滅のための認証に使用します。お手数をお掛けしますが、ご協力お願いします。

画像の数字: 22377

エキサイトIDを登録>>

6. 必要事項を記入します。
できたら「エキサイトIDを登録>>」
をクリック

エキサイトIDの登録

以下の内容を登録情報として登録いたします。「エキサイトIDを登録」ボタンを押してください。

エキサイトID cricted-2009@excite.co.jp

秘密の質問と答え

秘密の質問 ベットの名前をカタカナで
秘密の答え あい

お客様情報

| | | |
|----------|-------------------------|-------------------------|
| 名前(ローマ字) | 姓: YAHARA 名: HIROKI | |
| 性別 | 男性 | |
| 生年月日 | 2009年4月1日 | |
| 郵便番号 | 3050005 | |
| Eメールアドレス | cricted2009@yahoo.co.jp | 登録完了メールが送付されますので注意ください。 |
| ニュースレター | ニュースレター選択 | |

エキサイトIDを登録>>

7. 確認画面で、入力情報を確
認し、よろしければ「エキサイトID
を登録>>」をクリック。
内容を変更する場合は、「<<内
容を修正」をクリック。

エキサイトIDの登録

エキサイトIDの登録が完了しました。

ご登録ありがとうございます。エキサイトID cricted-2009の登録が完了しました。
ご登録用メールアドレスにエキサイトID登録完了のお知らせメールを送信致しましたので、ご確認ください。

エキサイトID cricted-2009
エキサイトメールアドレス cricted-2009@excite.co.jp
ご登録用メールアドレス cricted2009@yahoo.co.jp

さっそく cricted-2009さんのブログを作成しましょう。
「<<戻る」をクリックしてお読みください。

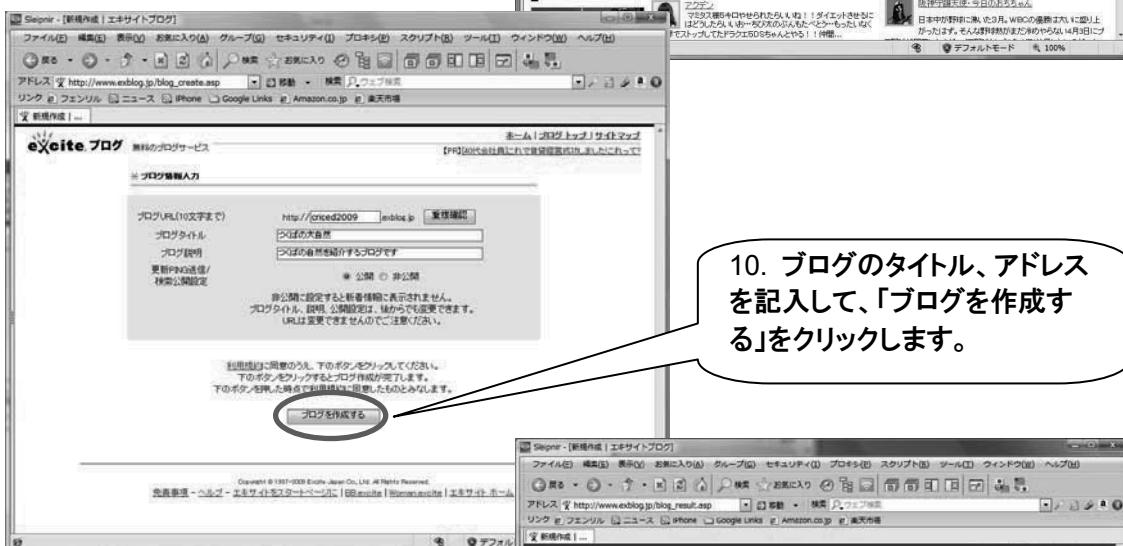
次へ

Copyright © 1997-2009 Excite Japan Co., Ltd. All Rights Reserved. 全商標
プライバシーポリシー ヘルプ

8. この画面が出たら、
エキサイトIDの登録に
成功しています。
「次へ」をクリック

9. 「ブログを新規作成」
をクリック

エキサイトブログトップページ
<http://www.exblog.jp/>



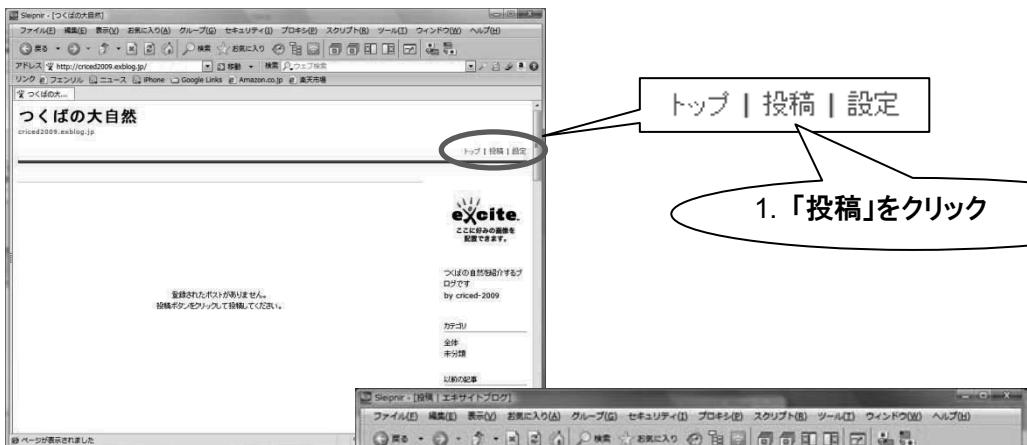
10. ブログのタイトル、アドレス
を記入して、「ブログを作成す
る」をクリックします。

11. この画面が出たら、ブログ
の作成に成功しています。
「マイブログへ行く」をクリック



完 成 !

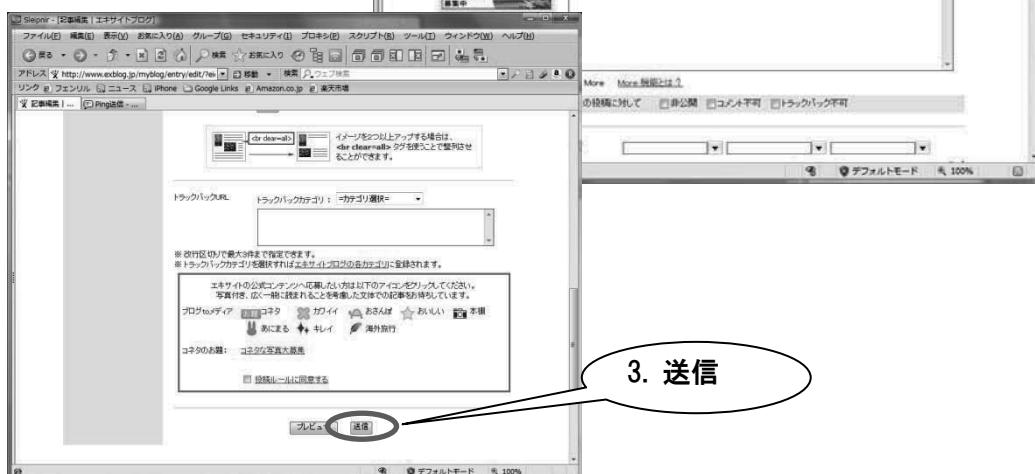
記事を投稿しよう



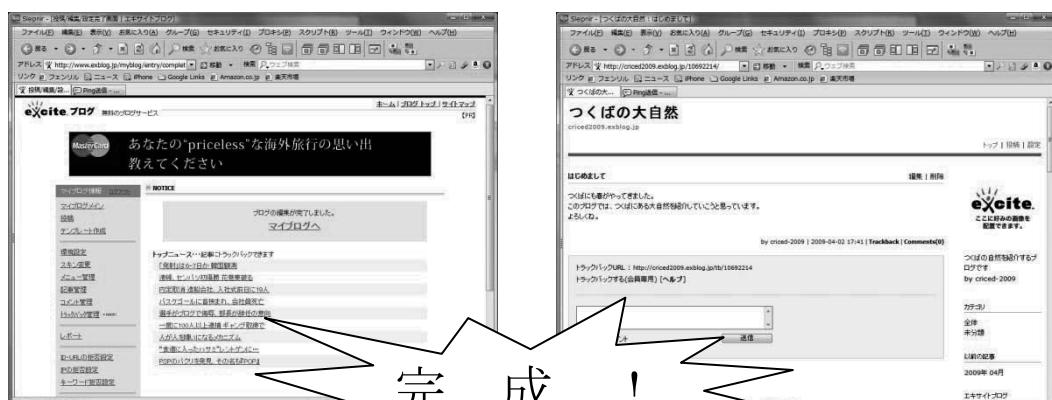
トップ | 投稿 | 設定

1. 「投稿」をクリック

2. 投稿内容を書き込みます

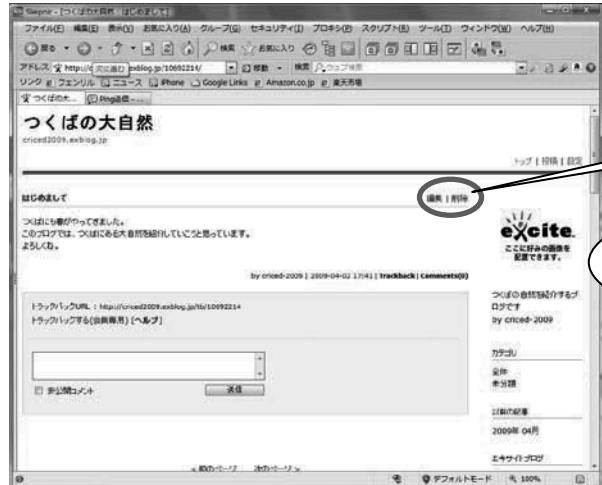


3. 送信



完 成 !
ブローグー 6

画像を投稿しよう



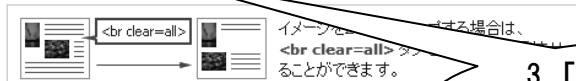
編集 | 削除

1. 画像を入れようとするコメントの「編集」をクリック



2. 選択したコメントを再編集できるようになります。

画像アップロード



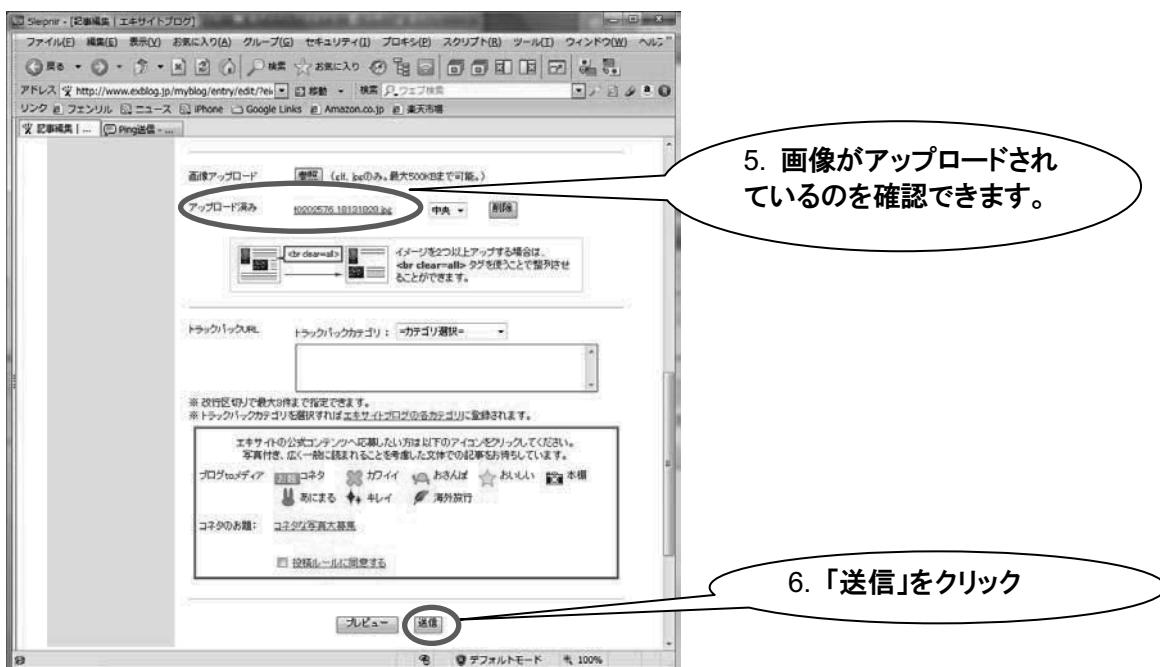
3. 「画像アップロード」メニューにある「参照」をクリックします。

* 画像 アップロード

画像選択 画像URL



4. 「参照」をクリックして、投稿したい画像を選択し、「アップロード」をクリックする。



記事を編集・修正しよう

希望例：表示される画像が大きすぎる。もっと小さくしたい！

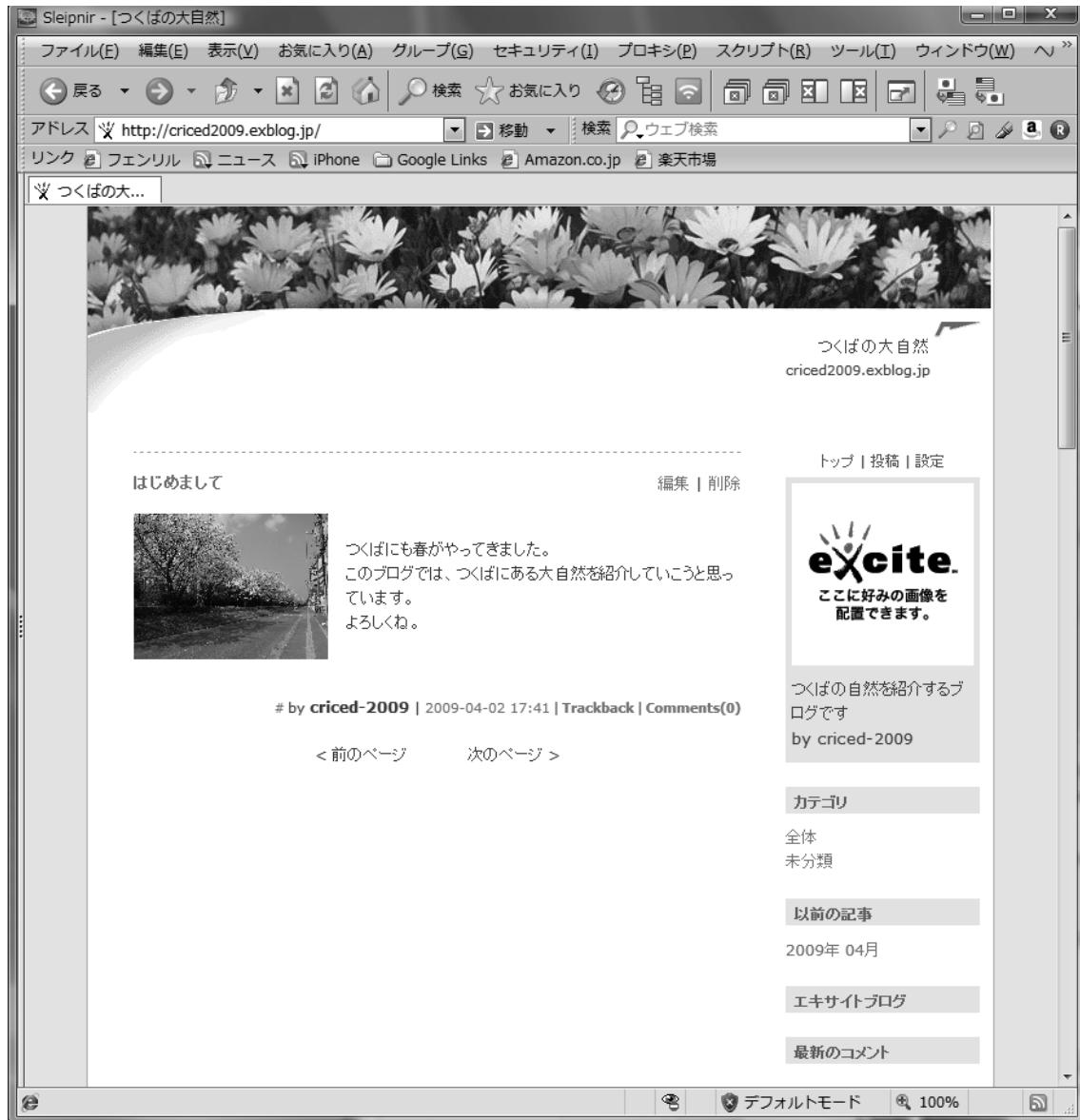


ブログをかっこよくしよう（ブログの設定）

希望例：大自然を感じるブログにしたい！



完 成 !



参考

エキサイト以外のポータルサイトでも無料でブログを作成できます。サイトによってデザイン等、設定できるものが異なりますので、色々試してみてください。以下、参考ブログサイトです。

- <http://blog.livedoor.jp/>
- <http://blog.goo.ne.jp/>
- <http://blogs.yahoo.co.jp/>



Windows ムービーメーカーは、パソコンにビデオ映像（及び静止画）を取り込み、さらに取り込んだ映像（及び静止画）をつなぎ合わせて1本の映像に編集・保存できます。任地において映像教材を作成したり、任地での活動を映像でまとめたりすることに使えます。

Windows ムービーメーカーを起動しよう

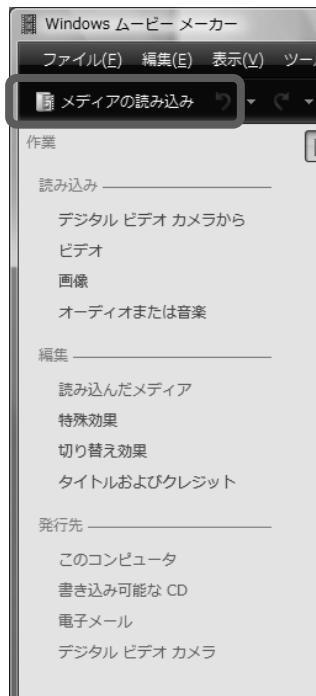
パソコンの画面左下の、①「スタート」をクリックし、②「すべてのプログラム(P)」にカーソルを移動し、③「Windows ムービーメーカー」をクリックします。



ビデオ映像をつなぎ合わせて編集しよう

1. パソコンに保存されているビデオ映像を、ムービーメーカーに取り込みます。

①「メディアの読み込み」ボタンをクリック



②ビデオ「鯉」を選んで、「読み込み」ボタンをクリック



註：「鯉」を選んで、
ダブルクリックしてもかまいません

再生ボタンをクリ
ックすると、取り込
んだ映像が再生さ
れます。

※再生画面に映像
が表示されていな
いときには、画面中
央の「鯉」をクリッ
クしてください



③同様に、①と②を繰り返して「噴水」、「信号」、「水鳥」、「樹木」、「映画」を読み込みます。

2. ビデオ映像をつなぎ合わせます。

- ①ムービーメーカーに取り込まれた映像が表示されています。

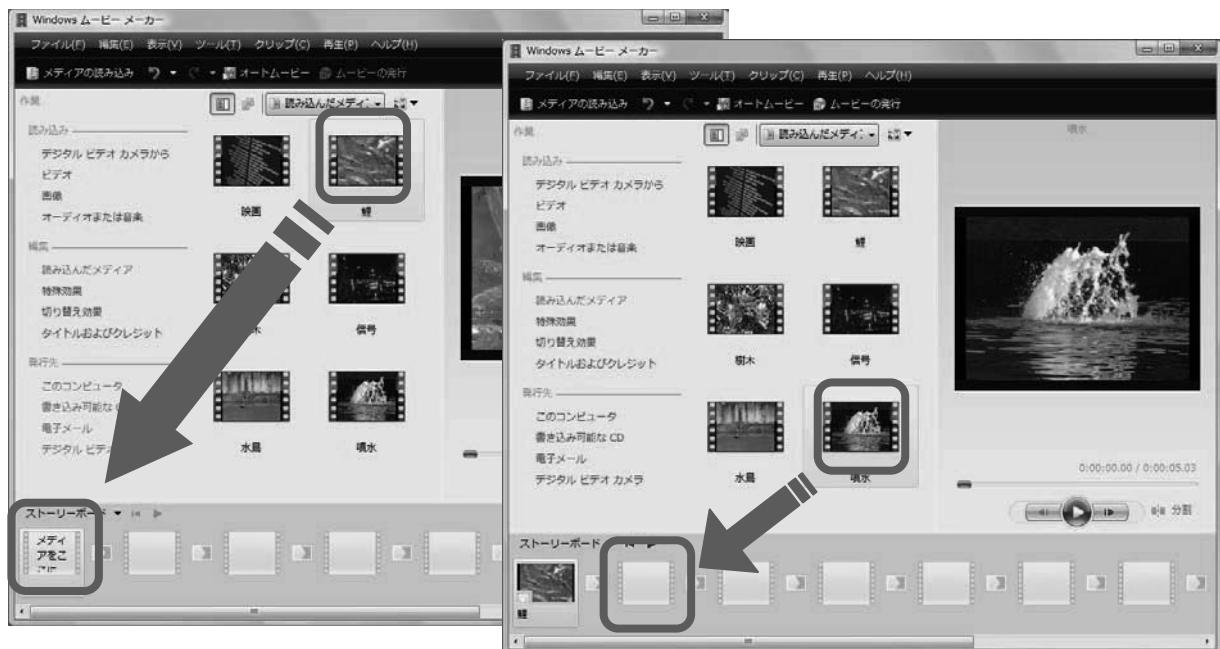


- ②「鯉」、「噴水」、「信号」、「水鳥」、「映画」の順につなぎ合わせます。

まず、①の一覧から「鯉」を選びます。

次に、「鯉」を画面左下の枠にドラッグします。

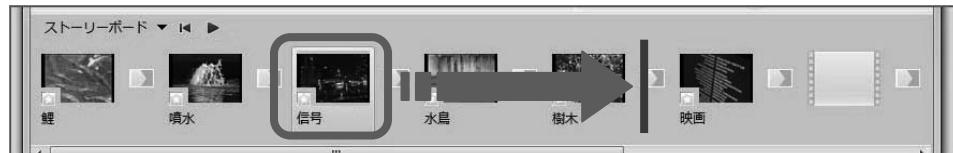
同様に、①の一覧から「噴水」を選び、
二番目の枠にドラッグします。



「信号」、「水鳥」、「樹木」、「映画」についても同様に枠にドラッグします。

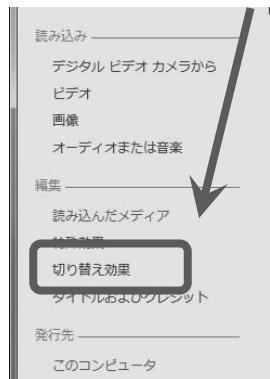


※③ビデオをつなぐ順序を、「信号」、「水鳥」、「樹木」から「水鳥」、「樹木」、「信号」へ変えたいときは、画面下に表示されている「信号」を「映画」の左横へドラッグします。



3. ビデオ映像を切り替えるときの効果をつけます。

①「編集」の「切り替え効果」をクリック



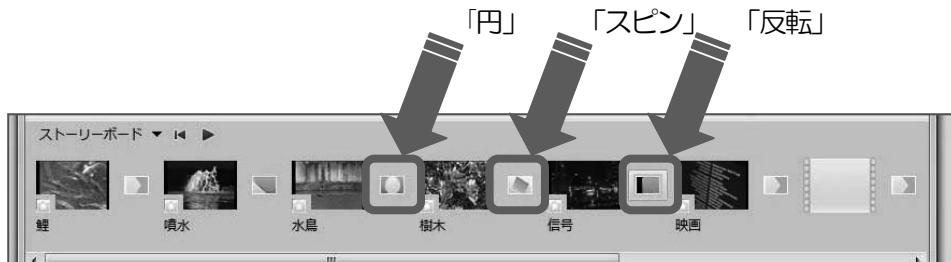
②「噴水」の映像を、ページを右上へめくるようにしながら「水鳥」の映像へと切り替えます。

画面中央に表示される「切り替え効果」一覧の中にある、「ページカール」を

画面下の「噴水」と「水鳥」の間の枠にドラッグします。

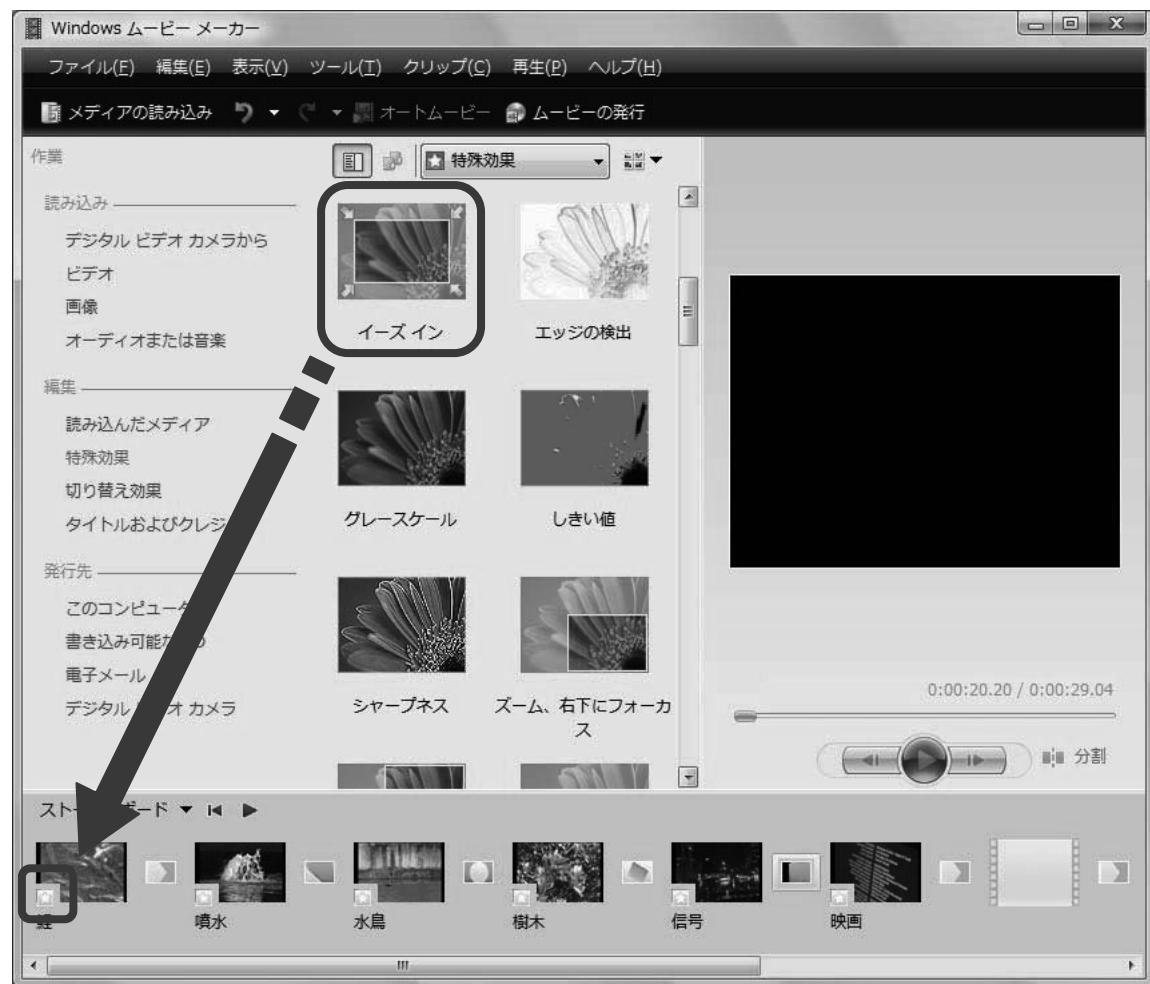


③同様に、ビデオ切替え効果「円」を「水鳥」と「樹木」の間、
 ビデオ切替え効果「スピン」を「樹木」と「信号」の間、
 ビデオ切替え効果「反転」を「信号」と「映画」の間、の枠にそれぞれドラッグします。

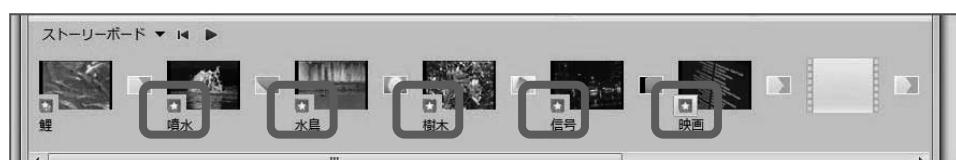


4. ビデオ映像に特殊効果をつけます。

「鯉」の映像に、「イーズイン」及び「フェードアウト(黒へ)」をつけます。

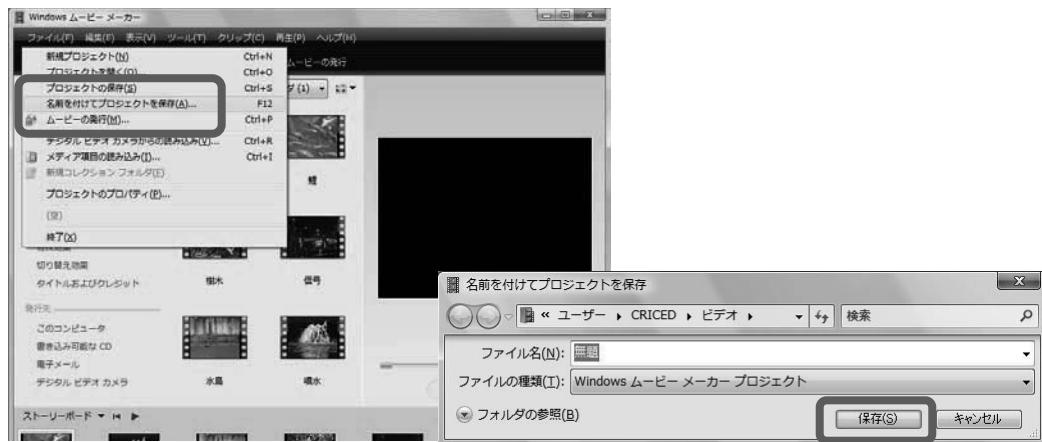


「噴水」「水鳥」「樹木」「信号」「映画」についても、同様に、ビデオ特殊効果「フェードイン(黒から)」をつけます。



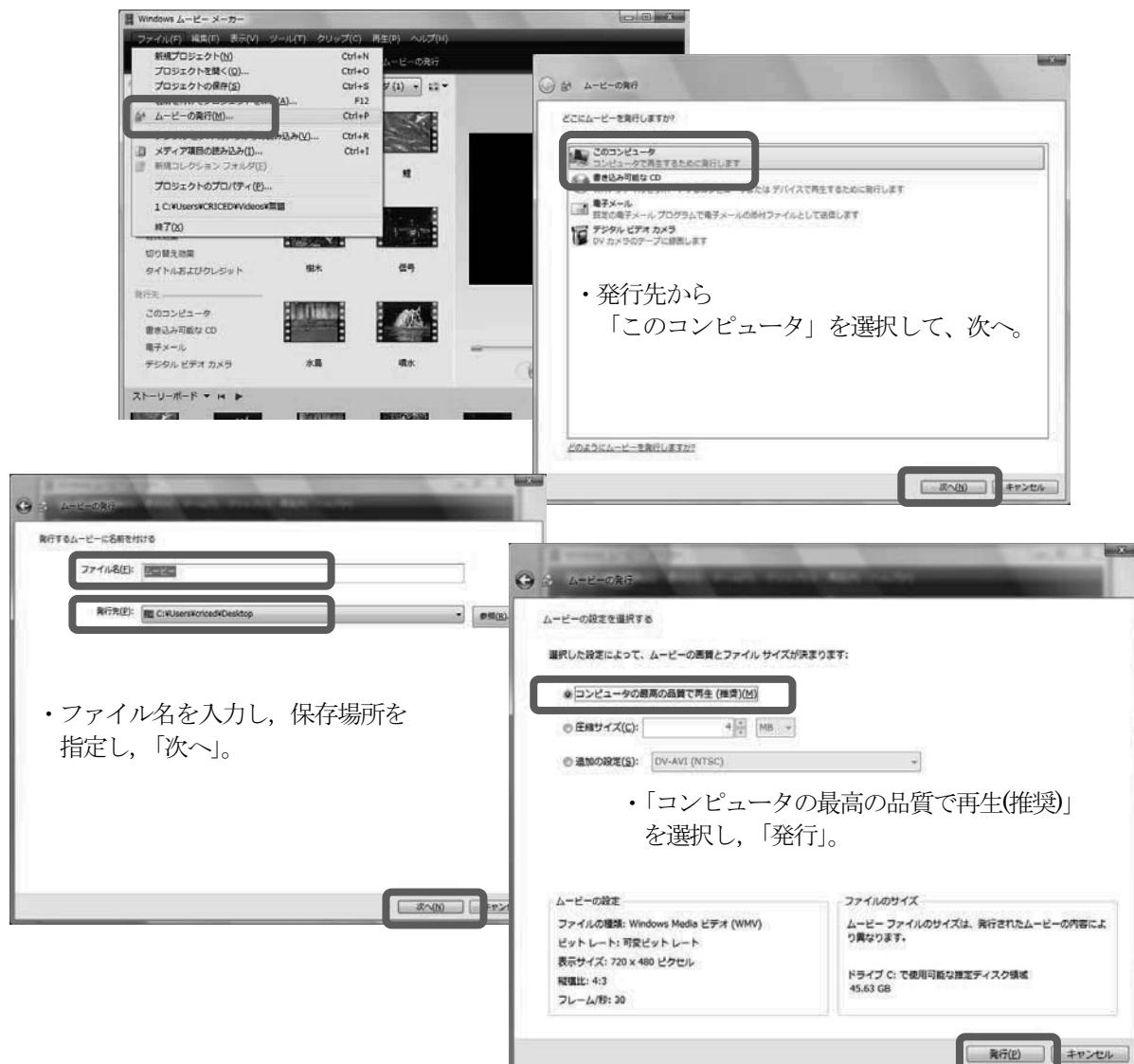
5. ファイルの保存 (Windows ムービーメーカーでは「プロジェクトの保存」と呼びます)

「ファイル」から「名前を付けてプロジェクトを保存」をクリックし、Word 文書や一太郎文書のように Windows ムービーメーカーのファイルとして保存します。



6. 映像ファイルとして保存

「ファイル」から「ムービーの発行」をクリックし、映像ファイルとして保存します。



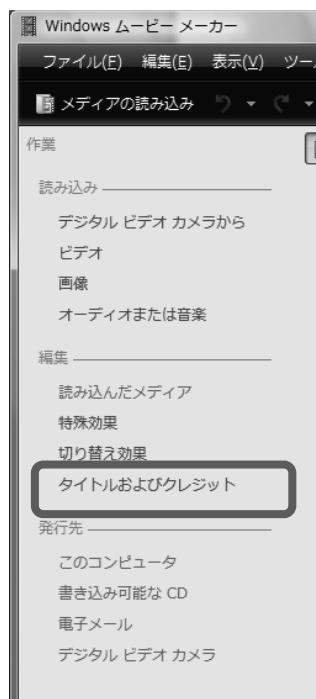
7. タイトルとクレジットをつけます。

「鯉」の映像に重ねてタイトルをつけてみましょう。

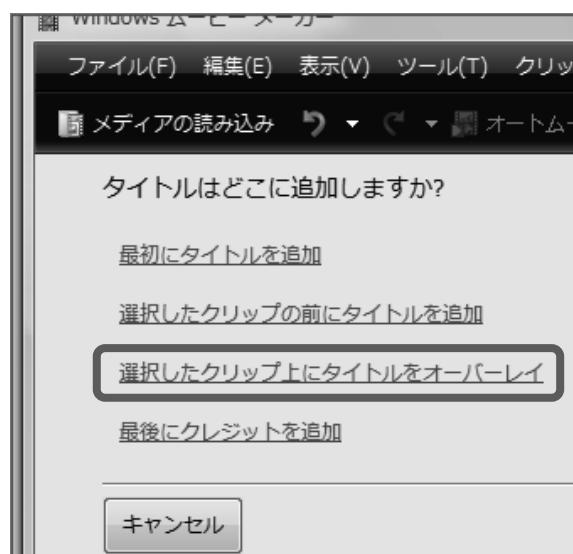
- ① 画面下の「鯉」をクリック



- ② 「編集」から「タイトルおよびクレジット」をクリック



- ③ 「選択したクリップ上にタイトルをオーバーレイ」をクリック



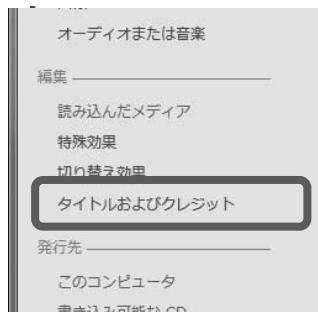
- ④ タイトルを入力します



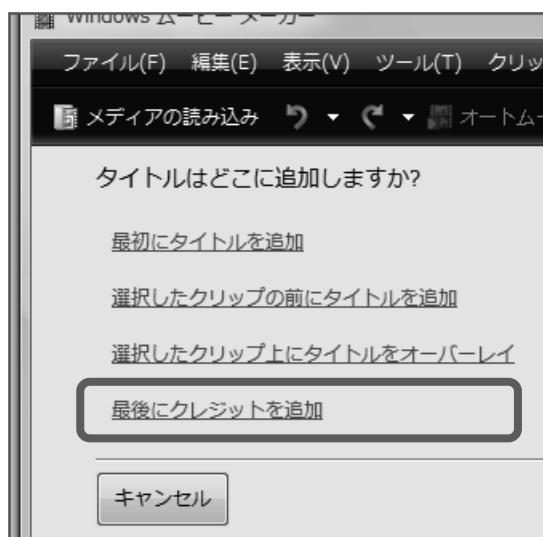
- ⑤ 「タイトルの追加」をクリック。

クレジットをつけてみましょう。

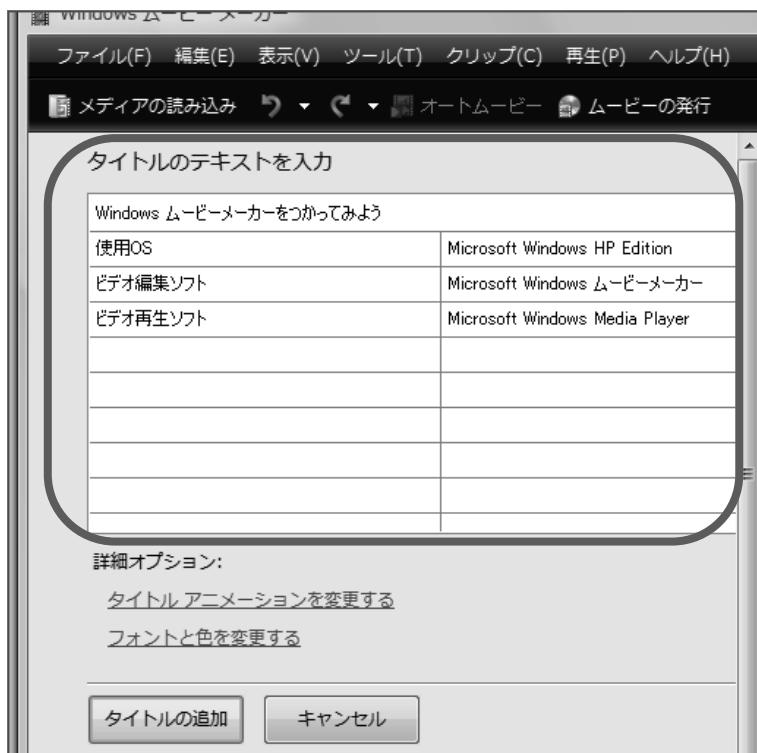
- ① 「編集」から「タイトルおよびクレジットの作成」をクリック



- ② 「最後にクレジットを追加」をクリック



- ③ クレジットを入力します



- ④ 「タイトルの追加」をクリック。

8. 全体の微調整をします。

- ① 「ストーリーボード」をクリック。画面下の表示が「タイムライン」に切り替わります。



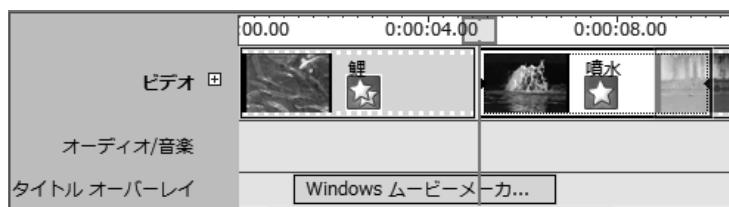
②タイトルを表示する時間帯を変更する



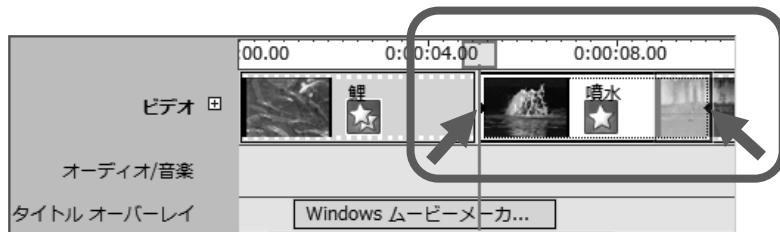
③映像の中から必要な箇所だけを採用する（トリミング）

「噴水」の先頭部分を削除してみましょう。

映像を選択します。



「クリップ」の両脇をドラッグすることでトリミングできます。



「5. ファイルの保存」「6. 映像ファイルとして保存」を再度しましょう。完成です!!

動画をムービーメーカーに取り込もう (参考)

Windows XP の場合

1. デジタルビデオカメラのIEEE1394 端子とパソコンのIEEE1394 端子を、 IEEE1394 用のケーブルで接続します。 (SDカードを使うこともできます)
2. Windows ムービーメーカーを起動し、画面左のムービー作業の「1. ビデオの取り込み」の中から「ビデオデバイスからの取り込み」をクリック。
3. 取り込んだビデオファイルに対する名前と保存先を指定し、「次へ」をクリック。
4. 「コンピュータの最高の品質で再生 (推奨)」を選択し、「次へ」をクリック。
※目的に応じて画面に表示される指示に従って選択してください。
5. 取り込み方法 (テープ全体を自動 or テープの一部を手動) を選択し、「取り込み中にプレビューを表示する」にチェックを入れ、「次へ」をクリック。
6. プレビュー表示しながら取り込みが始まる。
7. 画面中央のコレクションに、いくつかの映像 (クリップ) とムービーメーカーでは呼びます) が並びます。

Windows Vista の場合

以降は、**ビデオ映像をつなぎ合わせて編集しよう**を参照ください。

補足： Windows ムービーメーカーは、音声についてアフレコが可能ですが。テロップを入れることもできますが、表示位置や大きさの調節には制限があります。また、画面を分割したりすることはできません。本格的なビデオ編集ツールとして、「Adobe Premiere Pro」があります。このソフトでは、もっと詳細な編集を行うことができます。

補足：ハイビジョン映像について

最近ハイビジョンビデオカメラが普及しています。

WindowsXP のムービーメーカーでは、ハイビジョン映像の編集はできないようです。

HD ハイビジョン画質 Windows Vista Business ムービーメーカーで画像が読み込めない

SD 標準画質 Windows Vista Business ムービーメーカーで画像が読み込めない

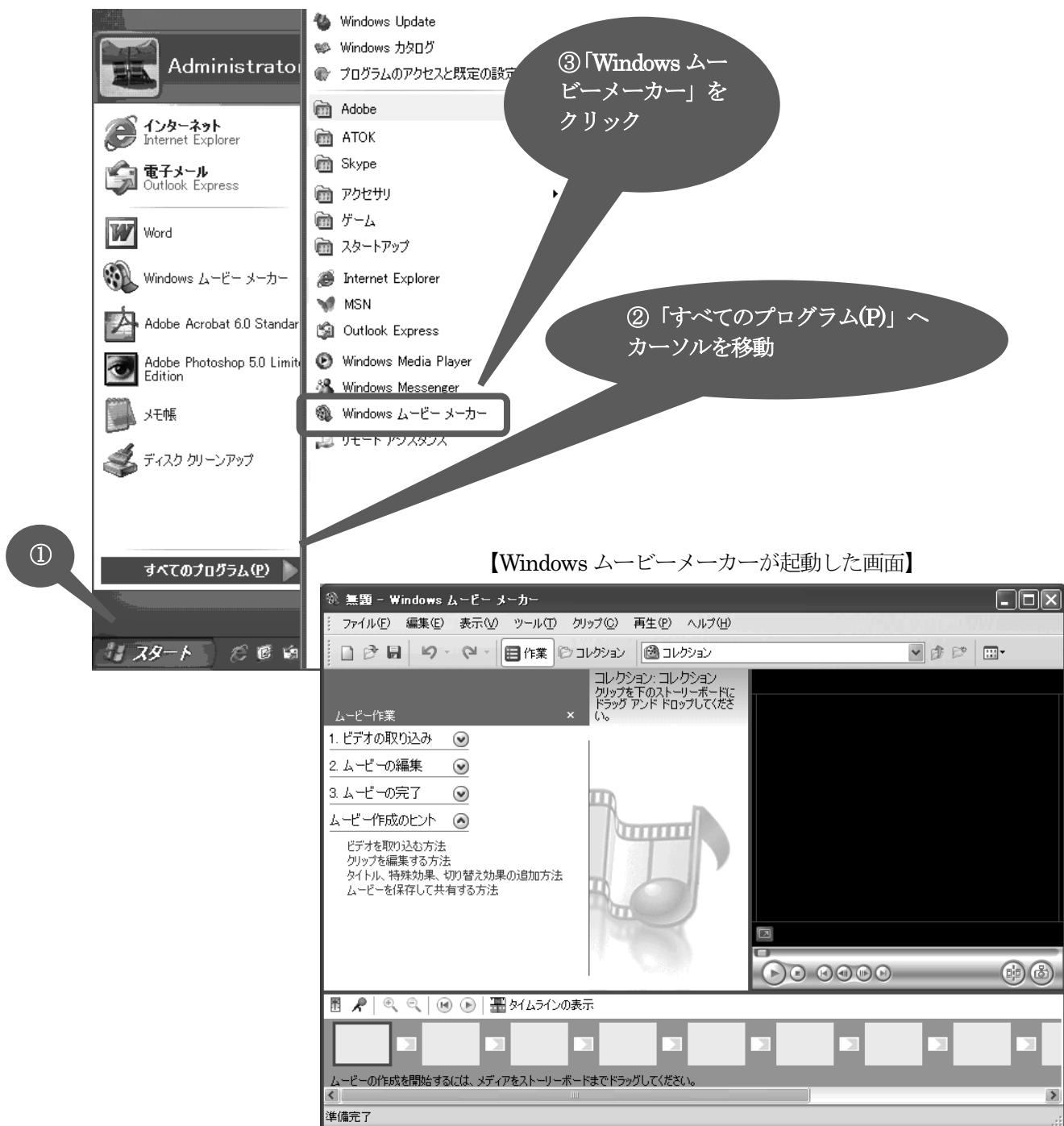
メーカー間の互換性については確認できていない



Windows ムービーメーカーは、パソコンにビデオ映像（及び静止画）を取り込み、さらに取り込んだ映像（及び静止画）をつなぎ合わせて1本の映像に編集・保存できます。任地において映像教材を作成したり、任地での活動を映像でまとめたりすることに使えます。

Windows ムービーメーカーを起動しよう

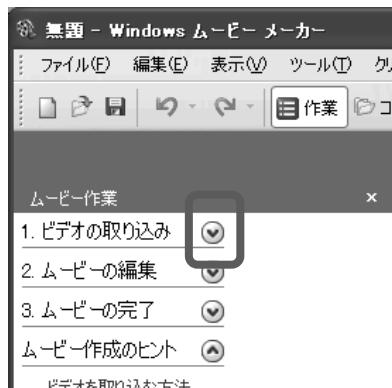
パソコンの画面左下の、①「スタート」をクリックし、②「すべてのプログラム(P)」にカーソルを移動し、③「Windows ムービーメーカー」をクリックします。



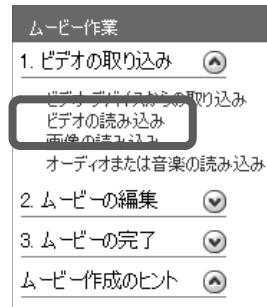
ビデオ映像をつなぎ合わせて編集しよう

1. パソコンに保存されているビデオ映像を、ムービーメーカーに取り込みます。

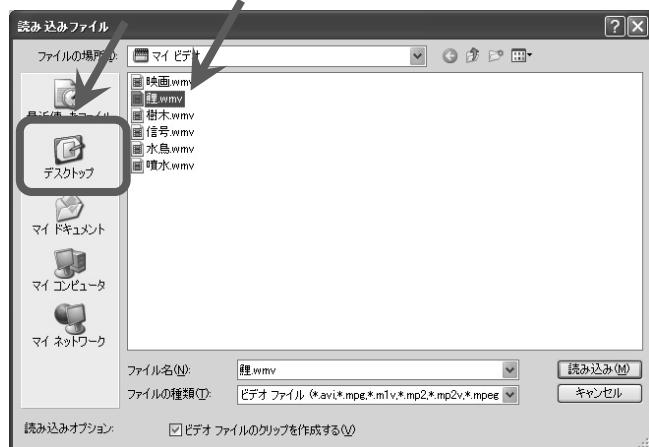
①「ビデオの取り込み」の右横のボタンをクリック



②「ビデオの読み込み」をクリック



③ファイルの場所を「デスクトップ」にし、「鯉」をクリック



註：「鯉」を選んで、
右下の「読み込み」を
ダブルクリックしてもかまいません

再生ボタンをクリックすると、取り込んだ映像が再生されます。

※再生画面に映像が表示されていないときには、画面中央の「鯉」をクリックしてください



④同様に、②と③を繰り返して「噴水」、「信号」、「水鳥」、「樹木」、「映画」を読み込みます。

2. ビデオ映像をつなぎ合わせます。

- ①ムービーメーカーに取り込まれた映像等の一覧は、「コレクション」右横のボタンをクリックすると表示されます。



- ②「鯉」、「噴水」、「信号」、「水鳥」、「樹木」、「映画」の順につなぎ合わせるとします。

まず、①のコレクションの一覧から「鯉」を選びます。

次に、画面中央の「鯉」を画面左下の枠にドラッグします。



同様に、①のコレクションの一覧から「噴水」を選び、二番目の枠にドラッグします。



「信号」、「水鳥」、「樹木」、「映画」についても同様に枠にドラッグします。

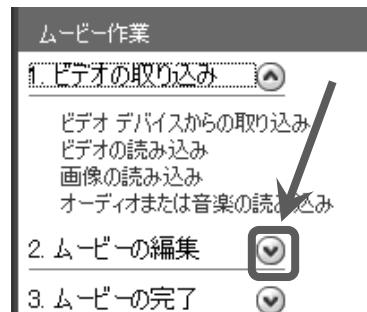


※③ビデオをつなぐ順序を、「信号」、「水鳥」、「樹木」から「水鳥」、「樹木」、「信号」へ変えたいときは、画面下に表示されている「信号」を「映画」の左横へドラッグします。

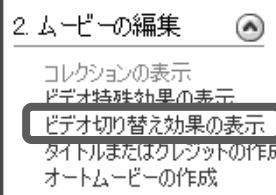


3. ビデオ映像を切り替えるときの効果をつけます。

①「ムービーの編集」の右横のボタンをクリック



②「ビデオ切り替え効果の表示」をクリック

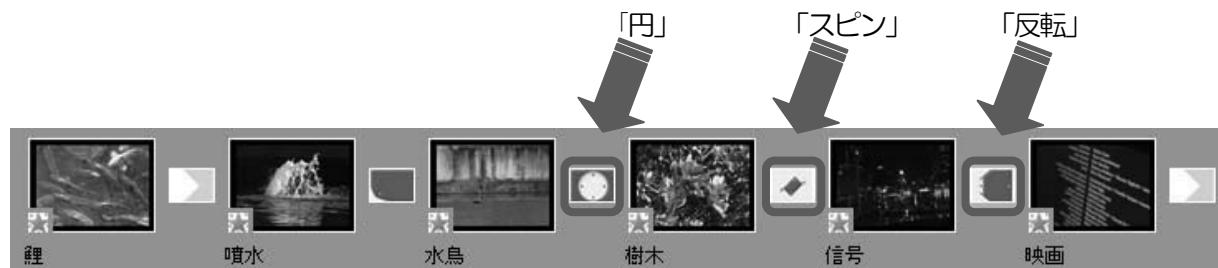


③「噴水」の映像を、ページを右上へめくるようにしながら「水鳥」の映像へと切り替えます。

画面中央に表示される「ビデオ切替え効果」一覧の中にある、「ページカール」を画面下の「噴水」と「水鳥」の間の枠にドラッグします。



④同様に、ビデオ切替え効果「円」を「水鳥」と「信号」の間、
 ビデオ切替え効果「スピン」を「信号」と「映画」の間、
 ビデオ切替え効果「反転」を「樹木」と「映画」の間にそれぞれドラッグします。



4. ビデオ映像に特殊効果をつけます。

「鯉」の映像に、「イーズイン」及び「フェードアウト(黒へ)」をつけています。



①まず、画面下の「鯉」を右クリック。

②次に、「ビデオ特殊効果の表示」をクリック。



③「イーズイン」をドラッグし、
 「鯉」にかぶせる。

④同様に、「フェードアウト(黒へ)」をドラッグし、鯉にかぶせる。

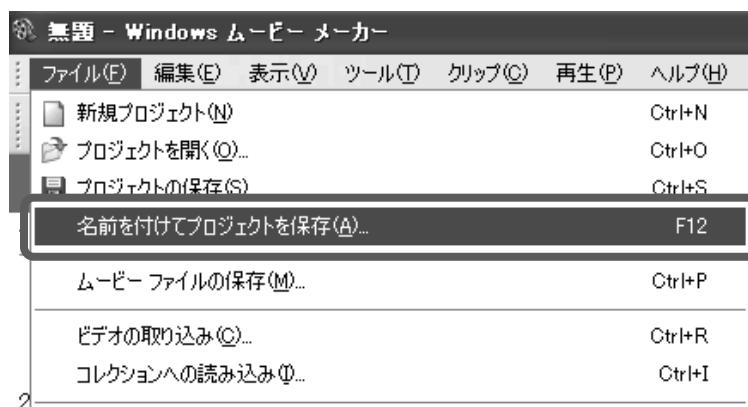
「噴水」についても、同様に、ビデオ特殊効果「フェードイン(黒から)」をつきます。



5. ファイルの保存（Windows ムービーメーカーでは「プロジェクトの保存」と呼びます）



「ファイル」から「名前を付けてプロジェクトを保存」をクリックし、Word 文書や一太郎文書のように Windows ムービーメーカーのファイルとして保存します。



6. 映像ファイルとして保存



6. 映像ファイルとして保存

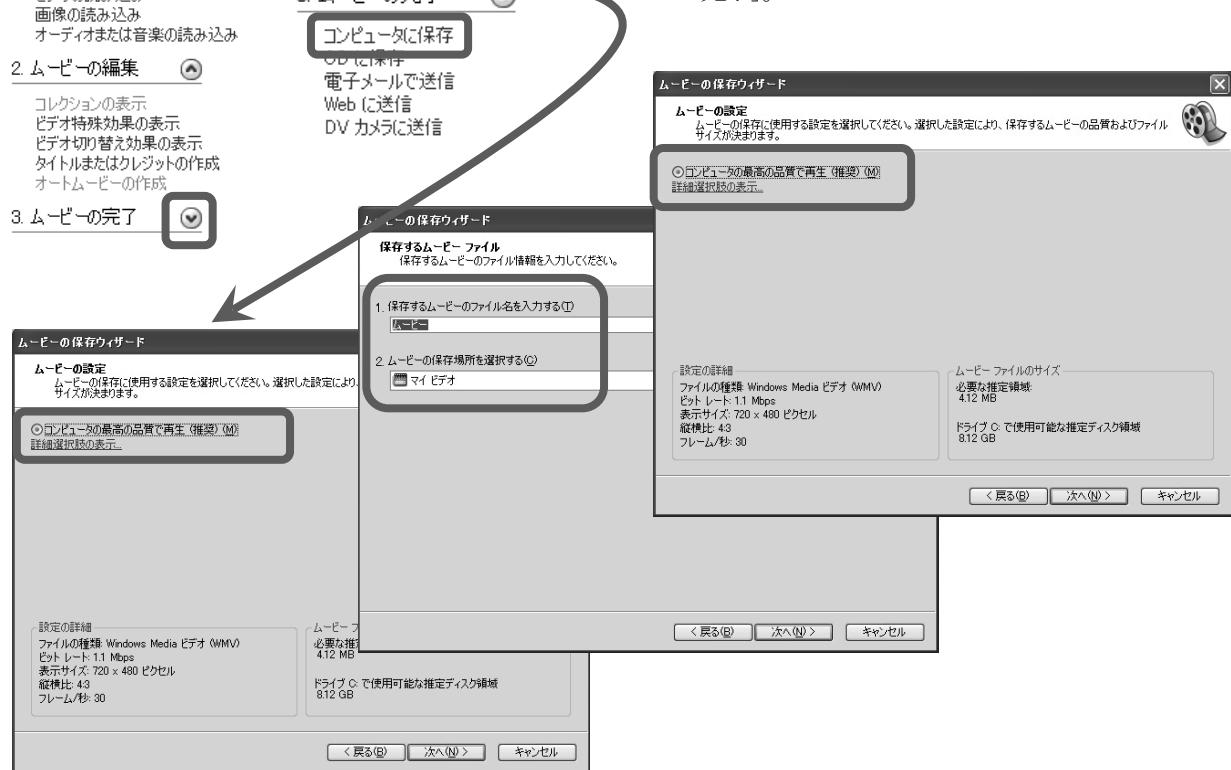
ムービー作業

1. ビデオの取り込み

ビデオ デバイスからの取り込み
ビデオの読み込み

3. ムービーの完了

 - 「ムービーの完了」から「コンピュータに保存」をクリック。
 - 「コンピュータの最高の品質で再生(推奨)」を選択し、「次へ」。
 - ファイル名を入力し、保存場所を指定し、「次へ」。
 - 「[完了]をクリックしたときに、ムービーを再生する」にチェックし「完了」。



7. タイトルとクレジットをつけます。

「鯉」の映像に重ねてタイトルをつけてみましょう。

- ① 画面下の「鯉」をクリック



- ② 「ムービーの編集」から「タイトルまたはクレジットの作成」をクリック

2. ムービーの編集

コレクションの表示
ビデオ特殊効果の表示
ビデオ切り替えカウント表示
タイトルまたはクレジットの作成
オートムービーの作成

- ③ 「選択したクリップにタイトル」をクリック

タイトルはどこに追加しますか?

ムービーの最初にタイトルを追加する。

ストーリーボードで選択したクリップの前にタイトルを追加する。

ストーリーボードで選択したクリップにタイトルを追加する。

ストーリーボードで選択したクリップの後にタイトルを追加する。

ムービーの最後にクレジットを追加する。

キャンセル

- ④ タイトルを入力します

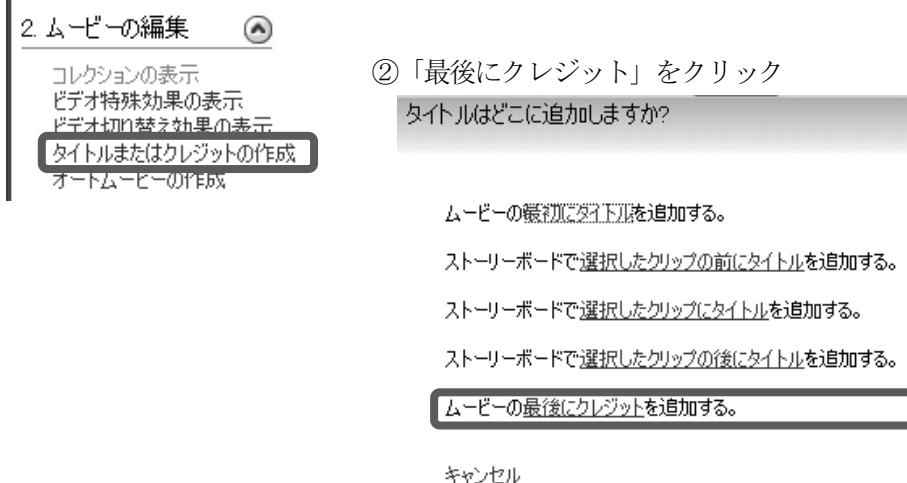
タイトルのテキストを入力
タイトルをムービーに追加するには、【終了】をクリックしてください。



- ⑤ 「終了、タイトルをムービーに追加する」をクリック。

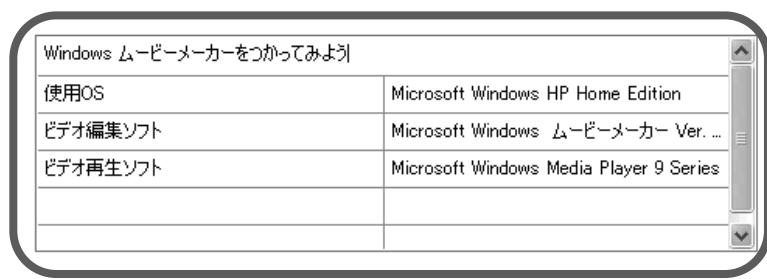
クレジットをつけてみましょう。

- ① 「ムービーの編集」から「タイトルまたはクレジットの作成」をクリック



- ③ クレジットを入力します

タイトルのテキストを入力
タイトルをムービーに追加するには、[終了] をクリックしてください。



- ④ 「終了」をクリック。

8. 全体の微調整をします。

- ① 「タイムラインの表示」をクリック。画面下の表示がタイムラインに切り替わる。



- ② タイトルを表示する時間帯を変更する



「タイトルオーバーレイ」のタイトル部分をクリック



左端をドラッグして「鯉」の途中から開始に変更



右端もドラッグして「噴水」の途中で終了に変更

③映像の中から必要な箇所だけを採用する（トリミング）

「噴水」の先頭部分を削除してみましょう。

映像を選択して、再生します。



再生しながら、「クリップ」から「開始トリミングポイントの設定」をクリック。

（再生しながら、「Ctrl+Shift+I」の方が素早くポイントを設定できます）



これで、開始トリミングポイント設定位置以前の「噴水」部分は編集画面上から消去されました。

※ 同様に、映像を再生しながら「終了トリミングポイントの設定」または「Ctrl+Shift+0」を行うと、設定ポイント位置以降の「噴水」部分は編集画面上から消去されます。

「5. ファイルの保存」「6. 映像ファイルとして保存」を再度しましよう。完成です!!

動画をムービーメーカーに取り込もう (参考)

1. デジタルビデオカメラの IEEE1394 端子とパソコンの IEEE1394 端子を、 IEEE1394 用のケーブルで接続します。
2. Windows ムービーメーカーを起動し、画面左のムービー作業の「1. ビデオの取り込み」の中から「ビデオデバイスからの取り込み」をクリック。
3. 取り込んだビデオファイルに対する名前と保存先を指定し、「次へ」をクリック。
4. 「コンピュータの最高の品質で再生（推奨）」を選択し、「次へ」をクリック。
※目的に応じて画面に表示される指示に従って選択してください。
5. 取り込み方法（テープ全体を自動 or テープの一部を手動）を選択し、「取り込み中にプレビューを表示する」にチェックを入れ、「次へ」をクリック。
6. プレビュー表示しながら取り込みが始まる。
7. 画面中央のコレクションに、いくつかの映像（「クリップ」とムービーメーカーでは呼びます）が並びます。

以降は、[ビデオ映像をつなぎ合わせて編集しよう](#)を参照ください。

補足： Windows ムービーメーカーは、音声についてアフレコが可能です。テロップを入れることもできますが、表示位置や大きさの調節には制限があります。また、画面を分割したりすることはできません。本格的なビデオ編集ツールとして、「Adobe Premiere Pro」があります。このソフトでは、もっと詳細な編集を行うことができます。



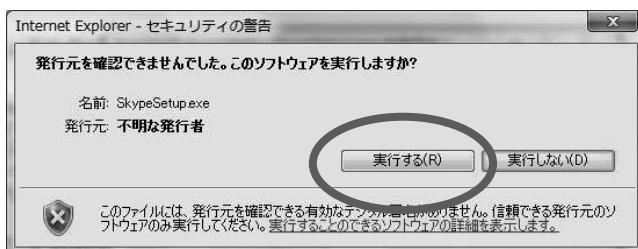
Skype（スカイプ）は、インターネットを使ったIP電話ソフト（ソフト代無料）です。利用者同士なら通話料無料で世界中の相手と通話ができます。派遣隊員同士や帰国隊員との情報交換・連絡をはじめ、ご家族との連絡にも使えます。また、最後に紹介するネットミーティングを使えば、派遣先の教室と日本の教室をつないで、インターネットライブ授業も行えます。

Skype をインストールしよう

1. 「<http://www.skype.com/intl/ja/>」にアクセスし、「Skype のダウンロード」をクリック



2. 「ファイルのダウンロードセキュリティの警告」画面で「実行」をクリック



3. 「実行する」をクリック。Skypeのインストールが始まります。

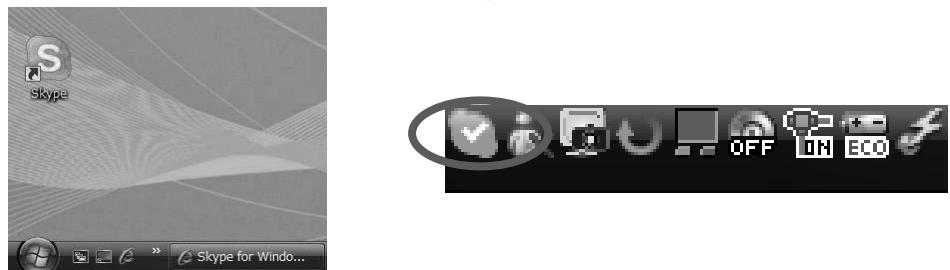


4. このようなウィンドウが出てきた場合は「続行」をクリック。

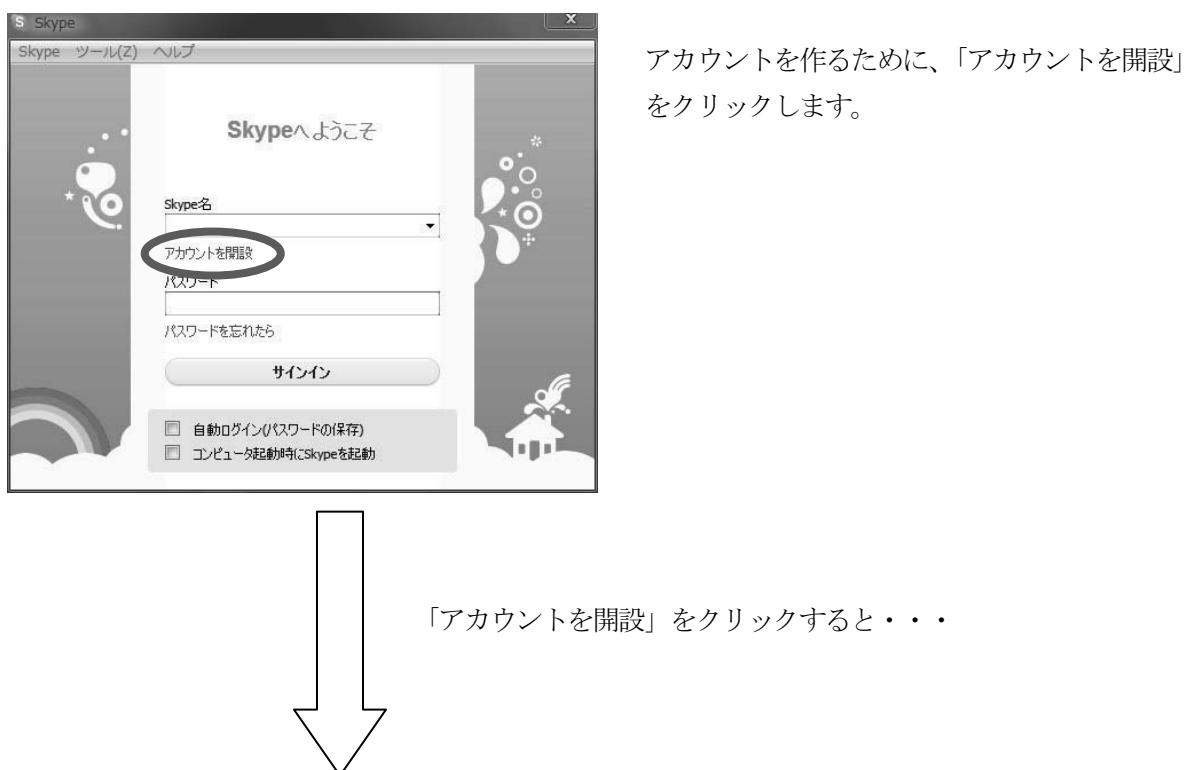
5. 使う言語として「日本語」を選択。
使用に関する規約を読み、「同意してインストール」をクリック。



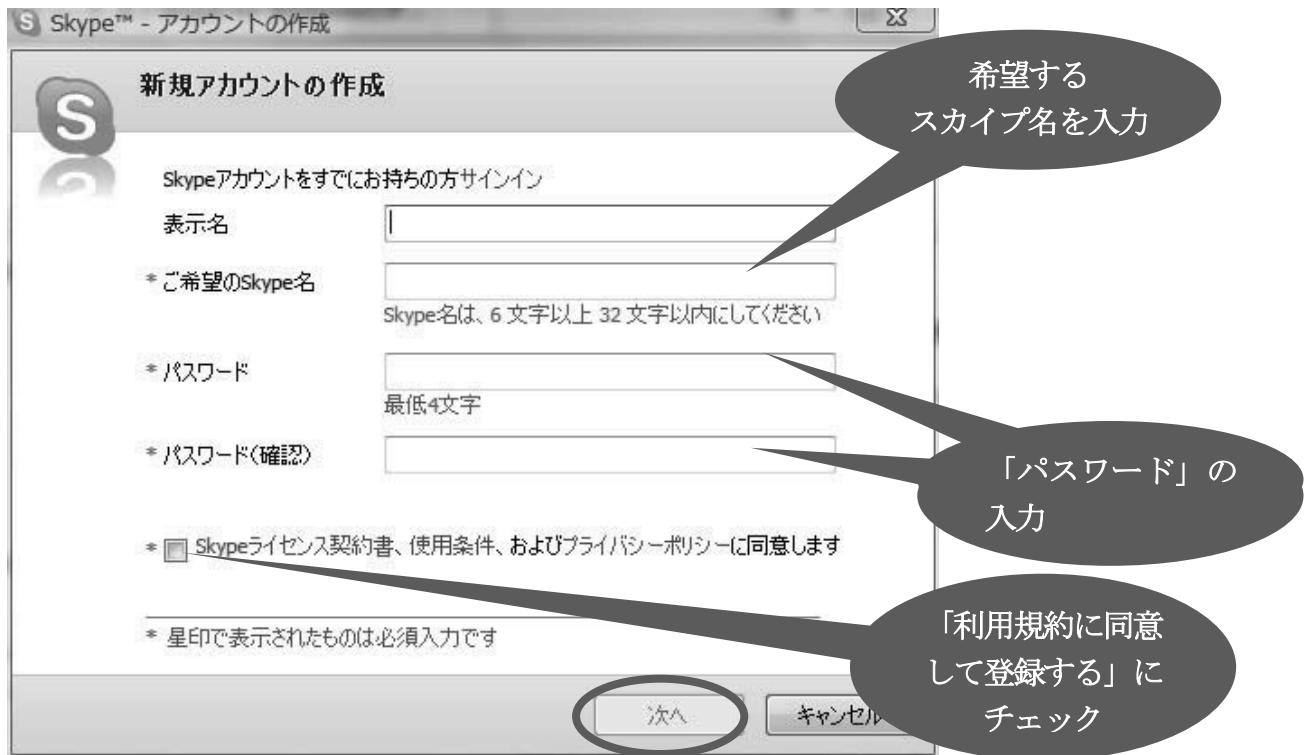
インストールがはじまるので、終わるまで待ちます（数分かかります）。インストールが終わると、デスクトップ上、画面右下に Skype アイコン、プログラムに Skype が追加されます。



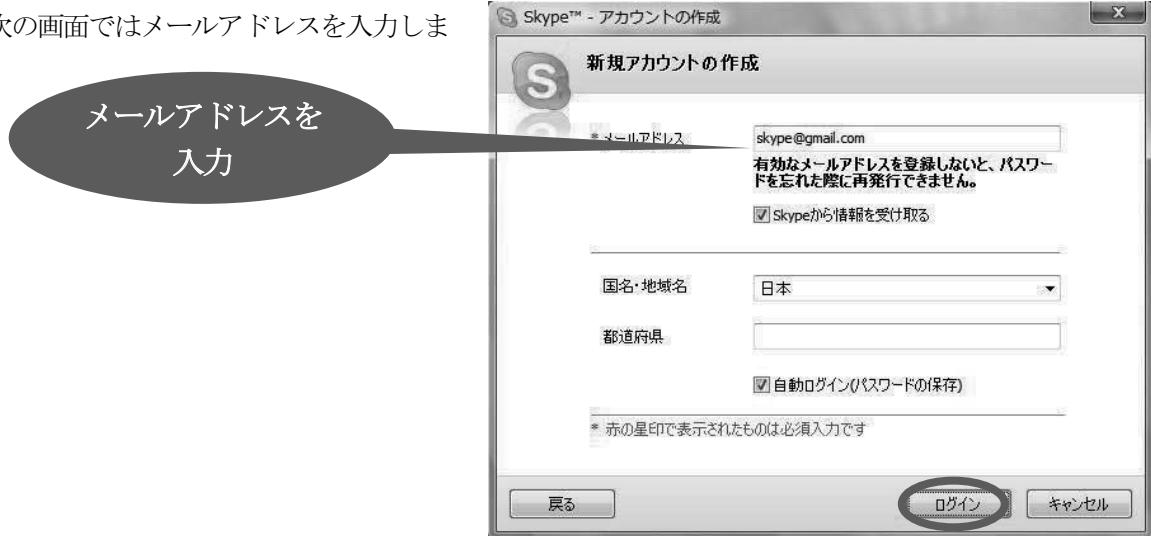
6. デスクトップ上の Skype アイコン、または画面右下の Skype アイコンをクリックしてスカイプを起動します。スカイプウィンドウとアカウント作成ウィンドウが表示されます。



7. 自分のアカウント名（Skype 名）や「パスワード」を設定し、「利用規約に同意して登録する」をチェックし、「次へ」をクリックします。



8. 次の画面ではメールアドレスを入力します。



入力が終了したら、「ログイン」をクリックします。

9. Windows セキュリティの重要な警告が表示されたときには、「ブロックを解除する」をクリック。



10. このようなウィンドウが出てきた場合は「続行」をクリック。



11. 「Skype 開始ウィザード」が表示されますが、今回は使いませんので、閉じます。

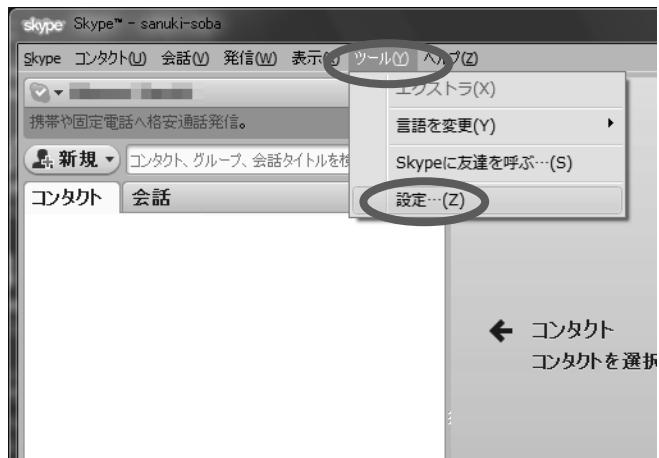


ヘッドセットの設定をしよう

ヘッドセット（マイクとヘッドホン）を用意してください。（店頭では安いもので二千円程度です。）

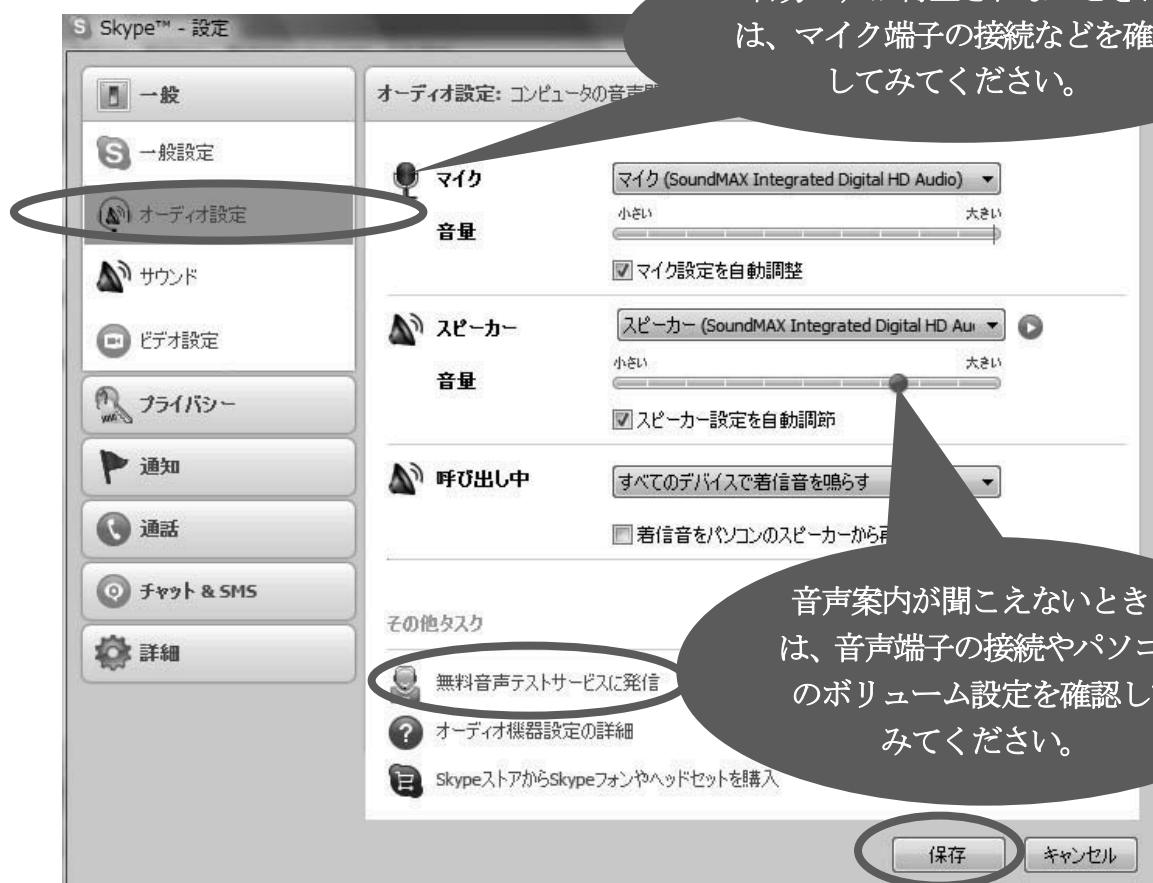
1. ヘッドセットのプラグを、パソコンのマイク端子とヘッドホン端子に差し込んでください。

2. 音声テストを行います。メニューの中の「ツール」をクリックし、下に表示される「設定」をクリックします。



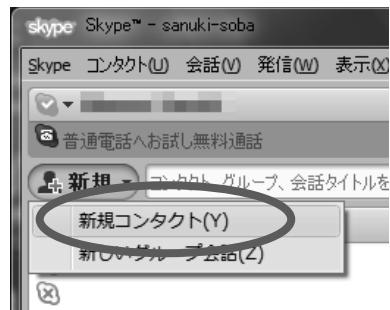
3. 「オーディオ設定」をクリックし、「Skype 音声テストサービスに発信」をクリックします。
音声案内にしたがって、声を出してみてください。
正常にセットアップできたら「保存」をクリック。

自分の声が再生されないときは、マイク端子の接続などを確認してみてください。



会話したい相手を登録しよう

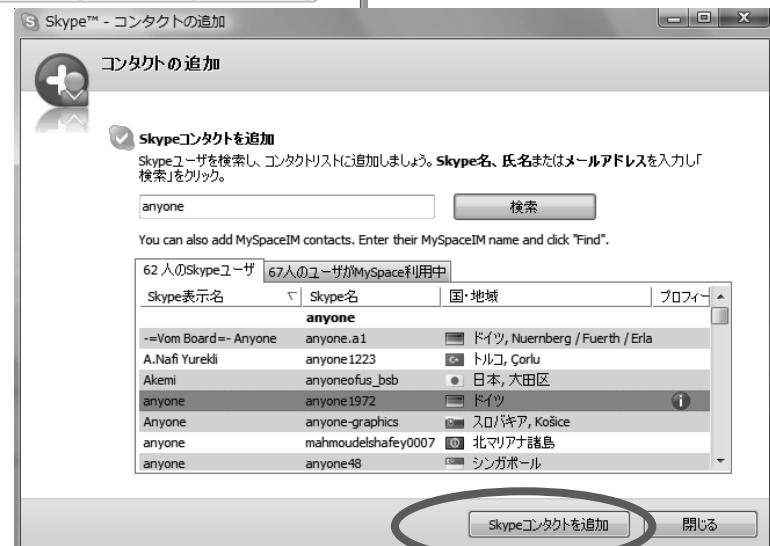
- 「新規コンタクト」をクリックします。



- 相手の Skype 名を入力し、「検索」ボタンを押します。



- 一覧の中から相手を選択し、「選択されたコンタクトを追加」をクリックします。



- 相手に送るメッセージを入力し、「OK」をクリックします。

メッセージ
を入力

Skype で会話してみよう

- 「コンタクト」の中に、先ほど登録した相手が表示されているはずです。クリックすると、その行が広がります。



- 受話器マーク（緑色）をクリックします。電話同様の呼び出し音が鳴り、相手が受話器マークをクリックすると通話が出来ます。（相手がSkypeを起動していないとつながりません）

※ ウィンドウの左側にある入力画面（日本の電話番号またはSkype名を入力）に直接入力して、受話器マーク（緑色）をクリックしてもつながります。

電話にする

Skypeを起動してあれば、電話同様の呼び出し音が鳴ります。受話器マーク（緑）をクリックすると通話ができます。

電話をきる

右側の受話器マーク（赤）をクリック。

註1：各種設定は、「ツール」から「設定」を選択し行います。

註2：SkypeOut（Skypeアウト）という機能を使えば、固定電話や携帯電話にも電話をかけることができます。ただし有料ですので、「Skypeアウトクレジット」を購入する必要があります。一般的の固定電話から国際電話をかけるよりは安くなることが多いです。

註3：複数の人と会話することもできます。

註4：最新版を利用しましょう。

Web カメラをセットアップしよう

1. カメラのソフトウェアをインストールします。ここではカメラはまだ接続しないでください。

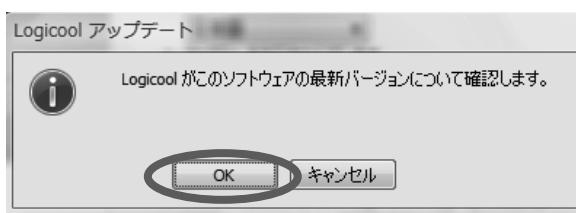
まずは「Qcam v11.1」と書かれたインストールディスク（緑色）をドライブに入れます。右のような画面が出たら「setup.exe の実行」をクリックしてください。



3. 「Qcam のインストール」画面が表示されます。「次へ」をクリックしてインストールを進めます。



4. 「OK」をクリックしアップデートを確認します。



5. 「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、「次へ」をクリック。



6. この画面が表示されたらカメラを接続します。
カメラが認識されたら自動的に次の画面に進みます。



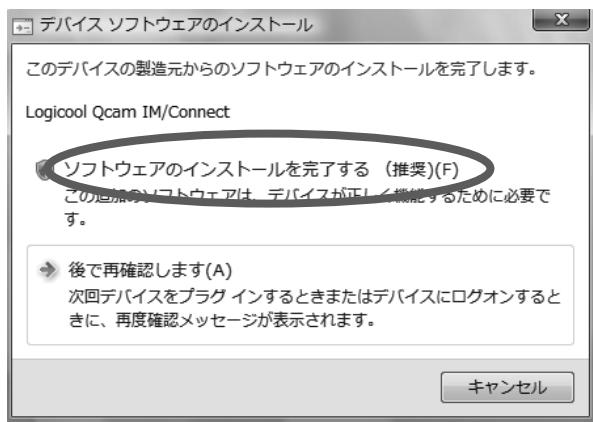
8. 「完了」をクリックします。



7. カメラの映像を確認し、「次へ」をクリック。



下記のような画面がでたら「ソフトウェアのインストールを完了する」をクリック。



下の画面が表示されますが、今回は使いませんので、それぞれ右上の「×」ボタンをクリックして閉じます。



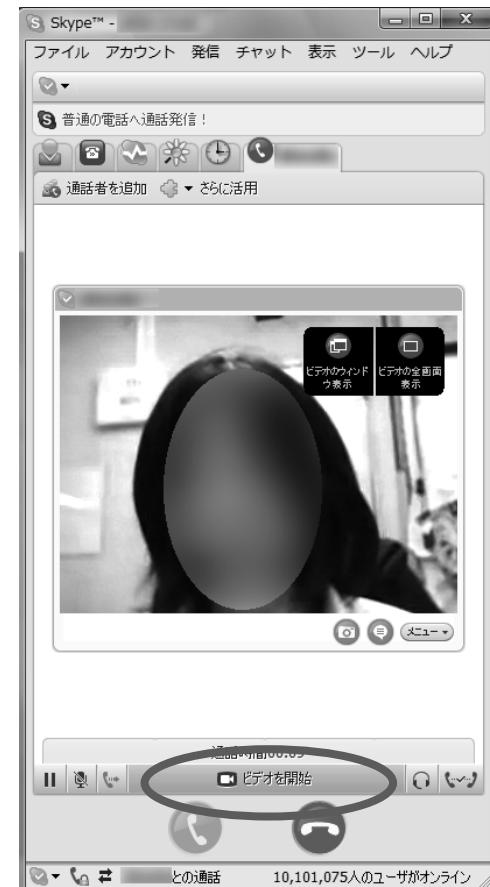
Skype でネットミーティングしてみよう



- 相手との通話中に、下の「ビデオ開始」をクリックします。
相手も同じように選択すると、お互いの映像を見ながら話すことができます。

1. Skype でカメラ設定を行います。
先ほどと同じように、「ツール」から「設定」を選択します。

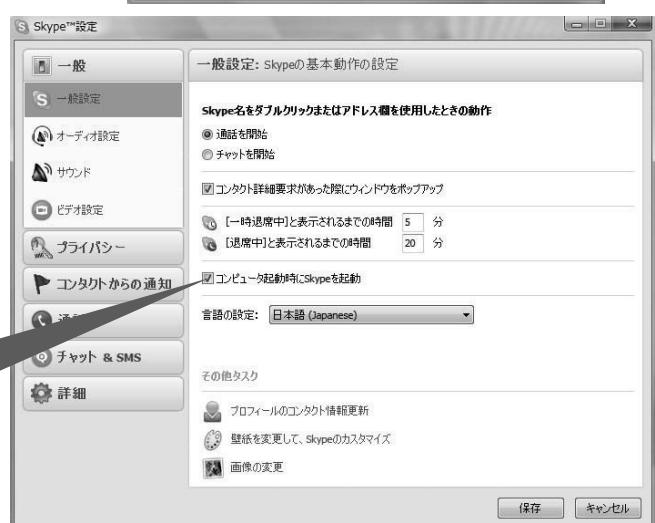
今回は、「ビデオ設定」を選択します。Web カメラの映像を調整し確認します。「保存」をクリックして閉じます。



註5：ネットミーティングは、「Yahoo！メッセンジャー」、「Windows Live メッセンジャー」でも出来ます。

註6：コンピュータ起動時に自動的に Skype を起動したくないときには、「ツール」から「設定」を選択し、「コンピュータ起動時に Skype を起動」のチェックをはずす。

自動的に Skype を起動したくないときは、チェックをはずす

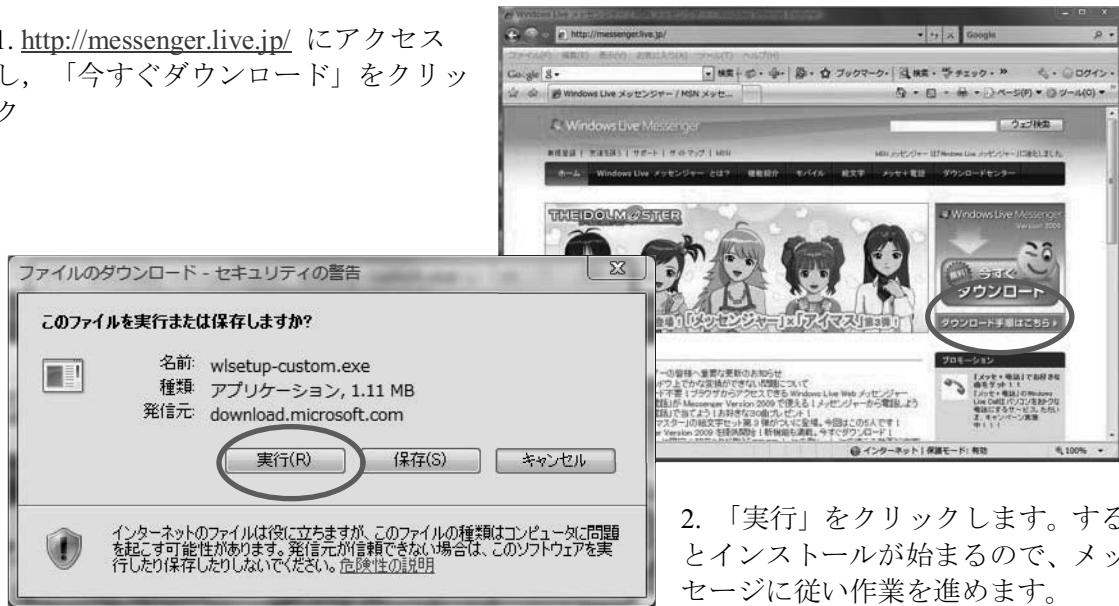




Messenger では、テレビ電話のように話をすることができます。派遣隊員同士での情報交換や、帰国隊員との連絡、さらには派遣先の教室と勤務校とをつないでインターネットライブ授業等も行えます。

Windows Live メッセンジャー を使えるようにしよう

1. <http://messenger.live.jp/> にアクセスし、「今すぐダウンロード」をクリック



2. 「実行」をクリックします。するとインストールが始まるので、メッセージに従い作業を進めます。

3. インストールが終わったらアカウントを作成して使ってみよう。



閉会挨拶

瀬戸口 暢浩

(文部科学省大臣官房国際課国際協力政策室開発協力推進専門官)

2日間の特別研修本当にお疲れ様でした。皆様の任国で活用いただける教材の紹介、JICAが行う教育分野の国際協力、皆様が現地活動を終えて帰国後に日本で期待されている社会還元、という3つについて知っていただこうという2日間でしたが、ご提供した情報量が非常に膨大で消化不良であろうかと察します。これから協力隊派遣前訓練に入られることになりますが、その中で皆さんのが任国から最近帰国された先輩隊員の方々や、JICA関係者で現地の事情に詳しい方々の話を聞く機会や、先輩隊員の報告書を読まれたりする機会があると思います。それらを通して、ご自分の実際の活動が徐々に見えてくるものと予想します。その際にぜひご提供した情報を思い出していただき、必要な部分をアーカイブや各大学のサイトからダウンロードして任国へ持つて行っていただければと思います。また、訓練所には皆様に加え一般の隊員で同じ職種の方々も居られます。イニシアティブの教材等はその方々でも活用していただけるものですので、ぜひ情報を共有いただき、日本の教育分野国際協力の最前線である皆様の活動現場で活用いただければと希望します。さらに、皆さんが教材などをこう改善して使ったとか、こういう教材があればもっといい、というようなフィードバックもぜひ期待しておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

次に私自身も協力隊の経験者であるということから、いくつかアドバイスを述べます。一つ目は宗教に関してです。途上国の中には宗教が生活と切っても切り離せないものになっている国があります。私の赴任校では毎朝会と毎週日曜にミサが行われていました。公立校で宗教という事実にカルチャーショックを受けたこと、教員経験なしで参加したため授業の準備にかかりきりになったなどの理由から、それらの行事への参加を一切拒否しました。その結果、残念ながら他の教職員との間に埋められない溝ができてしまったような気がしました。そこで皆様へのアドバイスですが、宗教を最初から完全に拒絶することは避け、まず相手の懐に入ってみてからよく考えてはいかがでしょうか。宗教と学校教育とには長年の歴史的な背景もありますので、これをよく知ってから判断するのが理想でしょう。次にコミュニケーションです。私は、外国語暮らしが生まれて初めてだったこと、前述のように教室で授業をやっては自分の部屋に帰つて次の準備という繰り返しだったことから、同僚や近所の人々とのコミュニケーションがまったく取れていませんでした。その経験からのアドバイスは、10の質問というものです。同僚の先生たちとの会話を持つきっかけ作りのために、あらかじめ質問を10個考えて常にポケットのメモ帳に準備しておくというものです。最後に生徒の叱り方です。途上国の中には生徒指導を担任が行わないところもあります。例えば、授業中に生徒の問題行動が発生した場合、国によって担任はその場で指導せず校長室へ連れて行くだけで、その後の指導は校長が行うところもあります。そこで皆様には着任後すぐ校長や同僚の先生からそこでの生徒指導の方法をよく聞いておかされることをアドバイスいたします。

最後になりましたが本特別研修の実施にあたりご協力いただいた筑波大学教育開発国際協力研究センター並びにその他関係者の皆様に深く感謝いたします。また、派遣予

定の皆様 2 日間本当にお疲れ様でした。明日からいよいよ派遣前訓練が始まるかと思います。皆様がその訓練を無事乗り越えられて任国に向か元気に出発されますことを祈つております。

新聞掲載記事および会場の様子

海外教育協力の 派遣教員が研修



東京・渋谷区のJICA
A 東京で4月6日、平成
21年度青年海外協力隊現
職教員特別研修が行われ
た。現職の教員が身分を

保持したまま協力隊に参加できる「現職教員特別研修制度」を利用して、JICAが主催して、今年度から途上国での活動を行う教員83人（日系）

**他職種にはできない
教育還元が可能**

社会青年ボランティア11
人、青年海外協力隊72
人を対象にした研修
で、文部科学省と茨城大

学教育開発国際協力研究

センターが主催し、(独)国

際協力機構（JICA）

が共催した。

同制度で開発途上国に

派遣された教員が、現地

での活動や教育協力の現

状況について話し、そ

の意義についての理解を

一般にも深めてもらつた

めに公開された。

教育協力について同省

大臣官房国際課の芝田政

之課長は、「JICA

では途上国への教育協

力をより効果的に行うた

め、国際協力ライン

タイプ」という大学を通じ

て、派遣教員が現地で活動する教員によつて貴重な
情報に

赴任中に民族衣装や
生活用品ほか情報収集を



日本の教材研究や指導法は定評だ

基礎教育を身近なものに
する話があった。この

JICAの教育協力方に
して就学率と初等中等教
育の質の向上、教育にお
けるマネジメントの改善

については、同機関間開
催の神谷克彦次長が
「JICAでは人が生

きていくために必要な
ツールとして教育を受ける」として、ケニアでの
発展の神谷克彦次長が
「JICAでは人が生

きていくために必要な
ツールとして教育を受ける」として、ケニアでの
発展の神谷克彦次長が
「JICAでは人が生

きていくために必要な
ツールとして教育を受ける」として、ケニアでの
発展の神谷克彦次長が
「JICAでは人が生

きて

るこ

とつま

り、人権と
しての基礎教育を重視し
ている。その協力方針と
アドバイス

を組み込んでい

じ

た。

体験者が帰国後の還元活動など語る

帰国後の社会還元につ
いて、社会還元の実施
を促進しているとした
上で、現職教員の方は、
子どもたちだけではなく
く、まわりの先生や校長
が大切。今までの自分
に頼りきりになるのでは
なく、1人の人間として
自ら仕事を作り出し、
創造性をもって行動する
ことが重要だ。

通じて、社会還元の実施
と具体的な事例を話し、
「自ら仕事を作り出し、
創造性をもって行動する
ことが重要だ」

するのも珍しくはない」

と具体的な事例を話し、
「自ら仕事を作り出し、
創造性をもって行動する
ことが重要だ」

と

と

と

と

と

と

と

と

と





文部科学省国際協力イニシアティブ教育協力拠点形成事業報告書

平成 21 年度青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア
現職教員特別研修報告書

発 行：平成 21 年 5 月

発行者：佐藤 真理子（CRICED）

筑波大学教育開発国際協力研究センター（CRICED）

文部科学省国際協力イニシアティブ教育協力拠点形成事業

青年海外協力隊 派遣現職教員の支援

〒305-8572 茨城県つくば市天王台 1-1-1

電話 029-853-7287 FAX 029-853-7288

E-mail: jocv@criced.tsukuba.ac.jp

<http://initiative.criced.tsukuba.ac.jp/index.html>

編 集：矢原弘樹・野澤純子・讃岐勝（CRICED）

印 刷：前田印刷株式会社 筑波支店